magicolor 1690MF
プリンタ / コピー / スキャナ ユーザーズガイド

A0HF-9571-24K

はじめに

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 1690MF は、Windows、Macintosh の環境でお使いいただくのに最適なプリンタ複合機です。

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本機に添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

Copyright © 2008 by KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC. All Rights Reserved.

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

Copyright © 2008 by KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC., All Rights Reserved.

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。

6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンタの電源を入れるようにしてください。

■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⦸ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。 ● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.117「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております純正品を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

2 次電池（充電式リチウム電池）について

本機では、2 次電池は一切使用しておりません。

印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

複製禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

とくに法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■法律によりコピーを禁止されているもの

・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券

・外国紙幣、証券類

・未使用郵便切手、郵政はがき類

・政府発行の印紙、税法で規定されている証券類

＜関係法律＞

通貨及証券模造取締法

外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

郵便切手類模造等取締法

印紙等模造取締法

紙幣類似証券取締法

■著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■注意を必要とするもの

・政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。

・民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

法律で禁止されている紙幣などの複製を防止するため本機には、偽造防止機能を搭載しています。
本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ったり、画像データの保存が禁止されたりすることがあります。

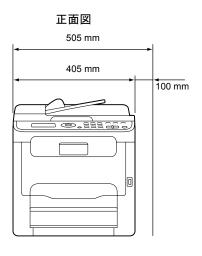
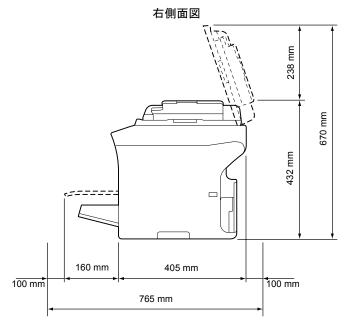
もくじ

1 はじめに

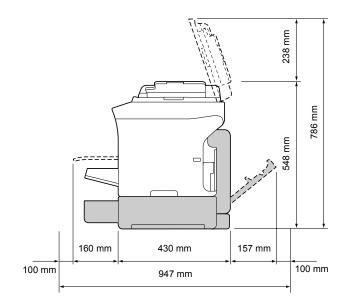
お使いになる前に

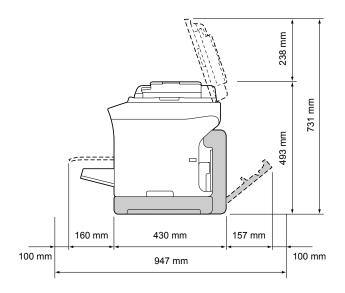
設置スペース

操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

正面図

右側面図

右側面図（オプション装着時）

トレイ 2 と両面プリントユニットを装着している場合

イラストの網掛け部はオプションです。

アタッチメントと両面プリントユニットを装着している場合

イラストの網掛け部はオプションです。

各部の名称

以下の図は、本書で使用している本機各部の名称を示しています。

前面

1　操作パネル

2　自動原稿送り装置（ADF）
　2-a　ADF カバー
　2-b　ガイド板
　2-c　原稿給紙トレイ
　2-d　原稿排紙トレイ
　2-e　原稿ストッパー

ステータスやエラーメッセージなどで、ADF を「ｹﾞﾝｺｳｵｻｴ」と表示する場合があります。

リーガルサイズの原稿を ADF で読み込む場合、原稿ストッパーを倒します。

3　ダストカバー

4　トレイ 1（多目的トレイ）

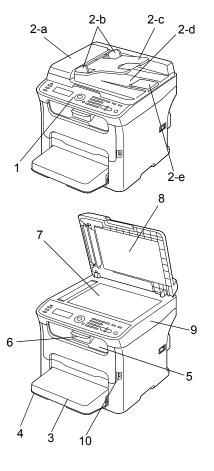
5　排紙トレイ

6　補助トレイ

7　原稿ガラス

8　原稿カバーパッド

9　スキャナユニット

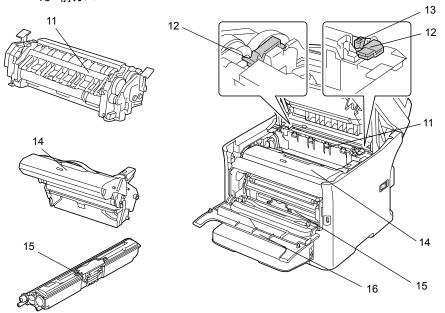
10　USB メモリポート

11　定着ユニット

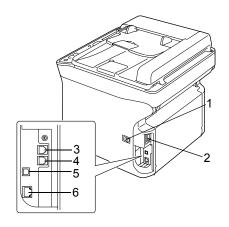
12　定着離間レバー

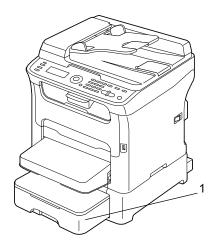
13　定着カバーレバー

14　イメージングカートリッジ

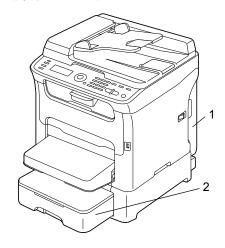
15　トナーカートリッジ

16　前カバー

背面

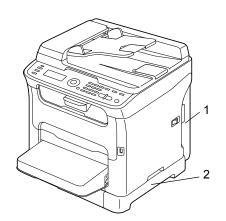
1　電源スイッチ
2　電源インレット
3　外付け電話機接続用コネクタ（TEL）
4　回線コネクタ（LINE）
5　USB ポート
6　10Base-T/100Base-TX イーサネット（Ethernet）インターフェースポート

前面（オプション装着時）

- トレイ 2 を装着している場合

1　給紙ユニット（トレイ 2）

- トレイ 2 と両面プリントユニットを装着している場合

1　両面プリントユニット

2　給紙ユニット（トレイ 2）

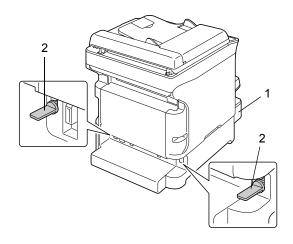
- アタッチメントと両面プリントユニットを装着している場合

1　両面プリントユニット

2　アタッチメント

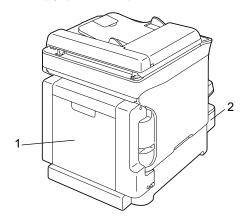
背面（オプション装着時）

- トレイ 2 を装着している場合

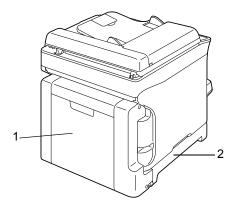
1　給紙ユニット
（トレイ 2）

2　ロックピン

- トレイ 2 と両面プリントユニットを装着している場合

1　両面プリントユニット

2　給紙ユニット（トレイ 2）

- アタッチメントと両面プリントユニットを装着している場合

1　両面プリントユニット

2　アタッチメント

ソフトウェアについて 2

Drivers CD-ROM について

プリンタドライバ

プリンタドライバ	機能
Windows 7/Server 2008/Vista/XP/ Server 2003/2000	プリンタのさまざまな機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する」（p.37）をごらんください。
Windows 7/Server 2008/Vista/XP/ Server 2003 for 64bit	
Mac OS X(10.2.8/10.3/10.4/10.5/ 10.6)	

スキャナドライバ

スキャナドライバ	機能
TWAIN ドライバ Windows 7/Server 2008/Vista/XP/ Server 2003/2000	色の設定やサイズの調整など、スキャナの機能を設定できます。詳しくは、「Windows TWAIN ドライバの設定」（p.161）をごらんください。
TWAIN ドライバ Mac OS X(10.2.8/10.3/10.4/10.5/ 10.6)	
WIA ドライバ Windows 7/Server 2008/Vista/XP	色の設定やサイズの調整など、スキャナの機能を設定できます。詳しくは、「Windows WIA ドライバの設定」（p.177）をごらんください。
WIA ドライバ Windows 7/Server 2008/Vista/XP for 64 bit	

TWAIN Driver を 64 bit OS へインストールする場合､32 bit 互換モードで動作し、32 bit 対応アプリケーションでのみ使用可となります。

ファクスドライバ

<table>
<tr><th>ファクスドライバ</th><th>機能</th></tr>
<tr><td>Windows 7/Server 2008/Vista/XP/
Server 2003/2000</td><td rowspan="2">ファクス送信する用紙の設定やアドレス帳の編集など、ファクスの機能を設定できます。詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。</td></tr>
<tr><td>Windows 7/Server 2008/Vista/XP/
Server 2003 for 64 bit</td></tr>
</table>

Windows 用ドライバのインストールについては、「インストレーションガイド」をごらんください。

Macintosh 用ドライバのインストールについては、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

Applications CD-ROM について

アプリケーション

アプリケーション	機能
LSU (Local Setup Utility)	コンピュータから送信先（スキャン、ファクス）のお気に入り、短縮ダイアル、グループダイアルを作成、編集します。また、本機の状態をチェックします。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
LinkMagic	このソフトウェアは、コンピュータに読み込んだ原稿をファイルに保存、加工、メール添付、印刷などをすることができます。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Net Care	ステータス監視、ネットワーク設定などのプリンタ管理機能にアクセスできます。詳しくは、「PageScope Net Care クイックガイド」（Applications CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PageScope Network Setup	TCP/IP、IPX プロトコルを使用して、ネットワークプリンタの基本設定を行うことができます。詳しくは、「PageScope Network Setup 取扱説明書」（Applications CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
PaperPort SE	コンピュータ上でドキュメントや画像ファイルの整理、アクセス、共有、および管理ができる文書管理ソフトウェアです。PaperPort SE の機能や使い方について詳しくは、プログラムと共にインストールされるユーザーズガイドまたはオンラインヘルプをごらんください。

Documentation CD-ROM について

マニュアル

マニュアル	内容
インストレーションガイド	本機の設置やドライバのインストールなど、本機を使用する際に最初に必要な事項を説明しています。
プリンタ / コピー / スキャナユーザーズガイド（本書）	ドライバの使いかたや消耗品の交換方法、操作パネルの使いかたなど、日常の使いかた全般について説明しています。
ファクスユーザーズガイド	ファクスの送受信方法、操作パネルの使いかたなど、ファクス機能全般について説明しています。
リファレンスガイド	Macintosh ドライバのインストール、ネットワークの設定、LSU（Local Setup Utility）、LinkMagic、プリンタ管理ユーティリティなど、より詳細な設定について説明しています。
クイックガイド	コピー、ファクス、スキャナの使用手順や消耗品の交換方法が確認できる簡易マニュアルです。
サービス＆サポートガイド	ユーザ登録やご質問、ご相談の問い合わせ先など、製品サポートとサービスに関する情報が記載されています。
Readme	ご使用に関しての制限や注意事項等の情報が記載されています。ご使用の前に必ずお読みください。

必要なシステム

■ コンピュータ：
Windows 用
– Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Pentium 3: 500 MHz 以上を推奨）

Macintosh 用
– PowerPC G3 以降 （G4 以降を推奨）
– Intel プロセッサを搭載した Macintosh

■ オペレーティングシステム：
– 32bit
Microsoft Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise, Windows Server 2008 Standard/Enterprise, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise, Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 1 以降；Service Pack 2 以降を推奨）, Windows Server 2003, Windows 2000（Service Pack 4 以降）
– 64bit
Microsoft Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise x64 Edition, Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition, Windows XP Professional x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition

64bit ドライバは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載の Intel プロセッサが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。

■ 空きハードディスク容量：
– 約 256 MB 以上

■ メモリ：
OS が推奨する以上の RAM

■ CD/DVD-ROM ドライブ

■ インターフェース：
– USB 2.0（High Speed）準拠インターフェースポート
– 10Base-T/100Base-TX イーサネット（Ethernet）インターフェースポート

Macintosh ドライバについて詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

プリンタドライバの初期設定

本機を使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。

プリンタドライバのインストールについては、「インストレーションガイド」をごらんください。

Macintosh プリンタドライバのインストールについては「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows 7 の場合

［スタート］メニューから「デバイスとプリンター」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。「プリンターと FAX」より「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

デバイスとプリンター画面に「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンが表示されず、「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンが表示されている場合は、「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」—「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」をクリックしてください。

– Windows Server 2008/Vista の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows XP Home Edition の場合

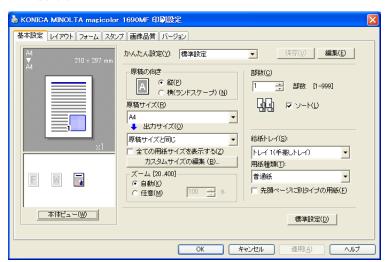
［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows XP Professional/Sever 2003 の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」を選択します。

2 「基本設定」タブをクリックし使用する用紙のサイズなど、本機の初期設定を変更します。

3 ［適用］をクリックします。

4 ［OK］をクリックし、印刷の設定画面を閉じます。

ドライバのアンインストール

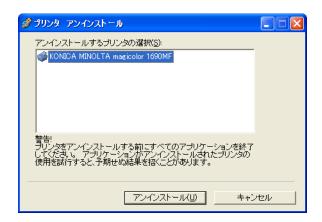
プリンタドライバのアンインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

Windows 7/Server 2008/Vista を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。

ここでは、プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

1 以下の手順でアンインストールプログラムを起動します。

- **Windows 7/Server 2008/Vista/XP/Server 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 1690MF」—「プリンタ」—「アンインストール」をクリックします。
- **Windows 2000 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 1690MF」—「プリンタ」—「アンインストール」をクリックします。

2 アンインストール画面で「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」を選択し、［アンインストール］をクリックします

3 下図のような画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

他のドライバをアンインストールする場合は、以下を選択してください。

– スキャナドライバ：［スタート］—［すべてのプログラム（Windows 2000 は［プログラム］）］—［KONICA MINOLTA］—［magicolor 1690MF］—［スキャナ］—［アンインストール］
– ファクスドライバ：［スタート］—［すべてのプログラム（Windows 2000 は［プログラム］）］—［KONICA MINOLTA］—［magicolor 1690MF］—［ファクス］—［アンインストール］

プリンタドライバ設定画面を表示する

Windows 7

1 ［スタート］メニューから「デバイスとプリンター」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。

2 「プリンターと FAX」より「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

デバイスとプリンター画面に「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンが表示されず、「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンが表示されている場合は、「KONICA MINOLTA mc1690MF (FAX)」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」—「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」をクリックしてください。

Windows Server 2008/Vista

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」−「ハードウェアとサウンド」−「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

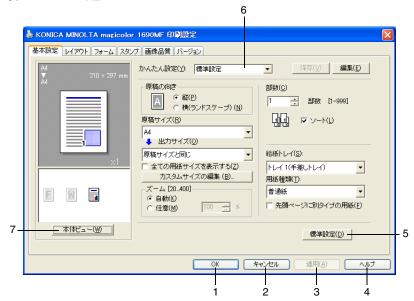
2 「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

プリンタドライバの設定

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. 標準設定

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

表示されているタブの設定のみ、標準設定に戻ります。その他のタブの設定は変更されません。

6. かんたん設定

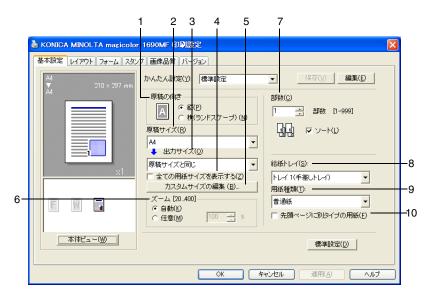
現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力して、［OK］をクリックすると現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。
また、［編集］をクリックすると、かんたん設定の編集画面が表示され、保存した設定を変更できます。
ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

7. ページレイアウト/プリンタ図

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、［本体ビュー］ボタンが表示されます。［本体ビュー］をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。
プリンタの外観図が表示されている場合は、［用紙ビュー］ボタンが表示されます。［用紙ビュー］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「スタンプ」タブでは、［スタンプビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［スタンプビュー］をクリックすると、スタンプのプレビューが表示されます。
「画像品質」タブでは、［画像品質ビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［画像品質ビュー］をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横（ランドスケープ）」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。

3. 出力サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。

4. 全ての用紙サイズを表示する

全ての用紙サイズを「原稿サイズ」「出力サイズ」に表示します。「全ての用紙サイズを表示する」のチェックボックスにチェックをしていないと、最も一般的な用紙サイズを表示します。

5. カスタムサイズの編集

カスタム定義する用紙サイズの追加、編集、削除を行うことができます。
カスタム定義する用紙サイズを追加する場合は、［新規］をクリックし、「名称」「サイズ」を設定します。
設定した名前が「原稿サイズ」「出力サイズ」に表示されます。

6. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、20%から 400%の間で設定します。

7. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

8. 給紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。
オプションのトレイ 2 を装着している場合は、「給紙トレイ」のリストに「トレイ 2」が表示され、選択することができます。

「自動」を選択すると、トレイ 1 （手差しトレイ）、トレイ 2 の優先順位で用紙を給紙します。

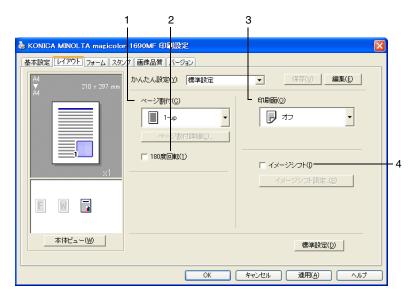
9. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

最適な印刷結果を得るためには、「用紙種類」で選択する項目とトレイにセットする用紙を一致させてください。

10. 先頭ページに別タイプの用紙

先頭ページに使用する用紙トレイ、用紙種類を選択します。
「先頭ページに別タイプの用紙」チェックボックスをチェックすると、先頭ページの設定画面が表示されます。「先頭ページの給紙カセット」「先頭ページの用紙の種類」を設定します。

「レイアウト」タブ

1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
「1-up」「2 × 2」「3 × 3」「4 × 4」「5 × 5」以外の設定を選択した場合、［ページ割付詳細］ボタンが有効になります。
［ページ割付詳細］をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 印刷面

オプションの両面プリントユニットを装着している場合のみ、設定を変更できます。
この場合は、「オフ」（片面印刷）、「短辺綴じ」（両面印刷）、「長辺綴じ」（両面印刷）を選択できます。

4. イメージシフト

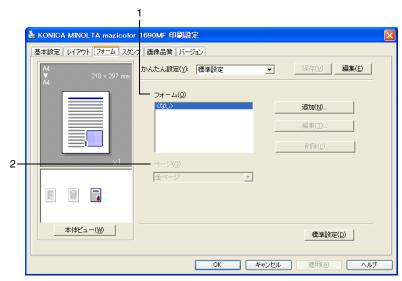
用紙に印刷される文書の位置を設定します。
「イメージシフト」チェックボックスをチェックすると、[イメージシフト設定] ボタンが有効になります。[イメージシフト設定] をクリックすると、イメージシフト設定画面が表示されます。文書の印刷位置を 0.1 ミリ単位で設定します。

右図を参照してプリント位置を設定してください。

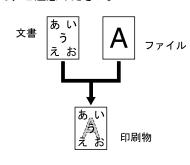
垂直 + 方向

水平 - 方向　A　水平 + 方向

垂直 - 方向

「フォーム」タブ

必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

1. フォーム

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷を行います。リストから使用するフォームを選択します。
［追加］をクリックすると、フォーム画面が表示されます。新たに追加するフォーム名、ファイルの参照先設定を行います。

追加したフォームファイルは「フォーム」タブのリストに追加されます。
追加したフォームファイルを編集する場合は、リスト内の編集したいフォームファイルを選択し、［編集］をクリックします。

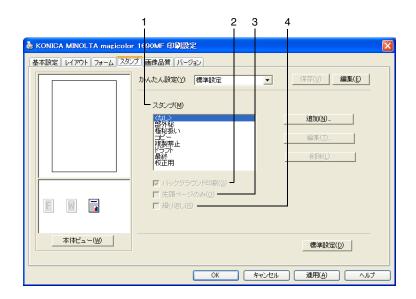
フォーム名とファイル参照先を編集できます。フォームファイル自体を編集することはできません。
追加したフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。

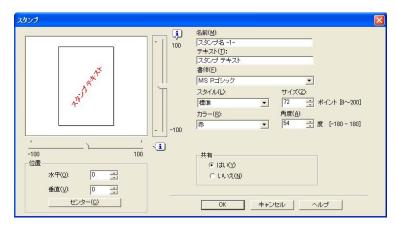
フォームを作成するには、任意のアプリケーションでデータを作成し、「ファイルに出力」オプションを選択して印刷を行います。
これにより作成される prn ファイルをフォームとして使用します。

フォームが複数のページにまたがる場合は、最初のページのデータだけがフォームとして使用されます。

2. ページ

フォームを印刷するページを「全ページ」、「先頭ページ」から選択して設定します。

「スタンプ」タブ

1. スタンプ

印刷する文書に「部外秘」などのテキストを入れて印刷します。
［追加］をクリックすると、スタンプを作成、編集する画面が表示されます。新たにスタンプを作成します。

作成したスタンプは「スタンプ」タブのリストに追加されます。
リストに追加したスタンプを編集、削除する場合は、リスト内のスタンプを選択し、［編集］または、［削除］をクリックします。

2. バックグラウンド印刷

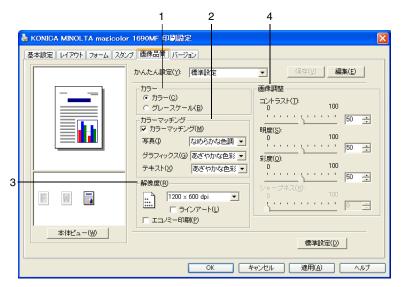
「バックグラウンド印刷」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字をテキストやイメージの背面に印刷します。

3. 先頭ページのみ

「先頭ページのみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

4. 繰り返し

1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

「画像品質」タブ

1. カラー

カラーで印刷するかモノクロ（グレースケール）で印刷するかを設定します。

2. カラーマッチング

「カラーマッチング」をチェックすると、カラーマッチング機能が有効になります。これにより、スクリーン上の色合いを忠実に表現して印刷することができます。

写真（イメージ）、グラフィックス（表・図柄）、テキスト（文字）のそれぞれに対して、「なめらかな色調」「測色的に一致」「あざやかな色彩」の設定の中から 1 つを選択することができます。

DTP アプリケーション等で、アプリケーションの持つカラーマッチング機能を使って出力する場合には、この設定をオフにしてください。

3. 解像度

印刷時の解像度を dpi（1 インチあたりの印字ドット数）で設定します。「600 × 600dpi」または「1200 × 600dpi」を選択できます。

「ラインアート」をチェックすると、さらに精密な画像の印刷ができますが、再現できる階調数が少なくなります。

「エコノミー印刷」をチェックすると、エコノミー印刷機能が有効になります。これにより、トナーの消費を抑えて印刷することができます。

4. 画像調整

印刷する画像のコントラスト、明度（明るさ）、彩度（鮮やかさ）、シャープネスを設定します。

このタブの「カラー」および「カラーマッチング」で選択した項目によって、調節可能な項目は異なります。

「バージョン」タブ

プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

ポイント アンド プリントでインストールされたプリンタードライバーの機能制限

以下のサーバーとクライアントの組み合わせでポイント アンド プリントを実行した場合、プリンタードライバーで持つ機能が一部制限されます。

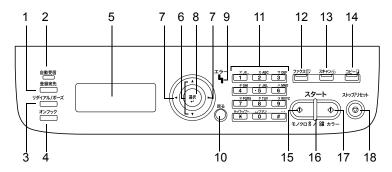
■ サーバーとクライアントの組み合わせ
サーバー　　：Windows Server 2008/Server 2003
クライアント：Windows XP/2000/Vista/7

■ 制限される機能
「小冊子」、「おもて表紙」、「フォーム印刷」、「スタンプ」

この組み合わせで使用する場合は、クライアントにプリンタードライバーをローカルでインストールし、接続先としてサーバーにインストールされている共有プリンターを指定してください。

3 操作パネルとメニュー

操作パネルについて

本機上部にある操作パネルでは、直接本機の操作を行うことができます。また、メッセージウィンドウには本機の状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。

操作パネルのランプ／キー

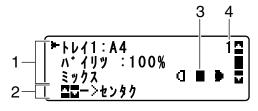
No.	キー	機能
1	[登録宛先] キー	■ お気に入り、短縮ダイアル、グループダイアルに登録されている内容が表示されます。 ■ ファクス機能については、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
2	自動受信ランプ	■ 自動受信に設定されているときに点灯します。 ■ ファクス機能については、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
3	[リダイアル / ポーズ] キー	■ 最後に送信したファクス番号を表示します。 ■ 送信するファクス番号にポーズを入れます。 ■ ファクス機能については、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

No.	キー	機能
4	［オンフック］キー	■ 受話器をとった状態にします。もう一度キーを押すと受話器を置いた状態に戻ります。 ■ ファクス機能については、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
5	メッセージウィンドウ	設定メニュー項目やメッセージが表示されます。
6	［▲］/［▼］キー	設定メニューの表示中は、選択マーク（▶）を上下に移動します。
7	［◀］/［▶］キー	設定メニューの表示中は、選択マークを左右に移動します。
8	［選択］キー	選択されているメニュー項目を決定します。
9	エラーランプ	エラー発生時に点灯します。
10	［戻る］キー	■ コピー部数や入力した文字を取消します。 ■ ひとつ前の画面に戻ります。 ■ 表示されている設定を取消します。
11	テンキー	コピー部数を入力します。また、ファクス番号、メールアドレス、名前などを入力します。
12	［ファクス］キー	■ ファクスができる状態にします。 ■ ファクスモード時は、緑色に点灯します。 ■ ファクス機能については、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
13	［スキャン］キー	■ スキャンができる状態にします。（スキャンしたデータをメールで送信する、FTP サーバやコンピュータの共有フォルダに送信する、また USB メモリや PC に保存する場合。） ■ スキャンモード時は、緑色に点灯します。 ■ スキャン機能については、「スキャン機能を使う」（p.159）をごらんください。

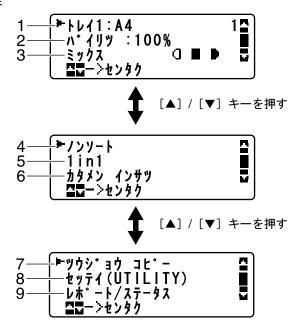
No.	キー	機能
14	[コピー] キー	■ コピーができる状態にします。 ■ コピーモード時は、緑色に点灯します。 ■ コピー機能については、「コピー機能を使う」（p.129）をごらんください。
15	[スタート（モノクロ）] キー	モノクロコピー、モノクロスキャンまたはファクスを開始します。
16	スタートランプ	■ コピー、スキャンまたはファクスが可能なときは、青色に点灯します。 ■ ウォーミングアップ中、エラー発生時などコピー、スキャンまたはファクスが不可能なとき、操作パネルメニュー設定中、スキャンまたはファクスキーを押し下げ時等は、オレンジ色に点灯します。
17	[スタート（カラー）] キー	カラーコピー、カラースキャンまたはファクスを開始します。
18	[ストップ/リセット] キー	■ 変更した設定を取消します。 ■ 機能を停止します。

メッセージウィンドウの表示について

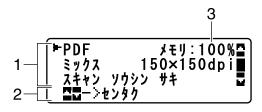
本機はメッセージウィンドウで装置の状態や、エラーメッセージなどを確認できます。

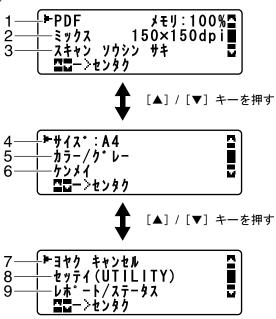
メイン画面（コピーモード）

No.	表示	詳細
1	コピー設定	現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、「コピー設定」（p.55）をごらんください。

No.	表示	詳細
2	ステータス	使用状況に応じてメッセージが表示されます。
3	コピー濃度	コピー濃度を表示します。 画質設定で「ﾓｼﾞ」モード選択時、「ﾉｳﾄﾞ」を「ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ」に設定した場合は「ｵｰﾄ」と表示されます。
4	コピー枚数	コピー枚数を表示します。

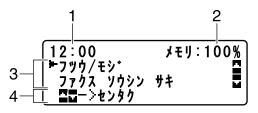
■ コピー設定

No.	表示	詳細
1	給紙トレイ	選択されている給紙トレイが表示されます。給紙トレイの選択方法について詳しくは、「給紙トレイの選択」（p.139）をごらんください。
2	コピー倍率	設定されている倍率が表示されます。コピー倍率の設定方法について詳しくは、「倍率を指定する」（p.137）をごらんください。

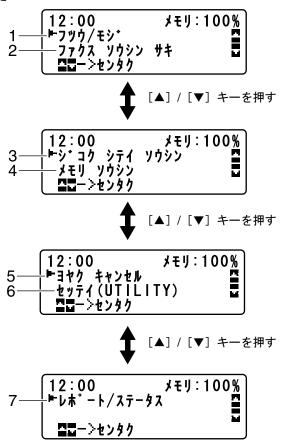
No.	表示	詳細
3	コピー品質	設定されているコピー品質が表示されます。コピー品質の設定方法について詳しくは、「コピー品質の設定」（p.132）をごらんください。
4	ソートコピー	部単位コピー（ソート）の設定が表示されます。部単位コピー（ソート）の設定方法について詳しくは、「部単位コピー（ソート）の設定」（p.155）をごらんください。
5	2in1 コピー	2in1 コピーを設定しているかどうかが表示されます。2in1 コピーの設定方法について詳しくは、「2in1 コピーの設定」（p.140）をごらんください。
6	片面 / 両面コピー	選択されている片面 / 両面コピーの設定が表示されます。片面 / 両面コピーの設定方法について詳しくは、「両面コピーの設定」（p.151）をごらんください。 オプションの両面プリントユニットを装着している場合のみ表示されます。
7	コピー機能	設定されているコピー機能が表示されます。コピー機能の設定方法について詳しくは、「コピー機能の設定」（p.144）をごらんください。
8	ｾｯﾃｲ (UTILITY)	本機の各種設定を変更します。詳しくは、「設定メニュー（UTILITY)」（p.69）をごらんください。
9	ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ	本機で実行した印刷の合計枚数やファクスの送受信結果を確認したり、レポートを印刷することができます。詳しくは、「レポート / ステータスメニュー」（p.66）をごらんください。

メイン画面（スキャンモード）

No.	表示	詳細
1	スキャン設定	現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、「スキャン設定」（p.57）をごらんください。
2	ステータス	使用状況に応じてメッセージが表示されます。
3	使用可能メモリ	使用可能なメモリ容量をパーセント（%）で表示します。

■ スキャン設定

No.	表示	詳細
1	データ形式	設定されているデータ形式が表示されます。データ形式の設定方法について詳しくは、「データ形式の設定」（p.240）をごらんください。
2	スキャン品質	設定されているスキャン品質が表示されます。スキャン品質の設定方法について詳しくは、「スキャン品質の設定」（p.242）をごらんください。
3	スキャンデータ送信先	設定されているスキャンデータの送信先が表示されます。送信先の設定方法について詳しくは、「データ保存先の設定」（p.181）および「送信先アドレスの設定（メール / FTP/SMB 送信）」（p.185）をごらんください。 送信先が設定されていない場合は「ｽｷｬﾝ ｿｳｼﾝ ｻｷ」と表示されます。
4	スキャンサイズ	設定されているスキャンサイズが表示されます。スキャンサイズの設定方法について詳しくは、「スキャンサイズの設定」（p.247）をごらんください。
5	スキャンカラー	設定されているスキャンカラーが表示されます。スキャンカラーの設定方法について詳しくは、「スキャンカラーの設定」（p.248）をごらんください。
6	件名	設定されている件名が表示されます。件名の設定方法について詳しくは、「件名の設定」（p.249）をごらんください。 FTPアドレスまたはSMBアドレスがスキャンデータ送信先に設定されている場合は表示されません。
7	ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ	送信待ち状態になっているジョブの一覧を表示し、ジョブを取り消します。詳しくは、「送信待ちジョブの取り消し」（p.250）をごらんください。 メールアドレス、FTP アドレス、または SMB アドレスがスキャンデータ送信先に設定されている場合は表示されません

No.	表示	詳細
8	ｾｯﾃｲ (UTILITY)	本機の各種設定を変更します。「設定メニュー（UTILITY）」（p.69）をごらんください。 メールアドレス、FTP アドレス、または SMB アドレスがスキャンデータ送信先に設定されている場合は表示されません。
9	ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ	本機で実行した印刷の合計枚数やファクスの送受信結果を確認したり、レポートを印刷することができます。詳しくは、「レポート / ステータスメニュー」（p.66）をごらんください。 メールアドレス、FTP アドレス、または SMB アドレスがスキャンデータ送信先に設定されている場合は表示されません。

メイン画面（ファクスモード）

No.	表示	詳細
1	時刻	現在の時刻が表示されます。時刻の設定は、設定メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY) ／ ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ ／ ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ ／ ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ」で行います。
2	使用可能メモリ	使用可能なメモリ容量をパーセント（%）で表示します。
3	ファクス設定	現在の設定の確認や、各種設定の変更を行います。詳しくは、「ファクス設定」（p.61）をごらんください。
4	ステータス	使用状況に応じてメッセージが表示されます。

■ ファクス設定

No.	表示	詳細
1	ファクス品質	設定されているファクス品質が表示されます。ファクス品質の設定方法について詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

No.	表示	詳細
2	ファクス送信先	設定されているファクス送信先が表示されます。送信先の設定方法について詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。 送信先が設定されていない場合は「ﾌｧｸｽ ｿｳｼﾝ ｻｷ」と表示されます。
3	タイマー送信	タイマー送信を実行する時刻を設定します。詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
4	送信モード	設定されているファクス送信モードが表示されます。送信モードの設定方法について詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。
5	ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ	送信待ち状態になっているジョブの一覧を表示し、ジョブを取り消します。詳しくは、「送信待ちジョブの取り消し」（p.250）をごらんください。 ファクス送信先が設定されている場合は表示されません。
6	ｾｯﾃｲ (UTILITY)	本機の各種設定を変更します。「設定メニュー（UTILITY）」（p.69）をごらんください。 ファクス送信先が設定されている場合は表示されません。
7	ﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽ	本機で実行した印刷の合計枚数やファクスの送受信結果を確認したり、レポートを印刷することができます。詳しくは、「レポート / ステータスメニュー」（p.66）をごらんください。 ファクス送信先が設定されている場合は表示されません。

プリント画面

プリントジョブを受信すると、メイン画面のステータス領域に「ﾌﾟﾘﾝﾀ：ｲﾝｻﾂﾁｭｳ」と表示されます。プリント画面（下図）を表示するには、「ﾌﾟﾘﾝﾀ：ｲﾝｻﾂﾁｭｳ」が表示されているときに、［◀］キーを押します。

プリントをキャンセルするには、プリント画面が表示されているときに、［ストップ / リセット］キーを押します。そして「ﾊｲ」を選択し、［選択］キーを押してください。

No.	表示	詳細
1	ステータス	印刷中などのメッセージが表示されます。
2	用紙トレイ / 用紙サイズ	選択している用紙トレイと用紙サイズが表示されます。

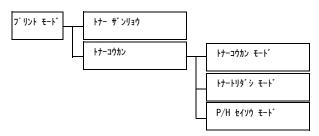
プリンタドライバからプリントジョブを受信したときに、プリンタドライバで設定した用紙サイズと操作パネルの「ｾｯﾃｲ (UTILITY) / ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」で設定されている用紙サイズが異なる場合、プリンタドライバで設定した用紙サイズが優先されます。

本機の状態や設定内容を確認する

プリントモードメニュー

メイン画面で［◀］キーを押すと、プリントモードメニューが表示されます。

このメニューでは、トナーカートリッジの概算トナー残量を確認したり、装置の動作モードを切り替えることができます。装置の動作モードには、トナーカートリッジを交換するための「トナー交換モード」、すべてのトナーカートリッジを一度に交換するための「トナー取り出しモード」、プリントヘッドを清掃するための「P/H 清掃モード」があります。プリントモードメニューの内容は以下のとおりです。

1 つ前の画面に戻るには、［戻る］キーを押します。メイン画面を表示するには、［ストップ / リセット］キーを押します。

トナー残量

この画面では、トナーカートリッジの概算トナー残量を確認することができます。

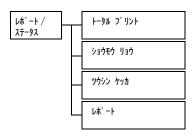
上記の画面で［選択］キーを 2 秒以上押し続けると、本機の設定リストページ（Configuration Page）を印刷することができます。

トナー交換

ﾄﾅｰｺｳｶﾝ ﾓｰﾄﾞ	装置を「トナー交換モード」に切り替えます。 このモードは、トナーカートリッジを交換する場合に使用します。 トナーカートリッジの交換については「トナーカートリッジの交換手順」（p.257）をごらんください。 「トナー交換モード」から通常のモードに戻るには、［ストップ / リセット］キーを押します。
ﾄﾅｰﾄﾘﾀﾞｼ ﾓｰﾄﾞ	装置を「トナー取り出しモード」に切り替えます。 このモードは、すべてのトナーカートリッジを取り出す場合に使用します。 すべてのトナーカートリッジを取り出す方法については「すべてのトナーカートリッジを取り出す方法」（p.263）をごらんください。 「トナー取り出しモード」から通常のモードに戻るには、［ストップ / リセット］キーを押します。
P/H ｾｲｿｳ ﾓｰﾄﾞ	装置を「P/H 清掃モード」に切り替えます。 「P/H 清掃モード」は、ユーザーがプリントヘッドを清掃しやすくするためのモードです。自動的にプリントヘッドが清掃されるわけではありません。 プリントヘッドの清掃方法については「プリントヘッドの清掃」（p.283）をごらんください。 「P/H 清掃モード」から通常のモードに戻る方法については、「プリントヘッドの清掃」（p.283）をごらんください。

レポート / ステータスメニュー

メイン画面でﾚﾎﾟｰﾄ / ｽﾃｰﾀｽを選択して［選択］キーを押すと、レポート / ステータスメニューが表示されます。このメニューでは、本機で実行した印刷の合計枚数やファクスの送受信結果を確認したり、レポートを印刷したりすることができます。レポート / ステータスメニューの内容は以下のとおりです。

1 つ前の画面に戻るには、［戻る］キーを押します。メイン画面を表示するには、［ストップ / リセット］キーを押します。

トータルプリント

ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ	プリントのトータルページ数を表示します。
ﾓﾉｸﾛ ｺﾋﾟｰ	モノクロコピーのトータルページ数を表示します。
ｶﾗｰ ｺﾋﾟｰ	カラーコピーのトータルページ数を表示します。
ﾓﾉｸﾛ ﾌﾟﾘﾝﾄ	モノクロプリントのトータルページ数を表示します。
ｶﾗｰ ﾌﾟﾘﾝﾄ	カラープリントのトータルページ数を表示します。
ﾌｧｸｽﾌﾟﾘﾝﾄ	ファクスプリントのトータルページ数を表示します。
ﾄｰﾀﾙｽｷｬﾝ	スキャンした原稿のトータルページ数を表示します。

片面プリント／コピーの場合、ﾄｰﾀﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄの枚数は 1 となります。また、両面プリント／コピーの場合、枚数は 2 となります。

消耗量

トナーカートリッジおよびイメージングカートリッジの残量をパーセントで表示します。

C ﾄﾅｰ	トナーカートリッジ - シアン（C）のトナー残量をパーセントで表示します。
M ﾄﾅｰ	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）のトナー残量をパーセントで表示します。
Y ﾄﾅｰ	トナーカートリッジ - イエロー（Y）のトナー残量をパーセントで表示します。
K ﾄﾅｰ	トナーカートリッジ - ブラック（K）のトナー残量をパーセントで表示します。
I/C	イメージングカートリッジの残り寿命をパーセントで表示します。

メッセージウィンドウで表示される消耗品の残量表示は、実際の使用量と完全に一致するものではなく、あくまで目安の値です。

通信結果

ファクスの送受信結果を最大 60 通表示します。また、［スタート（モノクロ）］キーを押すと表示している送受信結果を印刷します。詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

レポート

ファクス送受信結果や登録リスト、本機の設定内容を印刷します。

これらのレポートは、トレイ 1 の用紙に印刷されます。

ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	ファクスの送信結果を印刷します。
ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	ファクスの受信結果を印刷します。
ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	ファクスの送受信結果を印刷します。
ﾂｳｼﾝ ﾖﾔｸ ﾘｽﾄ	ファクスの送信待ち情報を印刷します。
ﾖﾔｸ ｶﾞｿﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ	ファクスの送信待ち情報と縮小した 1 ページ目を印刷します。
ｵｷﾆｲﾘ ﾘｽﾄ	お気に入りリストに登録されている送信先を印刷します。
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ	短縮ダイアルに登録した送信先を印刷します。
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ ﾘｽﾄ	グループダイアルのグループを印刷します。
ﾎﾝﾀｲ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ	メニュー一覧と設定内容を印刷します。
ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ	本機のおおよそのトナー残量、状態、情報、設定内容を印刷します。
ﾃﾞﾓ ﾍﾟｰｼﾞ	デモページを印刷します。

ファクスの送受信結果や登録リストについて詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

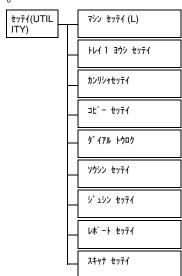
操作パネルのメニュー一覧

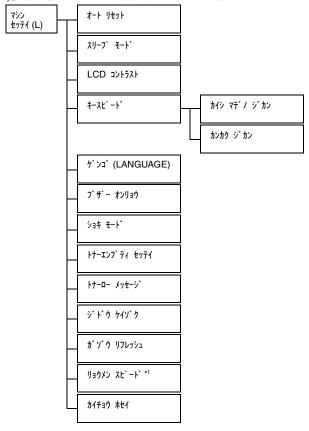
メイン画面で「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択して［選択］キーを押すと、本機の設定メニューが表示されます。設定メニューでは、本機の機能に関するさまざまな設定を行うことができます。

設定メニュー（UTILITY）

設定メニューの構成は以下のとおりです。

設定メニュー内で 1 つ前の画面に戻るには、［戻る］キーを押します。（設定値の入力中に［戻る］キーを押した場合、その設定は反映されません。）

「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」は管理者専用の設定メニューです。このメニューの設定項目を表示するには、「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」を選択後、テンキーで 6 桁の管理者番号（初期値：000000）を入力してから［選択］キーを押してください。

本体設定メニュー

本機の動作や表示に関する設定を行うには、設定メニューから「ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ (L)」を選択します。本体設定メニューの構成は以下のとおりです。

*1 オプションの両面プリントユニットを装着している場合のみ表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ｵｰﾄ ﾘｾｯﾄ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / 30sec / 1min / 2min / 3min / 4min / 5min</td></tr>
<tr><td colspan="2">操作パネルでキー操作しなかったときに初期画面に戻る時間を設定します。
自動リセット機能を設定するには、30sec（秒）、1min、2min、3min、4min、5min（分）からオートリセットがはたらくまでの時間を選択します。
ｵﾌを選択した場合、自動リセット機能ははたらきません。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / 5min / 15min / 30min / 60min
（初期設定：30min）</td></tr>
<tr><td colspan="2">本機を一定時間使用しない場合に、節電モードへ移行するまでの時間（単位：分）を設定します。
本モード動作中、操作パネルは何も表示しません。操作パネルキーの押し下げ、プリントデータやファクスデータを受信、前ドアの開閉で通常モードに復帰します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">LCD ｺﾝﾄﾗｽﾄ</td><td>設定</td><td>（薄い）（濃い）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージウィンドウの明るさを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ｷｰｽﾋﾟｰﾄﾞ</td><td rowspan="2">ｶｲｼ ﾏﾃﾞﾉ ｼﾞｶﾝ</td><td>設定</td><td>0.1sec / 0.3sec / 0.5sec / 1.0sec / 1.5sec / 2.0sec / 2.5sec / 3.0sec</td></tr>
<tr><td colspan="2">キーの長押しにより、カーソルが連続移動を開始するまでの時間（単位：秒）を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｶﾝｶｸ ｼﾞｶﾝ</td><td>設定</td><td>0.1sec / 0.3sec / 0.5sec / 1.0sec / 1.5sec / 2.0sec / 2.5sec / 3.0sec</td></tr>
<tr><td colspan="2">カーソルが各項目や文字挿入位置を連続移動する際の移動間隔（単位：分）を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ｹﾞﾝｺﾞ (LANGUAGE)</td><td>設定</td><td>English / French / German / Italian / Spanish / Portuguese / Russian / Czech / Slovak / Hungarian / Polish / Japanese (ﾆﾎﾝｺﾞ)</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージウィンドウの表示言語を、選択した言語に切り替えることができます。
文字が正しく表示されないため、「English」および「Japanese (ﾆﾎﾝｺﾞ)」以外の言語は選択しないでください。</td></tr>
</table>

ﾌﾞｻﾞｰ ｵﾝﾘｮｳ	設定	ｵﾌ / **ｼｮｳ** / ﾀﾞｲ
	キータッチ音、エラー発生時の警告音の音量を選択します。	
ｼｮｷ ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｺﾋﾟｰ** / ﾌｧｸｽ
	電源をオンにした時や、自動リセットした時の本機の状態を設定します。	
ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ ｾｯﾃｲ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	トナーがなくなった時、印刷、コピー、ファクスを停止するか（ｵﾝ）、続行するか（ｵﾌ）を設定できます。 「ｵﾝ」に設定すると、トナーがなくなった時、印刷、コピー、ファクスを停止します。 「ｵﾌ」に設定すると、トナーがなくなっても、印刷、コピー、ファクスを継続できますが印刷結果は保証されません。 その後も印刷、コピー、ファクスを続けると、「ﾄﾅｰｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ/x ﾄﾅｰｦｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」を表示し、印刷、コピー、ファクスを停止します。	
ﾄﾅｰﾛｰ ﾒｯｾｰｼﾞ	設定	**ｵﾝ** / ｵﾌ
	トナーの残りが少なくなった場合、メッセージを表示するか、しないかを設定します。	
ｼﾞﾄﾞｳ ｹｲｿﾞｸ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	「ｵﾝ」に設定すると、用紙サイズエラーが発生しても印刷を停止しません。印刷終了後に選択キーを押してエラーを解除します。 「ｵﾌ」に設定すると、用紙サイズエラーが発生した場合、印刷を停止します。ただし、用紙サイズエラーを検出するまで数枚印刷する場合があります。	
ｶﾞｿﾞｳ ﾘﾌﾚｯｼｭ	設定	ｵﾝ / **ｵﾌ**
	印刷した画像に周期的な白薄い横線が入る場合に使用します。 この機能を使用するとトナーが消費されますのでご注意ください。	

<table>
<tr><td rowspan="2">ﾘｮｳﾒﾝ ｽﾋﾟｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>**ｵｰﾄ** / ｽﾋﾟｰﾄﾞ ﾕｳｾﾝ / ｶﾞｼﾂ ﾕｳｾﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">両面印刷時の印刷速度を設定します。
「ｵｰﾄ」に設定すると、印刷速度は自動的に設定されます。
「ｽﾋﾟｰﾄﾞ ﾕｳｾﾝ」に設定すると、印刷速度を優先しますが、印刷品質が低下することがあります。
「ｶﾞｼﾂ ﾕｳｾﾝ」に設定すると、印刷品質を優先するため、印刷速度は下がりますが、印刷品質が向上することがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲ</td><td>設定</td><td>ｵﾝ / **ｵﾌ**</td></tr>
<tr><td colspan="2">画像階調を補正します。
「ｵﾝ」に設定すると、画像階調の補正を開始します。
この機能を使用するとトナーが消費されますのでご注意ください。</td></tr>
</table>

用紙設定メニュー

トレイ１の用紙に関する設定を行うには、設定メニューから「ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」を選択します。用紙設定メニューの構成は以下のとおりです。

ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td>用紙種類</td><td>ﾌﾂｳｼ ／ ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ ／ｱﾂｶﾞﾐ1 ／ ｱﾂｶﾞﾐ2 ／ ﾗﾍﾞﾙ ﾖｳｼ ／ ﾌｳﾄｳ ／ ﾊｶﾞｷ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">用紙サイズ

用紙サイズ</td><td>選択した用紙種類によって、選択可能な用紙サイズは異なります。
<table>
<tr><td>選択した用紙種類</td><td>選択可能な用紙サイズ</td></tr>
<tr><td>ﾌﾂｳｼ</td><td>A4 ／ A5 ／B5 ／ ﾘｰｶﾞﾙ ／ ﾚﾀｰ ／ G ﾚﾀｰ ／ STATE-MENT ／ EXECUTIVE ／ FOLIO ／ Oficio ／ G ﾘｰｶﾞﾙ ／ ﾌﾃｲｹｲ（ﾌﾂｳｼ）</td></tr>
<tr><td>ｱﾂｶﾞﾐ1、ｱﾂｶﾞﾐ2</td><td>A4 ／ A5 ／ B5 ／ ﾚﾀｰ ／ G ﾚﾀｰ ／ STATEMENT ／ EXECUTIVE ／ ﾌﾃｲｹｲ（ｱﾂｶﾞﾐ）</td></tr>
<tr><td>ﾚﾀｰﾍｯﾄﾞ、ﾗﾍﾞﾙ ﾖｳｼ</td><td>A4 ／ A5 ／ B5 ／ ﾚﾀｰ ／ G ﾚﾀｰ ／ STATEMENT ／ EXECUTIVE</td></tr>
<tr><td>ﾌｳﾄｳ</td><td>ﾌｳﾄｳ ﾖｳｹｲ 2 ｺﾞｳ ／ ﾌｳﾄｳ DL</td></tr>
<tr><td>ﾊｶﾞｷ</td><td>用紙サイズの選択画面は表示されず、下記の用紙サイズが自動的に設定されます。

100 × 148 mm</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

トレイ 1 にセットする用紙の種類とサイズを設定します。

用紙サイズで「ﾌﾃｲｹｲ（ﾌﾂｳｼ）」または「ﾌﾃｲｹｲ（ｱﾂｶﾞﾐ）」を選択した場合は、「ﾅｶﾞｻ」と「ﾊﾊﾞ」を個別に指定します。

「ﾅｶﾞｻ」の設定範囲は、「ﾌﾂｳｼ」の場合は 195 〜 356 mm、「ｱﾂｶﾞﾐ1」および「ｱﾂｶﾞﾐ2」の場合は 184 〜 297 mm です。（初期設定：297 mm）

「ﾊﾊﾞ」の設定範囲は 92 〜 216 mm です。（初期設定：210 mm）

用紙の種類を設定すると、メッセージウィンドウに使用可能な用紙サイズが表示されます。

プリンタドライバから印刷を実行した場合、用紙設定メニューの設定よりもプリンタドライバの設定が優先されます。ただし、本体操作パネル用紙設定メニューで
トレイ 1 ヨウシ タイプ ：フツウシ
トレイ 1 ヨウシ サイズ ：A4 or レター or リーガル
以外（アツガミ、B5 等）を設定するとエラーランプがオレンジ点灯し、プリンタードライバーから印刷できなくなります。
プリンタードライバーから印刷するには
トレイ 1 ヨウシ タイプ ：フツウシ
トレイ 1 ヨウシ サイズ：A4 or レター or リーガル
を設定してください。プリンタドライバで指定した用紙種類、用紙サイズに一致する用紙が、トレイ 1 にセットされていることを確認してください。

用紙サイズを設定した場合、本機操作パネルのメイン（ﾖｳｼ ｾﾝﾀｸ）画面には以下のように表示されます。

用紙サイズ	**LCD 表示**
A4	A4
A5	A5
B5	B5
ﾘｰｶﾞﾙ	LG
ﾚﾀｰ	LT
G ﾚﾀｰ	GLT
STATEMENT	ST
EXECTIVE	EXE
FORIO	F4
Oficio	OFC
G ﾘｰｶﾞﾙ	GLG

用紙サイズ	LCD 表示
ﾌﾃｲｹｲ	◪
ﾌｳﾄｳ ﾖｳｹｲ 2 ｺﾞｳ	C6
ﾌｳﾄｳ DL	ﾌｳﾄｳ DL
ﾊｶﾞｷ	JP

管理者設定メニュー

ネットワークに関する設定など、本機の管理者設定を行うには、設定メニューから「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」を選択します。管理者設定メニューの構成は以下のとおりです。

「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」は管理者専用の設定メニューです。このメニューの設定項目を表示するには、「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ」を選択後、テンキーで 6 桁の管理者番号（初期値 : 000000）を入力してから［選択］キーを押してください。

SLP*1
SNMP*1
SPEED/DUPLEX*1
ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ
SMTP
ｿｳｼﾝｼｬ ﾒｲ
ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ
ｹﾝﾒｲ
SMTP ｻｰﾊﾞ
SMTP ﾎﾟｰﾄ No.
SMTP ｻｰﾊﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ
ﾃｷｽﾄ ｿｳﾆｭｳ
POP BEFORE SMTP
ｷﾝｼ / ｷｮｶ
POP3 ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ*2
POP3 ﾎﾟｰﾄ No.*2
POP3 ﾀｲﾑｱｳﾄ*2
POP3 ｱｶｳﾝﾄ*2
POP3 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ*2
SMTP AUTH.
ｷﾝｼ / ｷｮｶ
SMTP ﾕｰｻﾞ ﾒｲ*3
SMTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ*3

LDAP ｾｯﾃｲ
ｷﾝｼ / ｷｮｶ
LDAP ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ *4
LDAP ﾎﾟｰﾄ No.*4
SSL ｾｯﾃｲ *4
ｹﾝｻｸ ﾍﾞｰｽ *4
ｿﾞｸｾｲ *4
ｹﾝｻｸ ﾎｳﾎｳ *4
LDAP ﾀｲﾑｱｳﾄ *4
ｻｲﾀﾞｲ ｹﾝｻｸ ｽｳ *4
ﾆﾝｼｮｳ ﾎｳｼｷ *4
LDAP ｱｶｳﾝﾄ *4
LDAP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ *4
ﾄﾞﾒｲﾝ ﾒｲ *4
USB ｾｯﾃｲ
ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ
ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ
PSTN/PBX
ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ
ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ
ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ

*1 この項目は「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ / ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ / TCP/IP」が「ｷｮｶ」に設定されている場合のみ表示されます。
*2 この項目は「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ / ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ / POP BEFORE SMTP / ｷﾝｼ / ｷｮｶ」が「ｷｮｶ」に設定されている場合のみ表示されます。
*3 この項目は「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ / ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ / SMTP AUTH. / ｷﾝｼ / ｷｮｶ」が「ｷｮｶ」に設定されている場合のみ表示されます。
*4 この項目は「ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ / LDAP ｾｯﾃｲ / ｷﾝｼ / ｷｮｶ」が「ｷｮｶ」に設定されている場合のみ表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

<table>
<tr><td colspan="2">ｶﾝﾘｼｬ No.</td><td colspan="2">新しい管理者番号を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ﾘﾓｰﾄ ﾓﾆﾀ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ｵﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">リモートモニタ機能を使用するかどうかを設定します。
「ｵﾝ」に設定した場合は、テクニカルサポートによるメニューモードへのアクセスが可能になります。
「ｵﾌ」に設定した場合は、テクニカルサポートによるメニューモードへのアクセスはできません。
この設定はテクニカルサポートが使用するためのものです。通常は設定を変更しないでください。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ</td><td rowspan="2">TCP/IP</td><td>設定</td><td>ｷﾝｼ / ｷｮｶ</td></tr>
<tr><td colspan="2">本機のネットワーク接続を禁止するか、許可するかを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">IP ｱﾄﾞﾚｽ ｾｯﾃｲ</td><td>設定</td><td>ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ / ｺﾃｲ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネットワーク上で本機が使用する IP アドレスを設定します。
「ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ」を選択した場合、IP アドレスが自動的に取得されます。
「ｺﾃｲ」を選択した場合、「IP ｱﾄﾞﾚｽ」、「ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ」、「ｹﾞｰﾄｳｪｲ」を手動で入力して設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DNS ｾｯﾃｲ</td><td>設定</td><td>ｷﾝｼ / ｷｮｶ</td></tr>
<tr><td colspan="2">DNS（ドメインネームシステム）を禁止するか、許可するかを設定します。
「ｷｮｶ」を選択した場合、DNS サーバのアドレスを 3 つまで指定することができます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DHCP</td><td>設定</td><td>ｷﾝｼ / ｷｮｶ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネットワーク上に DHCP サーバが存在する場合に、IP アドレスなどのネットワーク情報を DHCP サーバから自動的に取得するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ	BOOTP	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
		ネットワーク上に BOOTP サーバが存在する場合に、IP アドレスなどのネットワーク情報を BOOTP サーバから自動的に取得するかどうかを設定します。	
	ARP/PING	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
		IP アドレスの取得時に ARP/PING コマンドを使用するかしないかを設定します。	
	HTTP	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
		HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。	
	FTP	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
		FTP（ファイル転送プロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。	
	SMB	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
		SMB（サーバメッセージブロック）を禁止するか、許可するかを設定します。	
	BONJOUR	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
		Bonjour（ボンジュール）を禁止するか、許可するかを設定します。	
	IPP	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
		IPP（インターネットプリンティングプロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。 「HTTP」を「ｷﾝｼ」に設定している場合は、IPP は設定できません。	
	SLP	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
		SLP（サービスロケーションプロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。	
	SNMP	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
		SNMP（シンプルネットワークマネージメントプロトコル）を禁止するか、許可するかを設定します。	

ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ	SPEED/DUPLEX	設定	ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ ／ 10BASE-T FULL ／ 10BASE-T HALF ／ 100BASE-TX FULL ／ 100BASE-TX HALF
		通信速度と双方向通信の通信方式を設定します。	
ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ	SMTP	設定	ｷﾝｼ ／ ｷｮｶ
		本機のメール送信機能を禁止するか、許可するかを設定します。	
	ｿｳｼﾝｼｬ ﾒｲ	メールの送信者名（英数字、記号で最大 20 文字）を入力します。 初期設定は「magicolor_1690MF」です。	
	ﾒｰﾙ ｱﾄﾞﾚｽ	メール送信者のメールアドレス（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 初期設定は未入力です。	
	ｹﾝﾒｲ	メールで使用する件名（英数字、記号で最大 20 文字）を入力します。 初期設定は「From mc1690MF」です。	
	SMTP ｻｰﾊﾞ	SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 初期設定は「0.0.0.0」です。	
	SMTP ﾎﾟｰﾄ No.	設定	1 ～ 65535（初期設定：25）
		SMTP サーバのポートを設定します。	
	SMTP ｻｰﾊﾞ ﾀｲﾑｱｳﾄ	設定	30 ～ 300sec（初期設定：60sec）
		SMTP サーバのタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。	

ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ	ﾃｷｽﾄ ｿｳﾆｭｳ		設定	ｵﾌ / ｵﾝ
			既定テキストをメッセージの本文に挿入するかどうかを設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合、以下のテキストがメッセージの本文に挿入されます。 The attachment file is a **** format file. Image data (**** format) has been attached to the email. ****；選択されているファイル形式が表示されます。	
	POP BEFORE SMTP	ｷﾝｼ／ｷｮｶ	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
			POP Before SMTP を禁止するか、許可するかを設定します。 「ｷｮｶ」に設定した場合は、時間（単位：秒）を設定します。設定範囲は 0 ～ 60sec（初期設定：5sec）です。	
		POP3 ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ	POP Before SMTP 認証で使用する POP3 サーバの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 初期設定は「0.0.0.0」です。	
		POP3 ﾎﾟｰﾄ No.	設定	1 ～ 65535（初期設定：110）
			POP3 サーバとの通信に使用するポートを設定します。	
		POP3 ﾀｲﾑｱｳﾄ	設定	30 ～ 300sec（初期設定：30sec）
			POP3 サーバのタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。	
		POP3 ｱｶｳﾝﾄ	POP3 サーバ認証で使用するユーザ名（英数字、記号で最大 63 文字）を入力します。 初期設定は未入力です。	
		POP3 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	POP3 サーバ認証で使用するパスワード（英数字、記号で最大 15 文字）を入力します。 初期設定は未入力です。	

ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ	SMTP AUTH.	ｷﾝｼ / ｷｮｶ	設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
			SMTP 認証を禁止するか、許可するかを設定します。	
		SMTP ﾕｰｻﾞ ﾒｲ	SMTP 認証で使用するユーザ名（英数字、記号で最大 63 文字）を入力します。 初期設定は未入力です。	
		SMTP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	SMTP サーバ認証で使用するパスワード（英数字、記号で最大 15 文字）を入力します。 初期設定は未入力です。	
LDAP ｾｯﾃｲ	ｷﾝｼ / ｷｮｶ		設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
			LDAP 機能を禁止するか、許可するかを設定します。	
	LDAP ｻｰﾊﾞ ｱﾄﾞﾚｽ		LDAP サーバの IP アドレスまたはホスト名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 初期設定は「0.0.0.0」です。	
	LDAP ﾎﾟｰﾄ No.		設定	1 ～ 65535（初期設定：389）
			LDAP サーバのポートを設定します。	
	SSL ｾｯﾃｲ		設定	ｷﾝｼ / ｷｮｶ
			SSL 通信を禁止するか、許可するかを設定します。	
	ｹﾝｻｸ ﾍﾞｰｽ		LDAP サーバのディレクトリから、検索開始位置（英数字、記号で最大 64 文字）を指定します。 初期設定は未入力です。	
	ｿﾞｸｾｲ		名前またはメールアドレスを検索する際に使用する属性（英数字、記号で最大 32 文字）を設定します。 初期設定は「cn」です。	

LDAP ｾｯﾃｲ	ｹﾝｻｸ ﾎｳﾎｳ	設定	ﾊｼﾞﾏﾙ / **ﾌｸﾑ** / ｵﾜﾙ
		検索方法を設定します。 「ﾊｼﾞﾏﾙ」を設定した場合は、指定した文字で始まっている名前またはメールアドレスのみが検索されます。 「ﾌｸﾑ」を設定した場合は、指定した文字が含まれている名前またはメールアドレスが検索されます。 「ｵﾜﾙ」を設定した場合は、指定した文字で終わっている名前またはメールアドレスのみが検索されます。	
	LDAP ﾀｲﾑｱｳﾄ	設定	5 ～ 300sec（初期設定：60sec）
		検索のタイムアウト時間（単位：秒）を設定します。	
	ｻｲﾀﾞｲ ｹﾝｻｸ ｽｳ	設定	5 ～ 100（初期設定：100）
		検索結果の最大表示件数を設定します。	
	ﾆﾝｼｮｳ ﾎｳｼｷ	設定	**ﾄｸﾒｲ** / SIMPLE /DIGEST-MD5 / GSS-SPNEGO
		LDAP サーバのログインに使用する認証方式を設定します。	
	LDAP ｱｶｳﾝﾄ	LDAP サーバへの接続に使用するユーザ名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 初期設定は未入力です。	
	LDAP ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	LDAP サーバへの接続に使用するパスワード（英数字、記号で最大 32 文字）を入力します。 初期設定は未入力です。	
	ﾄﾞﾒｲﾝ ﾒｲ	LDAP サーバへの接続に使用するドメイン名（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。 初期設定は未入力です。	
USB ｾｯﾃｲ		設定	**Windows** / Mac
		本機と USB ケーブルで接続しているコンピュータのオペレーティングシステムを選択します。	

ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ	ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ	設定	ﾄｰﾝ / ﾊﾟﾙｽ
		回線の種類を選択します。回線の種類が正しく設定されていないと、ファクス通信はできません。 ご使用の回線の種類を確認してから、設定してください。 「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ / ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「U.S.A」、「Canada」、「New Zealand」のいずれかに設定されている場合、この設定を変更することはできません。	
	ﾓﾆﾀ ｵﾝﾘｮｳ	設定	ｵﾌ / ｼｮｳ / ﾀﾞｲ
		回線モニタ音の音量を選択します。 「ｵﾌ」に設定している場合でも、［オンフック］キーを押したときにはモニタ音が聞こえます。	
	PSTN/PBX	設定	**PSTN** / PBX
		ご利用の環境に応じて「PSTN」または「PBX」を設定します。 ご利用の環境に電話交換機などがない場合は、「PSTN」を選択してください。 ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを使用している場合は、「PBX」を選択してください。 「PBX」を選択した場合は、外線発信番号を設定します。	

ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ	ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｵﾌ** / ｵﾝ
		着信時に電話とファクス受信を自動的に切り替えるかどうかを設定します。本機に電話機を接続した場合に設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合は、電話着信時に呼び出し音が鳴ります。ファクスは自動的に受信します。 「ｵﾌ」に設定した場合は、電話着信時は応答音のみ相手に返します。ファクスは自動的に受信します。 この機能を使用するには、ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲでの「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」を「ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ」に設定してください。	
	ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｼﾞｶﾝ	設定	5sec / 10sec / 15sec / **20sec** / 25sec / 30sec / 60sec / 90sec / 120sec / 150sec / 180sec / 240sec
		電話の呼び出し時間（単位：秒）を設定します。 「ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ」を「ｵﾝ」に設定している場合のみ、この設定が有効になります。	
	ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ	設定	**ｵﾌ** / ｵﾝ
		電話機の留守番電話機能を使用する場合に設定します。 「ｵﾝ」に設定した場合は、留守番電話応答中にファクス信号を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。 この機能を使用するには、「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ / ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」を「ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ」に設定し、「ﾃﾞﾝﾜ / ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ」を「ｵﾌ」に設定してください。	

ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ	ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ	設定	Argentina / Australia / Austria / Belgium / Brazil / Canada / China / Czech / Denmark / Europe / Finland / France / Germany / Greece / Hong Kong / Hungary / Ireland / Israel / Italy / Japan / Korea / Malaysia / Mexico / Netherlands / New Zealand / Norway / Philippines / Poland / Portugal / Russia / Saudi Arabia / Singapore / Slovakia / South Africa / Spain / Sweden / Switzerland / Taiwan / Turkey / U.S.A / United Kingdom / Vietnam
		本機を設置した国を設定します。	
	ﾆﾁｼﾞ ｾｯﾃｲ	設定	ｼﾞｶﾝ：00:00 ～ 23:59 ﾋﾂﾞｹ：00/01/01 ～ 99/12/31 ﾀｲﾑｿﾞｰﾝ：GMT+12:00 ～ GMT-12:00（30 分単位）
		現在の日時およびタイムゾーンをテンキーで入力します。 「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ / ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「U.S.A」または「Canada」に設定されている場合、サマータイムに合わせて自動的に時刻が変更されます。（開始日：4 月の第 1 日曜日午前 2 時、終了日：10 月の最終日曜日午前 2 時）	
	ﾋﾂﾞｹ ﾉ ｹｲｼｷ	Setting	**MM**/**DD**/**YY** ,DD/MM/YY ,YY/MM/DD
		レポートやリストの日時表示形式を選択します。	
	ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ	設定	ｲﾝﾁ / ﾒﾄﾘｯｸ
		ズーム倍率のプリセットで使用する単位系を、インチまたはミリメートルのいずれかに設定します。	
	ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	本機のファクス番号（数字、スペース、+、－で最大 20 桁）をテンキーで入力します。 ここで設定したファクス番号が送信先の文書のヘッダに印刷されます。	

ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ	ﾊｯｼﾝ ﾓﾄ	発信元の名前（英数字、記号で最大 32 文字）を入力します。 ここで設定した名前が送信先の文書のヘッダに印刷されます。	
ｵｰﾄ ﾘﾀﾞｲｱﾙ	ｵｰﾄ ﾘﾀﾞｲｱﾙ ｶｲｽｳ	設定	1 ～ 10（初期設定：1）
		発信先の回線が使用中の場合など、ファクス送信が完了できないときに自動的にリダイアルする回数を設定します。	
	ｶﾝｶｸ ｼﾞｶﾝ	設定	2 ～ 99min（初期設定：2min）
		リダイアルの間隔（単位：分）を設定します。	

コピー設定メニュー

コピー機能に関する設定を行うには、設定メニューから「ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ」を選択します。コピー設定メニューの構成は以下のとおりです。

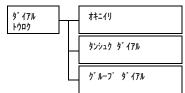
[*1] オプションの両面プリントユニットを装着している場合のみ表示されます。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

ﾕｳｾﾝ ﾖｳｼ	設定	**ﾄﾚｲ 1** / ﾄﾚｲ 2
	通常使用するトレイを設定します。 オプションの給紙ユニットを装着していない場合、この設定は変更できません。	

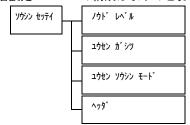
<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ﾕｳｾﾝ ｶﾞｼﾂ</td><td>設定</td><td>ﾐｯｸｽ , ﾓｼﾞ , ｼｬｼﾝ , ﾌｧｲﾝ/ﾐｯｸｽ , ﾌｧｲﾝ/ﾓｼﾞ , ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">コピーする原稿の種類を設定します。
ﾐｯｸｽ
文字と写真の混在する原稿の場合に選択します。
ﾓｼﾞ
文字原稿のときに選択します。
ｼｬｼﾝ
写真などのハーフトーン（中間色）部の多い原稿のときに選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ﾕｳｾﾝ ﾉｳﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ / ﾏﾆｭｱﾙ</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用する濃度の設定方法を選択します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ</td><td rowspan="2">ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ</td><td>設定</td><td>（薄い）◀□□■□▶（濃い）</td></tr>
<tr><td colspan="2">下地色の濃度を調整します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾏﾆｭｱﾙ</td><td>設定</td><td>（薄い）◀□□□□■□□□▶（濃い）</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用するコピー濃度を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ﾕｳｾﾝ ｿｰﾄ</td><td>設定</td><td>ﾉﾝｿｰﾄ / ｿｰﾄ</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用するコピーのソート方法を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">ﾕｳｾﾝ ﾘｮｳﾒﾝ ｺﾋﾟｰ</td><td>設定</td><td>ｵﾌ / ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ / ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ</td></tr>
<tr><td colspan="2">通常使用する両面コピーの設定を選択します。
「ｵﾌ」に設定した場合は、通常両面コピーがオフになります。
「ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ」に設定した場合は、通常両面コピーがオンになり、長辺とじで出力されます。
「ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ」に設定した場合は、通常両面コピーがオンになり、短辺とじで出力されます。</td></tr>
</table>

ダイアル登録メニュー

お気に入り、短縮ダイアル、グループダイアルを登録するには、設定メニューから「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択します。ダイアル登録メニューの構成は以下のとおりです。

ｵｷﾆｲﾘ	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、お気に入りに登録します。ファクス番号またはメールアドレスを手入力する必要がないため、簡単に呼び出し、相手先を正確に指定できます。 お気に入りは最大 20 件登録できます。
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使うファクス番号またはメールアドレスを、短縮ダイアル番号に登録します。ファックス番号の手入力をしないため、簡単に呼び出せ、正確に相手先を指定できます。 最大ダイアル番号は、ファックス番号または E メールで最大 220 件、FTP アドレスまたは SMB アドレスで最大 30 件登録できます。 詳しくは、「直接入力で短縮ダイアルを登録する」（p.216）または「LDAP 検索を使って短縮ダイアルを登録する」（p.220）をごらんください。
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ	よく使う同報相手先を、グループダイアルに登録します。登録したグループを選択するだけで、複数の相手先を呼び出すことができます。 1 つのグループダイアルには、最大 50 件登録できます。 グループダイアルは最大 20 件登録できます。 詳しくは、「グループダイアルを登録する」（p.230）をごらんください。

送信設定メニュー

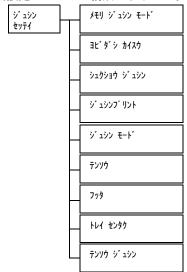
ファクス送信に関する設定を行うには、設定メニューから「ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ」を選択します。送信設定メニューの構成は以下のとおりです。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ	設定	（薄い）◁□■□▶（濃い）
	原稿をスキャンするときの濃度を設定します。	
ﾕｳｾﾝ ｶﾞｼﾂ	設定	**ﾌﾂｳ/ﾓｼﾞ**，ﾌｧｲﾝ/ﾓｼﾞ，S −ﾌｧｲﾝ/ﾓｼﾞ，ﾌﾂｳ/ ｼｬｼﾝ，ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ，S- ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ
	通常使用するスキャン解像度（ファクス画質）を選択します。 「ﾌﾂｳ / ﾓｼﾞ」: 手書き原稿や、コンピュータによる印刷物などをファクスする場合に設定します。 「ﾌｧｲﾝ / ﾓｼﾞ」: 小さい文字を含む原稿をファクスする場合に設定します。 「S- ﾌｧｲﾝ / ﾓｼﾞ」: 新聞などの小さい文字や、精密図などを含む原稿をファクスする場合に設定します。 「ﾌﾂｳ / ｼｬｼﾝ」: 標準的な品質の画像をファクスする場合に設定します。 「ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ」: 品質が高い画像をファクスする場合に設定します。 「S- ﾌｧｲﾝ / ｼｬｼﾝ」: とても品質が高い画像をファクスする場合に設定します。	

ﾕｳｾﾝ ｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ	設定	**ﾒﾓﾘ ｿｳｼﾝ** / ｸｲｯｸ ｿｳｼﾝ
	通常使用するファクス送信モードを選択します。 「ﾒﾓﾘ ｿｳｼﾝ」: すべてのページがいったんメモリに保存されてから、ファクス送信を開始する方法です。送信先の文書のヘッダに総ページ数が表示されます。ただし、解像度を高く設定して一度にたくさんのページを読み込むと、メモリがいっぱいになる可能性があります。 「ｸｲｯｸ ｿｳｼﾝ」: 相手局との通信シーケンスにしたがって、即時に通信する方法です。たくさんのページを送信する場合でも、メモリの容量を気にせずに原稿を読み込むことができます。	
ﾍｯﾀﾞ	設定	ｵﾌ / **ｵﾝ**
	送信先の文書に本機の発信元情報（送信日時、送信者名、送信者ファクス番号、セクション番号、ページ番号）を印字するかどうかを設定します。	

受信設定メニュー

ファクス受信に関する設定を行うには、設定メニューから「ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ」を選択します。受信設定メニューの構成は以下のとおりです。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ	設定	**ｵﾌ** / ｵﾝ
	機密文書の受信の場合、夜間などの無人時に印刷出力したくない場合にメモリ受信する（ｵﾝ）かしない（ｵﾌ）かを設定します。メモリ受信モードが「ｵﾝ」の場合は、受信文書はメモリに蓄積され、指定した時間に出力されます。または、メモリ受信モードを「ｵﾌ」にしたときに、出力されます。 メモリ受信モードを設定するときに、パスワードの設定もできます。パスワードは設定をキャンセルするときにも必要になります。 詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。	
ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ	設定	0 ～ 15（初期設定：2）
	ファクス受信開始までの呼び出し音の回数を 0 ～ 15 の間で入力します。 「ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ / ﾌｧｸｽ PTT ｾｯﾃｲ」が「New Zealand」に設定されている場合、「ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ｶｲｽｳ」の設定範囲は 7 ～ 10 です。 留守番電話を接続して使用する場合は、設定メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY) / ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ / ﾂｳｼﾝ ｾｯﾃｲ / ﾙｽﾊﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜ ｾﾂｿﾞｸ」を「ｵﾝ」に設定し、留守番電話機側の応答するまでの呼び出し回数は本設定より短く設定してください。	
ｼｭｸｼｮｳ ｼﾞｭｼﾝ	設定	ｵﾌ / **ｵﾝ** / ｶｯﾄ
	本機の印刷用紙よりも長い文書を受信したときに、縮小するか、分割するか、破棄するかを選択します。 「ｵﾌ」: 等倍で、分割して印刷します。 「ｵﾝ」: 縮小して印刷します。 「ｶｯﾄ」: 用紙に収まらない部分を破棄して印刷します。ただし、受信文書が印刷用紙よりも 24 mm 以上長い場合は、分割されます。	

<table>
<tr><td rowspan="2">ｼﾞｭｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄ</td><td>設定</td><td>ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝ ／ ﾌﾟﾘﾝﾄｼﾞｭｼﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信文書の印刷を、全ページ受信後に印刷を開始するか、1 ページ目を受信後から印刷を開始するかどうかを選択します。

「ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝ」：全ページを受信後、印刷を開始します。

「ﾌﾟﾘﾝﾄｼﾞｭｼﾝ」：1 ページ目を受信後、印刷を開始します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ</td><td>設定</td><td>ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ ／ ﾏﾆｭｱﾙｼﾞｭｼﾝ</td></tr>
<tr><td colspan="2">受信モードを自動受信にするか、手動受信にするかを選択します。

「ｵｰﾄｼﾞｭｼﾝ」：ファクスの着信後自動的に受信する場合に設定します。

「ﾏﾆｭｱﾙｼﾞｭｼﾝ」：ファクスの着信後自動的に受信しません。外付け電話機の受話器を上げるか［オンフック］キーを押してから、［スタート］キーを押すと、受信が開始されます。

手動受信については、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。</td></tr>
</table>

ﾃﾝｿｳ	設定	**ｵﾌ** ／ ｵﾝ ／ ｵﾝ（ﾌﾟﾘﾝﾄ）
	受信文書を転送するかどうかを選択します。 受信設定メニューで「ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ｵﾝ」に設定されている場合は転送できません。また、受信設定メニューで「ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ」が「ﾏﾆｭｱﾙｼﾞｭｼﾝ」に設定されている場合も転送できません。 ■ ｵﾌ：転送しません。 ■ ｵﾝ：受信した文書を指定したファクス番号、メールアドレスに転送します。 ■ ｵﾝ（ﾌﾟﾘﾝﾄ）：受信した文書を指定したファクス番号、メールアドレスに転送すると同時に、本機でプリントします。 メールアドレスに転送する場合、TIFF データがメールに添付されます。 転送方法について詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。	
ﾌｯﾀ	設定	**ｵﾌ** ／ ｵﾝ
	受信した文書に受信情報（受信日時、相手先ファクス番号など）を文書の下部に印字するかどうかを設定します。	
ﾄﾚｲ ｾﾝﾀｸ	設定	**ﾄﾚｲ 1** ／ ﾄﾚｲ 2
	受信文書やレポートを印刷するときに、どちらの給紙トレイを使うか選択します。 オプションの給紙ユニットを装着していない場合、この設定は変更できません。	

ﾃﾝｿｳ ｼﾞｭｼﾝ	設定	**ｵﾌ** / ｵﾝ
	外付け電話機を本機に接続している場合のファクス着信時に、外付け電話機のダイアルから、電話を切らずにファクス受信の指示をする機能を転送受信といいます。 この設定では転送受信をするかしないかを選択できます。 「ｵﾝ」に設定する場合は、転送受信時に使用するダイアル番号を設定します。 転送受信について詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。	

レポート設定メニュー

レポート機能に関する設定を行うには、設定メニューから「ﾚﾎﾟｰﾄ ｾｯﾃｲ」を選択します。レポート設定メニューの構成は以下のとおりです。

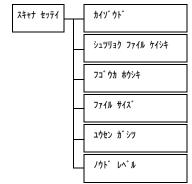
太字は工場出荷時の設定値を表します。

ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾌ / **ｵﾝ**
	通信管理レポートを印刷するかどうかを設定します。「ｵﾝ」に設定すると、通信 60 件ごとに、印刷されます。 通信管理レポートで送受信の結果を確認できます。	
ｿｳｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾝ / **ｵﾝ（ｴﾗｰ）** / ｵﾌ
	ファクス送信終了後に、自動的に送信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 「ｵﾝ」：送信終了毎に印刷します。 「ｵﾝ（ｴﾗｰ）」：エラーになった送信の場合にのみ印刷します。 送信エラーとなった文書の 1 ページ目を縮小し、エラー結果とともに印刷します。 「ｵﾌ」：エラーになったときでも印刷しません。	

ｼﾞｭｼﾝ ｹｯｶ ﾚﾎﾟｰﾄ	設定	ｵﾝ / **ｵﾝ（ｴﾗｰ）**/ ｵﾌ
	ファクス受信終了後に、自動的に受信結果レポートを印刷するかどうかを設定します。 「ｵﾝ」：受信終了毎に印刷します。 「ｵﾝ（ｴﾗｰ）」：エラーになった受信の場合にのみ印刷します。 「ｵﾌ」：エラーになったときでも印刷しません。	

スキャナ設定メニュー

スキャナ機能に関する設定を行うには、設定メニューから「ｽｷｬﾅ ｾｯﾃｲ」を選択します。スキャナ設定メニューの構成は以下のとおりです。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

ｶｲｿﾞｳﾄﾞ	設定	**150×150dpi** / 300×300dpi
	メールで送信するスキャンデータの解像度を設定します。	

ｼｭﾂﾘｮｸ ﾌｧｲﾙ ｹｲｼｷ	設定	TIFF ／ **PDF** ／ JPEG
	スキャンしたデータをメールで送信するときのファイル形式を選択します。 PDF ファイルは Adobe Acrobat Reader で開くことができます。PDF 形式は、PDF1.2 に準拠しています。 「ｶﾗｰ / ｸﾞﾚｰ」でスキャンした TIFF ファイルは、Windows XP の Windows Picture と FAX Viewer では開くことができません。これらのファイルは、アプリケーション（例えば Adobe PhotoShop、Microsoft Office Document Imaging または ACDsee）で画像処理すると開くことができます。	
ﾌｺﾞｳｶ ﾎｳｼｷ	設定	**MH** ／ MR ／ MMR
	スキャンしたデータをメールで送信するときの圧縮方法を選択します。 MH、MR、MMR の順に圧縮率が高くなります。 メール送信時のカラー設定で「ｼﾛｸﾛ」を選択した場合のみ有効となります。 スキャンカラーの設定については、「スキャンカラーの設定」（p.248）をごらんください。	
ﾌｧｲﾙ ｻｲｽﾞ	設定	**ﾌﾞﾝｶﾂ ｼﾅｲ** ／ ﾌﾞﾝｶﾂ ｽﾙ
	メールで送信するスキャンデータのサイズを制限するかどうかを選択します。 「ﾌﾞﾝｶﾂ ｽﾙ」を選択した場合は、1 ～ 10Mb の範囲で上限サイズを指定します。送信するデータが上限サイズを超える場合は、複数の添付ファイルとして分割送信されます。 複数の添付ファイルを受信するには、分割送信に対応するメールソフトウェアが必要です。	
ﾕｳｾﾝ ｶﾞｼﾂ	設定	**ﾐｯｸｽ** ／ ﾓｼﾞ ／ ｼｬｼﾝ
	通常使用するスキャンデータの画質を選択します。	
ﾉｳﾄﾞ ﾚﾍﾞﾙ	設定	（薄い）◁□□■□□▶（濃い）
	通常使用するスキャンデータの濃度を選択します。	

用紙の取り扱い 4

使用できる用紙

用紙のサイズ

用紙	用紙サイズ		給紙トレイ *	両面	コピー	印刷	ファクス
	ミリ（mm）	インチ（in.）					
A4	210.0 x 297.0	8.2 x 11.7	1/2	○	○	○	○
B5 (JIS)	182.0 x 257.0	7.2 x 10.1	1	×	○	○	×
A5	148.0 x 210.0	5.9 x 8.3	1	×	○	○	×
リーガル	215.9 x 355.6	8.5 x 14.0	1	×	○ (ADF)	○	○
レター	215.9 x 279.4	8.5 x 11.0	1	○	○	○	○
ステートメント	139.7 x 215.9	5.5 x 8.5	1	×	○	○	×
エグゼクティブ	184.2 x 266.7	7.25 x 10.5	1	×	○	○	×
フォリオ	210.0 x 330.0	8.25 x 13.0	1	×	○ (ADF)	○	×
レタープラス	215.9 x 322.3	8.5 x 12.69	1	×	×	○	×
UK クァトロ	203.2 x 254.0	8.0 x 10.0	1	×	×	○	×
フールスキャップ	203.2 x 330.2	8.0 x 13.0	1	×	×	○	×
ガバメントリーガル	215.9 x 330.2	8.5 x 13.0	1	×	○ (ADF)	○	×
開 16	185.0 x 260.0	7.3 x 10.2	1	×	×	○	×
開 32	130.0 x 185.0	5.1 x 7.3	1	×	×	○	×
ガバメントレター	203.2 x 266.7	8.0 x 10.5	1	×	○	○	×
16 K	195.0 x 270.0	7.7 x 10.6	1	×	×	○	×
Oficio Mexico	215.9 x 342.9	8.5 x 13.5	1	×	○ (ADF)	○	○
B5 (ISO)	176.0 x 250.0	6.9 x 9.8	1	×	×	○	×
封筒 DL	220.0 x 110.0	8.7 x 4.3	1	×	○	○	×
封筒洋形 2 号	162.0 x 114.0	6.4 x 4.5	1	×	○	○	×
ハガキ	100.0 x 148.0	3.9 x 5.8	1	×	○	○	×
カスタムサイズ (最小値)**	92.0 x 195.0	3.6 x 7.7	1	×	○	○	×
カスタムサイズ (最大値)**	216.0 x 356.0	8.5 x 14.0	1	×	○	○	×

備考： * トレイ 1 は汎用
トレイ 2 は普通紙（リサイクル）専用
** 厚紙の場合
カスタムサイズの最小値は、92.0 x 184.0 mm （3.6 x 7.25 インチ）
カスタムサイズの最大値は、216.0 x 297.0 mm（8.5 x 11.7 インチ）

用紙の種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

普通紙（リサイクル）

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	500 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	トレイ 1	印刷面が上向き
	トレイ 2	印刷面が上向き
プリンタドライバでの用紙種類の設定	普通紙 （リサイクル）	
坪量	60 ～ 90 g/m^2	
両面印刷	A4 サイズまたはレターサイズの普通紙のみ実行できます。	

以下の用紙を使用してください。

- 販売店で取り扱っている OA 用紙、リサイクル紙など、プリンタとコピー対応の普通紙（リサイクル）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、本機の故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、カラー加工された紙など）
- 熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- アイロンプリント用紙
- インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）

- 一度印刷に使用した用紙
  - インクジェットプリンタで印刷された用紙
  - モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
  - 熱転写プリンタで印刷された用紙
  - 他のプリンタやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
  湿度が 15% 〜 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

厚紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	厚紙 1 厚紙 2	

坪量	厚紙 1：91 〜 163 g/m² 厚紙 2：164 〜 209 g/m²
両面印刷	対応していません。

以下のような使いかたはしないでください。

- トレイ 1 の中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

どの封筒の場合も、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

封筒には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

- 封筒 DL または洋形 2 号のサイズの封筒
（その他のサイズの封筒はサポート外となります）
- 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

- レーザープリンタ対応の封筒
- 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

■ 表面が粗い和紙などの封筒

■ 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒

■ すでにのりでとじられている封筒

ラベル用紙

ラベル用紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

■ 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。

■ 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル用紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル用紙用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル用紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル用紙	
両面印刷	対応していません。	

以下のラベル用紙を使用してください。

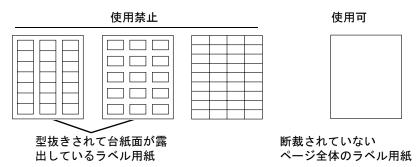
■ レーザープリンタ用ラベル用紙

以下のようなラベル用紙は使用しないでください。

■ はがれやすいラベル用紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル用紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

■ 最初から断裁されているラベル用紙

レターヘッド

レターヘッドには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	レターヘッド	
両面印刷	対応していません。	

はがき

はがきには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ 2	対応していません。
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ハガキ	
両面印刷	対応していません。	

以下のはがきを使用してください。

■ サイズ：100 × 148 mm

以下のようなはがきは使用しないでください。

■ 光沢のあるもの

■ 曲がっているもの

■ インクジェットプリンタ用はがき

■ 切り込みやミシン目のあるはがき

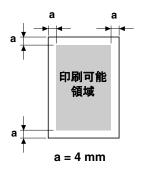
■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

■ 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの

はがきが曲がっているときは、トレイにセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。

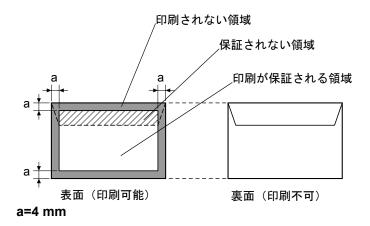
印刷可能領域

すべての用紙サイズで、用紙の端から4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

リーガルサイズの用紙にカラー印刷する場合は、以下の制約があります。

- 印刷可能領域は、用紙の先端から 339.6 mm です（ただし、先端の 4 mm は余白になります）。
- 用紙の後端の 16 mm は余白になります。

封筒の場合

封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面の）封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。

封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。

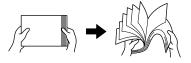
 封筒 DL を使用する場合、端から左右 6 mm の領域には印刷できません。

ページ余白

ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためには、カスタム設定で本プリンタの印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 200 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。

ご注意

本機は、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル用紙、レターヘッド、はがき）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりプリンタの寿命が短くなる場合があります。

用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

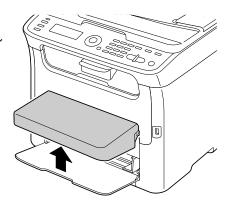
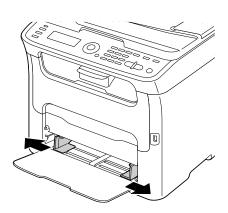
種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

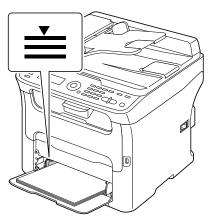
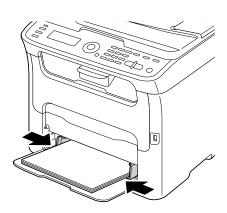
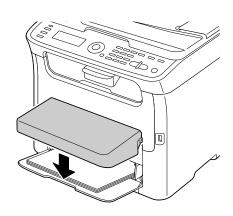
トレイ 1（多目的トレイ）

トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる用紙」（p.102）をごらんください。

普通紙の場合

1 ダストカバーを取り外します。

トレイ 1 に用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

2 用紙ガイドを広げます。

3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

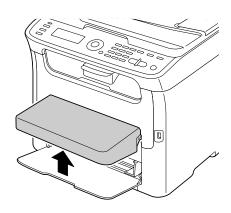
用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 200 枚（80 g/m^2）までセットできます。

4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

5 ダストカバーを取り付けます。

6 設定メニューから「ｾｯﾃｲ (UTILITY) / ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」を選択し、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳しくは、「用紙設定メニュー」（p.74）をごらんください。

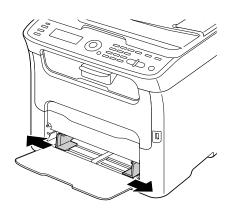
「ｾｯﾃｲ (UTILITY)/ ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」で選択した用紙サイズは本機操作パネルのメイン（ﾖｳｼ ｾﾝﾀｸ）画面では短縮表示されます。詳しくは「用紙設定メニュー」（p.74）をごらんください。

その他の用紙

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。(厚紙 1、厚紙 2、封筒など)

封筒の場合

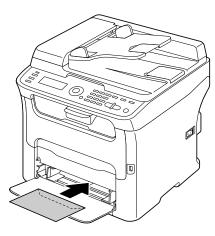
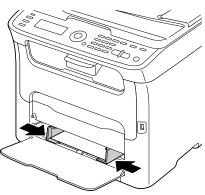
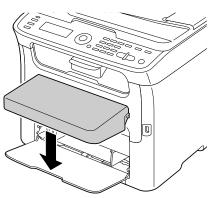
1 ダストカバーを取り外します。

2 トレイにセットされている用紙を取り出します。

3 用紙ガイドを広げます。

4 フタを下側にして封筒をセットします。

セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

封筒は一度に 10 枚までセットできます。

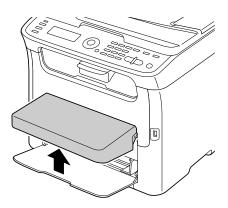
封筒は、封筒 DL と封筒洋形 2 号をサポートしています。封筒のフタは本機側にしてセットしてください。

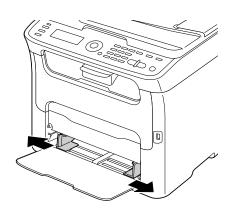
5 封筒のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 ダストカバーを取り付けます。

7 設定メニューから「ｾｯﾃｲ (UTILITY) / ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」を選択し、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳しくは、「用紙設定メニュー」（p.74）をごらんください。

「ｾｯﾃｲ (UTILITY)/ ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」で選択した用紙サイズは本機操作パネルのメイン（ﾖｳｼ ｾﾝﾀｸ）画面では短縮表示されます。詳しくは「用紙設定メニュー」（p.74）をごらんください。

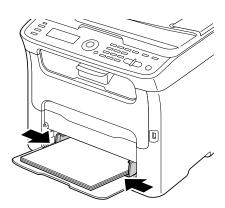
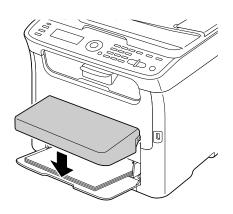
ラベル用紙 / レターヘッド / はがき / 厚紙の場合

1 ダストカバーを取り外します。

2 トレイにセットされている用紙を取り出します。

3 用紙ガイドを広げます。

4 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は一度に 50 枚までセットできます。

はがきは短辺（長さの短い方）を本体奥側へ向けてセットします。

5 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

6 ダストカバーを取り付けます。

7 設定メニューから「ｾｯﾃｲ (UTILITY) / ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」を選択し、セットした用紙の種類やサイズを設定します。詳しくは、「用紙設定メニュー」（p.74）をごらんください。

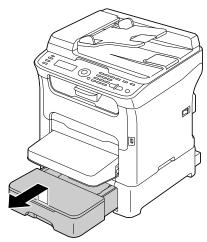
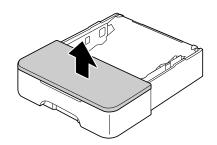
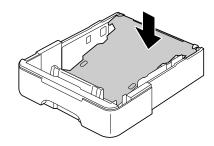
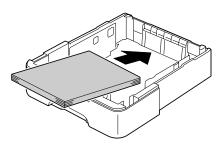
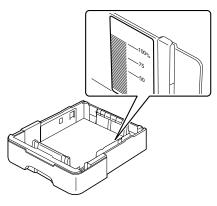
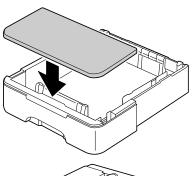
「ｾｯﾃｲ (UTILITY)/ ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」で選択した用紙サイズは本機操作パネルのメイン（ﾖｳｼ ｾﾝﾀｸ）画面では短縮表示されます。詳しくは「用紙設定メニュー」（p.74）をごらんください。

トレイ 2

トレイ 2 には、A4 サイズの普通紙のみセットできます。

普通紙の場合

1 トレイ 2 を止まる位置まで引き出します。

2 上に持ち上げながらトレイ 2 を引き抜きます。

3 トレイ 2 のふたを取り外します。

4 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

5 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は上限を示す線を超えないようにセットしてください。普通紙は 1 度に 500 枚（80 g/m^2）までセットできます。

6 トレイ２のふたを取り付けます。

7 トレイ２を戻します。

両面印刷

本機に両面プリントユニットを装着している場合は、両面印刷を実行できます。

両面プリントユニットの取り付けについては「両面プリントユニットの取り付けかた」（p.352）をごらんください。

両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。あらかじめ試し印刷を実行し、裏映りの度合いを確認してください。

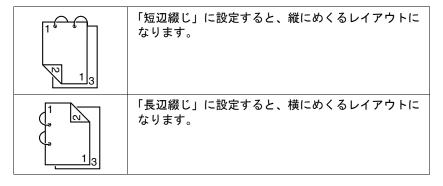
ご注意

自動両面印刷は、A4 またはレターサイズの普通紙（60 ～ 90 g/m²）にのみ対応しています。
その他のサイズの普通紙や、封筒、ラベル用紙、レターヘッド、はがき、厚紙では、両面印刷できません。

自動両面印刷の方法は？

お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

両面印刷の設定には以下の種類があります。

	「短辺綴じ」に設定すると、縦にめくるレイアウトになります。
	「長辺綴じ」に設定すると、横にめくるレイアウトになります。

また、「ページ割付」の「小冊子」を選択した場合も自動的に両面印刷になります。

「小冊子」には以下のレイアウトがあります。

	「左とじ」に設定すると、左にめくるようにレイアウトされます。
	「右とじ」に設定すると、右にめくるようにレイアウトされます。

1 トレイに普通紙をセットします。

2 プリンタドライバで、両面印刷のレイアウトを設定します。

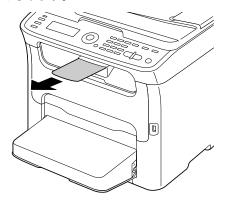
3 ［OK］をクリックします。

自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

排紙トレイ

印刷された用紙は、印刷面が下向きの状態で本機の操作パネルの下にある排紙トレイに排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙で約 100 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

補助トレイを引き出し、長さを延長することができます。印刷する用紙サイズに合わせて使用してください。

用紙の保管方法

■ 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。

■ いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。

■ 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
- 湿気が多い場所
- 直射日光があたる場所
- 高温の場所（35°C 以上の場所）
- ほこりの多い場所

■ 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

原稿について

原稿の種類 / サイズ

原稿ガラスにセットできる原稿

原稿ガラスにセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類	シート、ブック（見開き）、立体物
最大原稿サイズ	A4 またはレター
最大積載量	3 kg

原稿ガラスに原稿をセットする場合、以下の点にご注意ください。

- 質量が 3 kg を超えるものを原稿ガラスに載せないでください。ガラスが破損する原因となります。
- 厚手の本などをセットした場合、強い力で上から押さえつけないでください。ガラスが破損する原因となります。

ADF にセットできる原稿

ADF にセットできる原稿の種類は以下の通りです。

原稿種類 / 坪量	普通紙：50 ～ 110 g/m²
原稿サイズ	最大：リーガル 幅　：140 mm ～ 216 mm、長さ：148 mm ～ 355.6 mm
最大積載量	35 枚（坪量が 80 g/m² の場合）

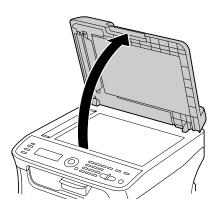
以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

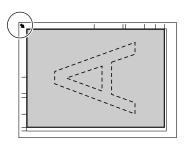
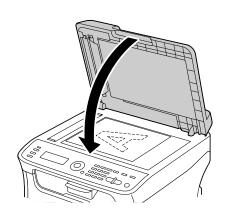
- ステープル、クリップなどで留めてある原稿
- ブック原稿
- 貼り合わせ原稿
- 切り欠き、切り抜きのある原稿
- 破れている原稿
- 坪量 50 g/m² 未満、110 g/m² 以上の原稿

- 8 mm 以上大きくカールした原稿
- OHP 用紙
- ラベル紙
- オフセットマスター
- 写真印画紙
- 光沢塗工紙等の光沢原稿

原稿をセットする

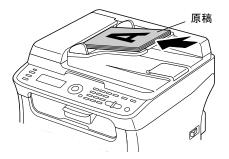
原稿ガラス上に原稿をセットする

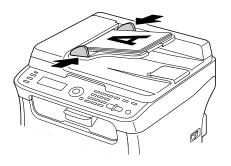
1 ADF を開きます。

2 原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上に置きます。

原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。また、原稿の端は原稿ガラスの左奥に合わせてください。

3 ADF を閉じます。

ADF 上に原稿をセットする

1 原稿のコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにし、原稿給紙トレイへセットします。

ADF に原稿をセットする時は、必ず原稿ガラスに残っている原稿を取り除いてください。

原稿の天部（上側）が奥側または右側になるようにします。

2 ガイド板を原稿に沿わせます。

セットした原稿をコピーする手順については、「コピー機能を使う」（p.129）を、スキャンする手順については、「スキャン機能を使う」（p.159）をごらんください。

コピー機能を使う

基本コピー

ここでは、基本的なコピーの手順と、コピーの倍率などの設定方法について説明します。

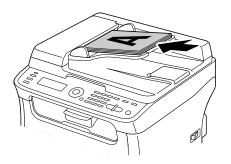
コピーを行うときは、[コピー] キーが緑色に点灯していることを確認してください。緑色に点灯していない場合は、[コピー] キーを押してコピーモードに切り替えます。

用紙サイズの初期設定は、設定メニューの「ﾄﾚｲ 1 ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」で変更することができます。詳しくは、「用紙設定メニュー」(p.74) をごらんください。

設定を入力中、キー入力がない状態で「ｵｰﾄ ﾘｾｯﾄ」の設定時間が経過すると、入力中の内容がキャンセルされ、画面表示がメイン（コピーモード）画面に戻ります。

コピーの基本操作

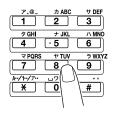
1 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」(p.127) または「ADF 上に原稿をセットする」(p.128) をごらんください。

2 ［コピー］キーを押します。

3 必要に応じて各機能の設定をします。

コピーモードおよびコピー濃度の設定については、「コピー品質の設定」（p.132）をごらんください。
倍率の設定については、「倍率の設定」（p.135）をごらんください。
給紙トレイの選択については、「給紙トレイの選択」（p.139）をごらんください。
2in1 コピーの設定については、「2in1 コピーの設定」（p.140）をごらんください。
ID カードコピー、リピートコピー、ポスターコピーの設定については、「コピー機能の設定」（p.144）をごらんください。
両面コピーの設定については、「両面コピーの設定」（p.151）をごらんください。
部単位コピー（ソート）の設定については、「部単位コピー（ソート）の設定」（p.155）をごらんください。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

コピー部数を誤って入力してしまった場合は、戻る キーを押してから、正しいコピー部数を入力し直してください。

5 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。

コピー中に［ストップ / リセット］キーを押すと、「ｼﾞｮﾌﾞ ｦ ｷｬﾝｾﾙｼﾏｽｶ ?」と表示されます。コピーを中止する場合は、「ﾊｲ」を選択してください。コピーを続ける場合は、「ｲｲｴ」を選択してください。

コピー品質の設定

コピーする原稿の内容に合わせて、原稿種類とコピー濃度を設定します。

原稿種類を選択する

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー品質設定を選択し、［選択］キーを押します。

```
 ﾄﾚｲ1:A4              1
 ﾊﾞｲﾘﾂ  :100%
▶ﾐｯｸｽ
 ー>ｾﾝﾀｸ
```

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾓｰﾄﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
ｶﾞｼﾂ                1/1
▶ﾓｰﾄﾞ
 ﾉｳﾄﾞ
```

3 ［▲］、［▼］キーを押して｢ﾐｯｸｽ｣、｢ﾓｼﾞ｣、｢ｼｬｼﾝ｣、｢ﾌｧｲﾝ/ﾐｯｸｽ｣、｢ﾌｧｲﾝ/ﾓｼﾞ｣、｢ﾌｧｲﾝ/ｼｬｼﾝ｣のいずれかを選択し、［選択］キーを押します。
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

ﾓｰﾄﾞ　1/2
▶ﾐｯｸｽ
ﾓｼﾞ
ｼｬｼﾝ

コピー濃度を設定する

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー品質設定を選択し、［選択］キーを押します。

ﾄﾚｲ1：A4　1
ﾊﾞｲﾘﾂ　：100%
▶ﾐｯｸｽ
ｰ>ｾﾝﾀｸ

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾉｳﾄﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。

ｶﾞｼﾂ　1/1
　ﾓｰﾄﾞ
▶ﾉｳﾄﾞ

3 ［◀］、［▶］キーを押して濃度を調節し、［選択］キーを押します。
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

ﾉｳﾄﾞ（ﾓｼﾞ）　1/1
　ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ
▶ﾏﾆｭｱﾙ
　◀□□□□■□□□▶　◀ｾﾝﾀｸ▶

コピーモードで「ﾓｼﾞ」または「ﾌｧｲﾝ/ﾓｼﾞ」を選択している場合は、手順3で「ｼﾞﾄﾞｳｼｭﾄｸ」または「ﾏﾆｭｱﾙ」を選択します。「ﾏﾆｭｱﾙ」を選択した場合はコピー濃度を設定できます。

←薄い　濃い→

倍率の設定

コピーの倍率を設定する場合には、あらかじめ設定されたプリセット倍率から選択するか、お好みの倍率を指定します。

プリセット倍率を選択する

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の倍率設定を選択し、［選択］キーを押します。

トレイ1：A4　　1
バイリツ　：100%
ミックス
ー>センタク

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ｺﾃｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

バイリツ　セッテイ　　1/1
コテイ
マニュアル

3 ［▲］、［▼］キーを押して倍率を選択し、［選択］キーを押します。
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

```
ｺﾃｲ ﾊﾞｲﾘﾂ ｾﾝﾀｸ    2/3
▶100%
 115% B5→A4
 141% A5→A4
```

選択できる倍率は以下のとおりです。
メトリック表示の場合：
50%、70%（A4 → A5）、81%（A4 → B5）、100%、115%（B5 → A4）、141%（A5 → A4）、200%
インチ表示の場合：
50%、64%（LT → ST）、78%（LG → LT）、100%、129%（ST → LT）、154%（ST → LG）、200%
テンキーでは倍率を入力できません。

倍率を指定する

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の倍率設定を選択し、［選択］キーを押します。

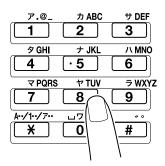
ﾄﾚｲ1:A4　　　　　1
ﾊﾞｲﾘﾂ　:100%
ﾐｯｸｽ
ｰ>ｾﾝﾀｸ

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾏﾆｭｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。

ﾊﾞｲﾘﾂ　ｾｯﾃｲ　　　1/1
ｺﾃｲ
ﾏﾆｭｱﾙ

3 テンキーで倍率を直接入力するか、[▲]、[▼] キーを押して倍率を調節し、[選択] キーを押します。
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

[▲]、[▼] キー押すと、倍率が 1% ずつ増減します。設定範囲は 50% ～ 200% です。

または

ｼｭﾄﾞｳ ﾊﾞｲﾘﾂ
_% (50%-200%)
▲▼ or 10ｷｰ ﾆｭｳﾘｮｸ

給紙トレイの選択

オプションの給紙ユニットを装着していない場合、この設定は変更できません。

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の給紙トレイ設定を選択し、［選択］キーを押します。

```
トレイ1：A4          1
 バイリツ  ：100%
 ミックス
 ーーー＞センタク
```

2 ［▲］、［▼］キーを押して目的の給紙トレイを選択し、［選択］キーを押します。
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

トレイ 2 が用紙切れの場合は、用紙サイズの右側に「ﾖｳｼﾅｼ」と表示されます。

```
ヨウシ  センタク          1/1
トレイ1：A4
 トレイ2：A4
```

応用コピー

ここでは、2in1 コピー、ID カードコピー、リピートコピー、ポスターコピー、両面コピー、部単位コピー（ソート）について説明します。

ID カードコピー、リピートコピー、ポスターコピーは 2in1 コピー、両面コピー、部単位コピー（ソート）と同時に設定できません。

2in1 コピーの設定

2in1 コピーを設定すると、2 ページ分の原稿を 1 枚の用紙にレイアウトしてコピーすることができます。

ADF を使用した 2in1 コピー

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の 2in1 コピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

ノンソート
▶1in1
カタメン インサツ
▲▼ー>センタク

2 ［▲］、［▼］キーを押して「2in1」を選択し、［選択］キーを押します。
設定されている用紙サイズに応じて、倍率が自動的に設定されます。必要に応じて倍率を変更してください。
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

シュウヤク ｹﾞﾝｺｳ　1/1
1in1
2in1

2in1 選択後、手動で 50% まで縮小してコピーできます。

2in1 で両面コピーや部単位コピー（ソート）を行うには、コピー操作を実行する前にそれらの設定をする必要があります。詳しくは、「両面コピーの設定」（p.151）および「部単位コピー（ソート）の設定」（p.155）をごらんください。

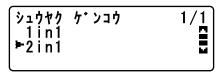
ADF を開いた状態で 2in1 コピーを設定しないでください。誤動作の原因になります。

原稿ガラスを使用した 2in1 コピー

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の 2in1 コピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

ノンソート
▶1in1
カタメン インサツ
▲▼ー>センタク

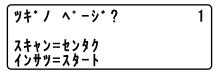
2 ［▲］、［▼］キーを押して「2in1」を選択し、［選択］キーを押します。
設定されている用紙サイズに応じて、倍率が自動的に設定されます。必要に応じて倍率を変更してください。

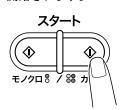
2in1 選択後、手動で 50% まで縮小してコピーできます。

3 原稿ガラスに 1 枚目の原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.127）をごらんください。

4 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。
原稿のスキャンが開始されます。

2in1 で両面コピーや部単位コピー（ソート）を行うには、手順 4 を実行する前にそれらの設定をする必要があります。詳しくは、「両面コピーの設定」（p.151）および「部単位コピー（ソート）の設定」（p.155）をごらんください。

5 メッセージウィンドウに「ﾂｷﾞﾉﾍﾟｰｼﾞ ?」と表示されたら、原稿ガラスに次のページをセットし、［選択］キーを押します。

6 全ページの読み込みが完了するまで、手順 5 を繰り返します。
2in1 を設定した場合は 2 ページ分（両面コピー設定時は 4 ページ）の原稿の読み込みが完了すると自動的に印刷が開始されます。

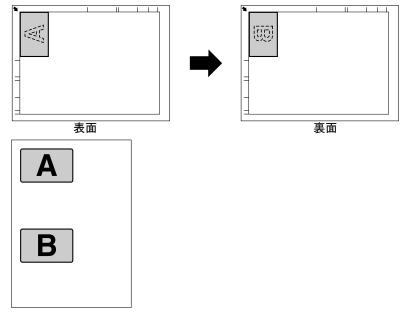
7 全ページの読み込みが完了したら、［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押して残りのページの印刷を開始します。

コピー機能の設定

ID カードコピー、リピートコピー、ポスターコピーを設定します。

コピー機能を「ﾂｳｼﾞｮｳ ｺﾋﾟｰ」以外に設定している場合は、2in1 コピー、部単位コピー（ソートコピー）、両面コピーを設定することはできません。また、倍率は自動的に設定されます（変更できません）。

ID カードコピー、リピートコピー、ポスターコピーは、原稿ガラスでのみ行うことができます。読み取る原稿は原稿ガラスの左奥に合わせて置いてください。上、左から 4mm は印字されないため、原稿の位置を調整してください。詳しくは、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.127）をごらんください。

ID カードコピー

ID カードコピーを行うと、証明書などの裏表を 1 枚の用紙に 100%でコピーすることができます。

ID カードコピーを行うことができる用紙サイズは、A4、レター、リーガルです。

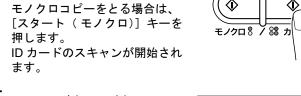
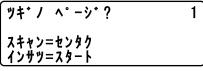
1 原稿ガラスに ID カードの表面をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」(p.127) をごらんください。

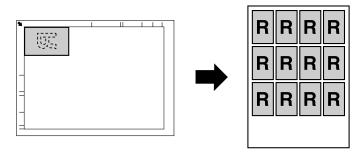
2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー機能設定を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ID ｶｰﾄﾞ ｺﾋﾟｰ」を選択し、［選択］キーを押します。

ｺﾋﾟｰ ｷﾉｳ ｾｯﾃｲ 1/2
ﾂｳｼﾞｮｳ ｺﾋﾟｰ
ID ｶｰﾄﾞ ｺﾋﾟｰ
ﾘﾋﾟｰﾄ ｺﾋﾟｰ

4 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、［スタート（ モノクロ）］キーを押します。
ID カードのスキャンが開始されます。

5 メッセージウィンドウに「ﾂｷﾞﾉﾍﾟｰｼﾞ?」と表示されたら、表面と同じ位置に裏面をセットし、［選択］キーを押します。
裏面がスキャンされてから、印刷が自動的に開始されます。

最初にスキャンした片面だけを印刷する場合は、手順 5 で［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押します。

リピートコピー

リピートコピーを行うと、メモ書きなどの小さい原稿を 1 枚の用紙にタイル状にコピーすることができます。

1 原稿ガラスに原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.127）をごらんください。

2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー機能設定を選択し、［選択］キーを押します。

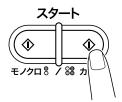
```
▶ツウシ゛ョウ コヒ゜ー
 セッテイ(UTILITY)
 レホ゜ート/ステータス
 ▲▼ー>センタク
```

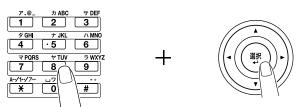
3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾘﾋﾟｰﾄ ｺﾋﾟｰ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
コヒ゜ー キノウ セッテイ      1/2
 ツウシ゛ョウ コヒ゜ー
 ID カート゛ コヒ゜ー
▶リヒ゜ート コヒ゜ー
```

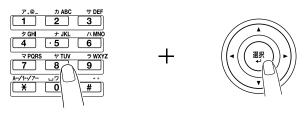
4 「ﾘﾋﾟｰﾄ ｺﾋﾟｰ ﾉ ﾔﾘｶﾀ」画面の内容を確認し、［選択］キーを押します。

```
ﾘﾋﾟｰﾄ ｺﾋﾟｰ ﾉ ﾔﾘｶﾀ
 ｽﾀｰﾄ ｷｰ ｦ ｵｽ
 ｹﾞﾝｺｳｻｲｽﾞ ｦ ｾｯﾃｲｽﾙ
 ｽﾀｰﾄ=ｾﾝﾀｸ
```

5 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。

6 テンキーで原稿の長さを入力し、［選択］キーを押します。

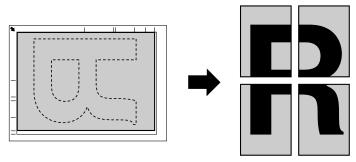
```
ｹﾞﾝｺｳ ｻｲｽﾞ
ﾅｶﾞｻ = ___( 20-289)
ﾊﾊﾞ  = 202( 20-202)
 ｽﾀｰﾄ=ｾﾝﾀｸ
```

原稿のサイズを変更する場合は、［戻る］キーを押して現在のサイズを消去してから、テンキーで数値を入力してください。

7 テンキーで原稿の幅を入力し、［選択］キーを押します。
原稿がスキャンされてから、印刷が自動的に開始されます。

```
ｹﾞﾝｺｳ ｻｲｽﾞ
ﾅｶﾞｻ = 289( 20-289)
ﾊﾊﾞ  = ___( 20-202)
 ｽﾀｰﾄ=ｾﾝﾀｸ
```

原稿のサイズを変更する場合は、［戻る］キーを押して現在のサイズを消去してから、テンキーで数値を入力してください。

ポスターコピー

ポスターコピーを行うと、読み込んだ画像を縦横に 200% ずつ拡大し、4 分割で印刷することができます。

読み込む画像と使用する用紙のサイズが合っていないと、余白が生じたり、画像が用紙に収まらなかったりする場合があります。

1 原稿ガラスに原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.127）をごらんください。

2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のコピー機能設定を選択し、［選択］キーを押します。

ツウジョウ コピー
セッテイ(UTILITY)
レポート/ステータス
▲▼ー>センタク

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾎﾟｽﾀｰ ｺﾋﾟｰ」を選択し、［選択］キーを押します。

コピー キノウ セッテイ　2/2
ポスター コピー

4 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。
原稿がスキャンされてから、印刷が自動的に開始されます。

両面コピーの設定

両面コピーを実行するには、本機に両面プリントユニットが装着されている必要があります。

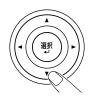
両面プリントユニットの取り付けについては、「両面プリントユニットの取り付けかた」（p.352）をごらんください。

ADF を使用した両面コピー

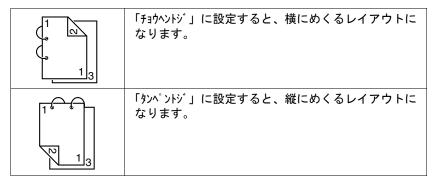
ADF で原稿を読み込んで、2 ページ分の片面原稿を 1 枚の用紙に両面コピーします。

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の片面 / 両面コピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

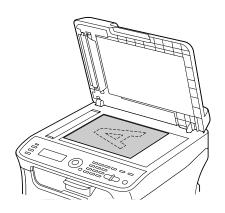
ノンソート
1in1
▶カタメン インサツ
ー>センタク

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ」または「ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

```
カタメン/リョウメン インサツ　　1/1
  オフ
▶チョウヘンントシ゛
  タンヘ゜ントシ゛
```

両面コピーの設定には以下の種類があります。

	「ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ」に設定すると、横にめくるレイアウトになります。
	「ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ」に設定すると、縦にめくるレイアウトになります。

原稿ガラスを使用した両面コピー

原稿ガラスに原稿をセットして、2 ページ分の片面原稿を 1 枚の用紙に両面コピーします。

1 原稿ガラスに 1 枚目の原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.127）をごらんください。

2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在の片面 / 両面コピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

ノンソート
1in1
カタメン インサツ
ー>センタク

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ」または「ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
カタメン/リョウメン インサツ   1/1
 オフ
▶チョウヘンントシ゛
 タンヘ゜ントシ゛
```

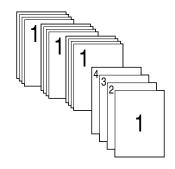
「ﾁｮｳﾍﾝﾄｼﾞ」および「ﾀﾝﾍﾟﾝﾄｼﾞ」については、「ADF を使用した両面コピー」（p.151）をごらんください。

4 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。
原稿のスキャンが開始されます。

5 メッセージウィンドウに「ﾂｷﾞﾉﾍﾟｰｼﾞ?」と表示されたら、原稿ガラスに次のページをセットし、［選択］キーを押します。
2 枚目の原稿（裏面）がスキャンされてから、印刷が自動的に開始されます。

```
ツキ゛ノ ヘ゜ーシ゛?        1

スキャン=センタク
インサツ=スタート
```

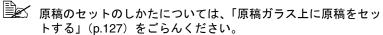
部単位コピー（ソート）の設定

ソートを設定すると、複数ページの原稿を複数部コピーする場合に、ページ順で 1 部ずつ印刷することができます。

ADF を使用した部単位（ソート）コピー

1 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のソートコピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ｿｰﾄ」を選択し、［選択］キーを押します。
メイン（コピーモード）画面に戻ります。

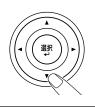
原稿ガラスを使用した部単位（ソート）コピー

1 原稿ガラスに 1 枚目の原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.127）をごらんください。

2 メイン（コピーモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のソートコピー設定を選択し、［選択］キーを押します。

ノンソート
1in1
カタメン インサツ
ー>センタク

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ｿｰﾄ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
ｼｱｶﾞﾘ            1/1
 ﾉﾝｿｰﾄ
▶ｿｰﾄ
```

4 カラーコピーをとる場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。
モノクロコピーをとる場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。
原稿のスキャンが開始されます。

5 メッセージウィンドウに「ﾂｷﾞﾉﾍﾟｰｼﾞ?」と表示されたら、原稿ガラスに次のページをセットし、［選択］キーを押します。

```
ﾂｷﾞﾉ ﾍﾟｰｼﾞ?          1

ｽｷｬﾝ=ｾﾝﾀｸ
ｲﾝｻﾂ=ｽﾀｰﾄ
```

6 全ページの読み込みが完了するまで、手順 5 を繰り返します。

7 全ページの読み込みが完了したら、［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押して印刷を開始します。

スキャン機能を使う

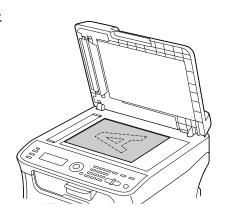
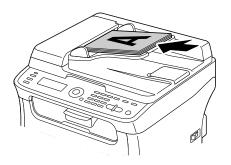
アプリケーション操作によるスキャン

USB ケーブルまたはネットワーク経由で本機と接続したコンピュータのアプリケーションを使ってスキャンを実行します。スキャンの設定および操作は、TWAIN または WIA 対応のアプリケーションで行います。スキャンする範囲の指定やプレビュー表示など、スキャナドライバでさまざまな調整を行うことができます。

スキャナドライバのインストール方法、およびネットワーク TWAIN の設定方法について詳しくは、「インストレーションガイド」をごらんください。

TWAIN スキャナドライバからスキャンデータを読み込む

TWAIN 対応のアプリケーションを使ってスキャンを行います。ここでは、Adobe Photoshop を例に説明します。

1 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.127）および「ADF 上に原稿をセットする」（p.128）をごらんください。

2 スキャンデータを取り込むアプリケーションを起動します。

3 ［ファイル］メニューから［読み込み］を選択し、スキャナドライバを起動します。

アプリケーションからスキャン画像を読み込む場合、スキャナドライバは「KONICA MINOLTA mc1690MF TWAIN」と表示されます。

4 「ローカル環境（USB）に接続されているスキャナ」または「ネットワークに接続されているスキャナ」を選択し、［OK］をクリックします。

「TWAIN ドライバ起動時、このダイアログを表示しない」をチェックすると、次回からこの画面は表示されません。

5 必要に応じてスキャナドライバの設定をします。

6 スキャナドライバの［スキャン］をクリックします。

オート機能を使用する場合、必ずプレスキャンを行ってください。プレスキャンを実行しない場合は、オート機能が正しく動作しません。

Windows TWAIN ドライバの設定

■ 読み込み
保存した設定ファイル（dat ファイル）を読み込みます。

■ 保存
現在の設定を設定ファイル（dat ファイル）として保存します。

■ デフォルト
すべての設定を初期値に戻します。

■ ヘルプ
ヘルプを表示します。

■ バージョン情報
ドライバのバージョン情報を表示します。

■ 給紙方法
原稿ガラス（フラットベッド）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。

■ 原稿サイズ
原稿サイズを指定します。

■ スキャンタイプ
トゥルーカラー、グレー、写真、白黒から選択します。

■ 解像度
150dpi × 150dpi、300dpi × 300dpi、600dpi × 600dpi、1200dpi × 1200dpi、2400dpi × 2400dpi、4800dpi × 4800 dpi から選択します。

■ スケール
拡大 / 縮小率を設定します。

解像度が「1200dpi × 1200dpi」以上に設定されているときは、100% を超える値を設定することはできません。

■ スキャンモード
オートまたはマニュアルを選択します。マニュアルを選択すると、明るさ / コントラスト、フィルタ、カーブ、レベル、カラーバランス、色相 / 彩度を設定できます。

設定可能な項目は、選択したスキャンタイプによって異なります。

スキャンモードを「オート」に設定して、原稿ガラスから読み込む場合は、プレスキャンを実行してプレビュー画像を確認してから、スキャンを実行してください。

■ 画像サイズ
スキャン画像のデータサイズを表示します。

■ 回転
スキャンする画像の向きを設定します。

■ 閉じる
Windows TWAIN ドライバのウィンドウを閉じます。

■ プレスキャン
プレビュー画像の読み込みを開始します。

■ スキャン
スキャンを開始します。

■ オートクロップアイコン
プレビュー画像をもとに、読み込み位置を自動的に検出します。

■ ズームアイコン
プレビューウィンドウで指定した領域を再度読み込んで、ウィンドウに合わせて拡大表示します。

■ 鏡像アイコン
プレビュー画像を左右に反転します。

■ 階調反転アイコン
プレビュー画像の色を反転します。

■ クリアアイコン
プレビュー画像を消去します。

■ プレビューウィンドウ
プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。

■ 色調整前 / 色調整後（RGB）
プレビューウィンドウ上にカーソルを移動すると、カーソル位置の補正前後の色調が表示されます。

■ 幅 / 高さ
指定領域の幅 / 高さが、選択した単位で表示されます。

Macintosh TWAIN ドライバの設定

■ 読み込み
保存した設定ファイル（dat ファイル）を読み込みます。

■ 保存
現在の設定を設定ファイル（dat ファイル）として保存します。

■ デフォルト
すべての設定を初期値に戻します。

- ヘルプ
  ヘルプを表示します。
- バージョン情報
  ドライバのバージョン情報を表示します。
- 給紙方法
  原稿ガラス（フラットベッド）と ADF のどちらに原稿をセットするかを選択します。
- 原稿サイズ
  原稿サイズを指定します。
- スキャンタイプ
  トゥルーカラー、グレー、写真、白黒から選択します。
- 解像度
  150dpi × 150dpi、300dpi × 300dpi、600dpi × 600dpi、1200dpi × 1200dpi、2400dpi × 2400dpi、4800dpi × 4800 dpi から選択します。
- スケール
  拡大 / 縮小率を設定します。

解像度が「1200dpi × 1200dpi」以上に設定されているときは、100% を超える値を設定することはできません。

- スキャンモード
  オートまたはマニュアルを選択します。マニュアルを選択すると、明るさ / コントラスト、フィルタ、カーブ、レベル、カラーバランス、色相 / 彩度を設定できます。

設定可能な項目は、選択したスキャンタイプによって異なります。

スキャンモードを「オート」に設定して、原稿ガラスから読み込む場合は、プレスキャンを実行してプレビュー画像を確認してから、スキャンを実行してください。

- 画像サイズ
  スキャン画像のデータサイズを表示します。
- 回転
  スキャンする画像の向きを設定します。
- 閉じる
  TWAIN ドライバのウィンドウを閉じます。
- プレスキャン
  プレビュー画像の読み込みを開始します。
- スキャン
  スキャンを開始します。
- オートクロップアイコン
  プレビュー画像をもとに、読み込み位置を自動的に検出します。

■ ズームアイコン
プレビューウィンドウで指定した領域を再度読み込んで、ウィンドウに合わせて拡大表示します。

■ 鏡像アイコン
プレビュー画像を左右に反転します。

■ 階調反転アイコン
プレビュー画像の色を反転します。

■ クリアアイコン
プレビュー画像を消去します。

■ プレビューウィンドウ
プレビュー画像が表示されます。矩形をドラッグして領域を指定します。

■ 色調整前 / 色調整後（RGB）
プレビューウィンドウ上にカーソルを移動すると、カーソル位置の補正前後の色調が表示されます。

■ 幅 / 高さ
指定領域の幅 / 高さが、選択した単位で表示されます。

WIA ドライバからスキャンデータを読み込む

ここでは WIA 対応の各種アプリケーションから WIA ドライバでスキャンデータを読み込む方法を説明します。

「Windows フォトギャラリー」から読み込む

このアプリケーションは Windows Vista/Vista x64 Edition/7/7 x64 Edition に対応しています。

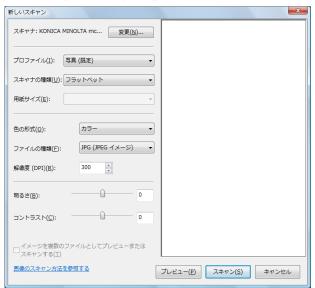
1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows フォトギャラリー］を起動します。

2 「ファイル」メニューから「カメラまたはスキャナからの読み込み」を選択します。

3 「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF Scanner」または「KONICA MINOLTA mc1690MF Network Scanner」を選択し、［読み込み］をクリックします。

4 メッセージダイアログが表示された場合は、内容を確認し、［OK］をクリックします。

「今後このメッセージを表示しない」をチェックすると、次回からこの画面は表示されません。

5 必要に応じて読み込みの設定を行います。

読み込み設定について詳しくは、「読み込み設定」（p.168）をごらんください。

6 スキャナドライバの［スキャン］をクリックします。

読み込み設定

■ スキャナ
スキャンする機種名が表示されます。［変更］をクリックして使用するスキャナを選択します。

■ プロファイル
「写真（既定）」「ドキュメント」「最後に使用された設定」「プロファイルの追加」から選択します。
– 「最後に使用された設定」を選択すると、前回に使用したプロファイルを呼び出すことができます。
– 「プロファイルの追加」を選択すると、「新しいプロファイルの追加」画面からプロファイルを追加登録することができます。よく使う設定をプロファイルに登録することですぐにスキャンすることができます。
– プロファイルを削除するには、追加したプロファイルを「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「スキャナとカメラ」－「スキャナとカメラの表示」－「スキャンプロファイル」で編集および削除することができます。詳しくは、Windows のヘルプを参照ください。

■ スキャナの種類・用紙サイズ
「フラットベッド」（原稿ガラス）または「フィーダ（片面スキャン）」（ADF）を選択します。
「フラットベッド」を選択した場合は、「プレビュー」を表示して、四隅のボックスをドラッグすることにより読み込み範囲を指定することができます。「フィーダ（片面スキャン）」を選択した場合は、「用紙サイズ」から原稿サイズを選択します。

■ 色の形式
「カラー」「グレースケール」「白黒」から選択します。

■ ファイルの種類
「BMP（ビットマップイメージ）」「JPG（JPEG イメージ）」「PNG（PNG イメージ）」「TIF（TIFF イメージ）」からファイル形式を選択します。

■ 解像度
読み込みの解像度を dpi で実行します。（150, 300, 600, 1200, 2400）

■ 明るさ
明るさを指定します。（-100 ～ 100）

■ コントラスト
カラーまたはグレースケールで読み込む場合のコントラストを指定します。（-100 ～ 100）

「Windows FAX とスキャン」から読み込む

このアプリケーションは Windows Vista/Vista x64 Edition/7/7 x64 Edition に対応しています。

お使いの Windows Vista エディションによってはお使いできないことがあります。

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－「Windows FAX とスキャン」を起動します。

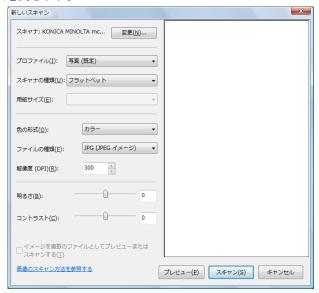
2 ツールバーの［新しいスキャン］をクリックします。

3 「KONICA MINOLTA mc1690MF Scanner」または「KONICA MINOLTA mc1690MF Network Scanner」を選択し、［OK］をクリックします。

複数のスキャナドライバがインストールされていない場合は、手順 3 は表示されません。

4 メッセージダイアログが表示された場合は、内容を確認し、［OK］をクリックします。

「今後このメッセージを表示しない」をチェックすると、次回からこの画面は表示されません。

5 ツールバーの［新しいスキャン］をクリックして「新しいスキャン」画面を開きます。

6 必要に応じて読み込みの設定を行います。

読み込みの設定について詳しくは、「読み込み設定」（p.168）をごらんください。

7 スキャナドライバの［スキャン］をクリックします。

「スキャナとカメラ」から読み込む

このアプリケーションは Windows XP/XP x64 Edition に対応しています。

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］－「プリンタとその他のハードウェア」－「スキャナとカメラ」をクリックします。

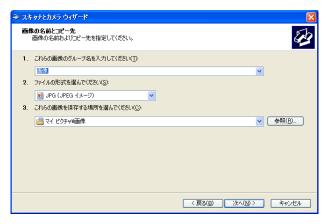
2 「KONICA MINOLTA magicolor 1690MF Scanner」または「KONICA MINOLTA mc1690MF Network Scanner」アイコンをダブルクリックします。

3 ［次へ］をクリックします。

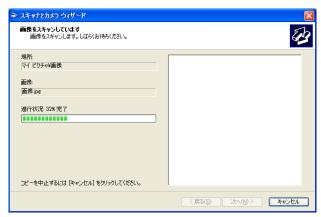
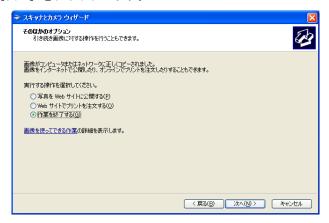
4 必要に応じて読み込みの設定を行います。

読み込みの設定について詳しくは、「読み込み設定」（p.172）をごらんください。

5 ［次へ］をクリックします。

6 画像の名前、ファイル形式、保存先を指定します。

– 画像のグループ名
  複数の画像を同じ場所に保存する場合は、ファイル名のあとに自動的に連番が付けられます。

– ファイルの形式
  「BMP（ビットマップイメージ）」、「JPG（JPEG イメージ）」、「TIF（TIFF ファイル）」、「PNG（PNG イメージ）」からファイル形式を選択します。

7 ［次へ］をクリックして読み込みを開始します。

8 ［次へ］をクリックします。

Web サイトにスキャンした画像を公開するときや、オンライン出力するときは、対応する項目を選択してください。

読み込み設定

■ 給紙方法

「フラットベッド」（原稿ガラス）、「ドキュメントフィーダ」（ADF）から選択します。
「フラットベッド」を選択した場合は、「プレビュー」をクリックして、四隅のボックスをドラッグすることにより読み込み範囲を指定することができます。
「ドキュメントフィーダ」（ADF）を選択した場合は、「ページサイズ」から原稿サイズを選択します。

■ 画像の種類
「カラー画像」「グレースケール画像」「白黒画像またはテキスト」「カスタム」から選択します。「カスタム」を選択する場合は、「カスタム設定」をクリックし、プロパティ画面で詳細を設定します。調整後「OK」をクリックし「詳細プロパティ」ウィンドウを閉じます。

調整を行った場合、画像の種類は「カスタム」へ変更されます。

- 外観
  サンプル画像が表示されます。
- 明るさ
  明るさを指定します。(-127 ～ 127)
- コントラスト
  カラーまたはグレースケールで読み込む場合のコントラストを指定します。(-127 ～ 127)
- 解像度
  読み込みの解像度を dpi で指定します。(150, 300, 600, 1200, 2400)
- 画像の種類
  読み込む色の種類(「カラー画像」「グレースケール画像」「白黒画像またはテキスト」)を指定します。
- [リセット]
  現在の設定をすべて初期値に戻します。

■ ページサイズ
給紙方法でドキュメントフィーダ(ADF)を選択した場合は、ページサイズを選択してください。

アプリケーションから読み込む

WIA 対応アプリケーションから画像を読み込むことができます。

読み込みの手順はアプリケーションによって異なります。ここではその一例を説明いたします。

このアプリケーションは Windows XP/Vista/Vista x64 Edition/7/7 x64 Edition に対応しています。

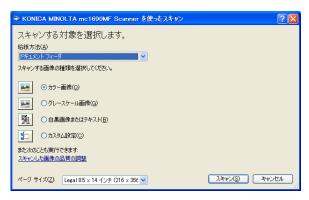
1 使用するアプリケーションを起動します。

2 「ファイル / 読み込み」を選択し、スキャナドライバを選択します。

USB 接続の場合は「WIA-KONICA MINOLTA mc1690MF Scanner」を選択してください。ネットワーク接続の場合は「WIA-KONICA MINOLTA mc1690MF Network Scanner」を選択してください。

3 メッセージダイアログが表示された場合は、内容を確認し、[OK] をクリックします。

「今後このメッセージを表示しない」をチェックすると、次回からこの画面は表示されません。

4 読み込みの設定を行います。

■ 給紙方法

「フラットベッド」（原稿ガラス）、「ドキュメントフィーダ」（ADF）から選択します。

「フラットベッド」を選択した場合は、「プレビュー」をクリックして、四隅のボックスをドラッグすることにより読み込み範囲を指定することができます。

「ドキュメントフィーダ」（ADF）を選択した場合は、「ページサイズ」から原稿サイズを選択します。

■ 画像の種類

「カラー画像」「グレースケール画像」「白黒画像またはテキスト」「カスタム設定」から選択します。必要に応じて「スキャンした画像の品質の調整」をクリックします。調整後「OK」をクリックし、「詳細プロパティ」ウィンドウを閉じます。

調整を行った場合、画像の種類は「カスタム設定」へ変更されます。

- 外観
  サンプル画像が表示されます。
- 明るさ
  明るさを指定します。(-127 ～ 127)
- コントラスト
  カラーまたはグレースケールで読み込む場合のコントラストを指定します。(-127 ～ 127)
- 解像度
  読み込みの解像度を dpi で指定します。(150, 300, 600, 1200, 2400)
- 画像の種類
  読み込む色の種類(「カラー画像」「グレースケール画像」「白黒画像またはテキスト」)を指定します。
- [リセット]
  現在の設定をすべて初期値に戻します。
- ページサイズ
  給紙方法でドキュメントフィーダ(ADF)を選択した場合は、ページサイズを選択してください。

Windows WIA ドライバの設定

- 給紙方法
  「フラットベッド」（原稿ガラス）、「ドキュメントフィーダ」（ADF）から選択します。
  「フラットベッド」を選択した場合は、「プレビュー」をクリックして、四隅のボックスをドラッグすることにより読み込み範囲を指定することができます。
  「ドキュメントフィーダ」（ADF）を選択した場合は、「ページサイズ」から原稿サイズを選択します。
- カラー画像
  カラーでスキャンします。
- グレースケール画像
  グレースケールでスキャンします。
- 白黒画像またはテキスト
  白黒でスキャンします。
- カスタム設定
  スキャンした画像の品質の調整を設定します。

スキャンした画像の調整を行った場合、画像の種類は「カスタム設定」へ変更されます。

- スキャンした画像の品質の調整
  クリックすると、詳細プロパティの画面が表示されます。
  詳細プロパティ画面では、明るさ、コントラスト、解像度、画像の種類（カラー、グレースケール、白黒）を指定することができます。

カスタム設定が選択されているときに、これらを設定することができます。

- プレビュー画面
  スキャンのプレビューを表示します。
- プレビュー
  クリックすると、プレビュー画面でプレビュー表示します。
- スキャン
  クリックすると、スキャンを開始します。
- キャンセル
  クリックすると、WIA ドライバの画面を閉じます。

本体操作によるスキャン

本体のキー操作でスキャンを実行します。アプリケーションからのスキャンと異なり、スキャンデータの送信先を設定することができます。

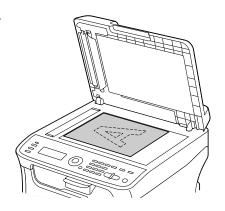
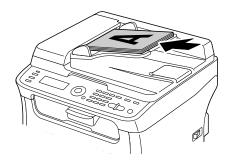
スキャンを行うときは、［スキャン］キーが緑色に点灯していることを確認してください。緑色に点灯していない場合は、［スキャン］キーを押してスキャンモードに切り替えます。

設定を入力中、キー入力がない状態で「ｵｰﾄ ﾘｾｯﾄ」の設定時間が経過すると、入力中の内容がキャンセルされ、画面表示がメイン（スキャンモード）画面に戻ります。

原稿ガラスでスキャンできる用紙サイズは A4 、A5 、B5（JIS）、レター、STATEMENT のみです。
ADF でスキャンできる用紙サイズは A4 、A5 、B5（JIS）、リーガル、レター、STATEMENT のみです。

基本的なスキャン操作

1 原稿を原稿ガラスまたは ADF にセットします。

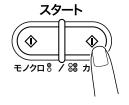
原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.127）および「ADF 上に原稿をセットする」（p.128）をごらんください。

2 ［スキャン］キーを押します。

3 必要な設定を行います。

USB 接続時に必要となるデータ送信先の設定については、「データ保存先の設定」（p.181）をごらんください。
ネットワーク接続時に必要となるデータ送信先の設定については、「送信先アドレスの設定（メール /FTP/SMB 送信）」（p.185）をごらんください。
データ形式の設定については、「データ形式の設定」（p.240）をごらんください。
スキャン品質の設定については、「スキャン品質の設定」（p.242）をごらんください。
スキャンサイズの設定については、「スキャンサイズの設定」（p.247）をごらんください。
スキャンデータのカラー設定については、「スキャンカラーの設定」（p.248）をごらんください。
データ送信時の件名の設定については、「件名の設定」（p.249）をごらんください。

4 カラーでスキャンする場合は、［スタート（カラー）］キーを押します。
モノクロでスキャンする場合は、［スタート（モノクロ）］キーを押します。
ADF に原稿をセットした場合は、読み込みが開始され、指定した場所に送信されます。
原稿ガラスに原稿をセットした場合のみ、手順 5 以降を行ってください。

5 メッセージウィンドウに「ﾂｷﾞﾉ ﾍﾟｰｼﾞ ?」と表示されたら、原稿ガラスに次のページをセットし、［選択］キーを押します。

ﾂｷﾞﾉ ﾍﾟｰｼﾞ? 1
ｽｷｬﾝ=ｾﾝﾀｸ
ｿｳｼﾝ=ｽﾀｰﾄ

一度に複数のページをスキャンする場合は、ADFに原稿をセットしてください。

6 ［▲］、［▼］キーを押して手順 5 でセットした原稿のサイズを選択し、［選択］キーを押します。

ｽｷｬﾝ ｻｲｽﾞ 1/2
A5
A4
B5

7 全ページの読み込みが完了したら、［スタート］キーを押します。
読み込んだ原稿が指定した場所に送信されます。

スタート
モノクロ / カ

読み込み中に［ストップ / リセット］キーを押すと、「ｼﾞｮﾌﾞ ｦ ｷｬﾝｾﾙｼﾏｽｶ ?」と表示されます。読み込みを中止する場合は、「ﾊｲ」を選択してください。読み込みを続ける場合は、「ｲｲｴ」を選択してください。

読み込みが完了し送信待ち状態のジョブを取り消すには、「送信待ちジョブの取り消し」（p.250）をごらんください。

データ保存先の設定

スキャンしたデータをコンピュータまたは USB メモリに保存します。ネットワーク経由で送信する場合は「送信先アドレスの設定（メール /FTP/SMB 送信)」(p.185）をごらんください。

データ送信先としてアドレスが設定されている場合は、コンピュータまたは USB メモリを保存先に指定できません。

本機と接続したコンピュータに保存する（PC 送信）

PC 送信を実行するには、以下の条件をすべて満たしている必要があります。

- 本機とコンピュータが USB ケーブルで接続されている
- コンピュータに TWAIN スキャナドライバ、プリンタドライバ、LinkMagic（Windows のみ対応）がインストールされている
- LinkMagic が起動しているか、Windows のタスクバーに LinkMagic のアイコンが表示されている
- LinkMagic の「給紙方法」で指定されている場所（原稿ガラス（フラットベッド）または ADF）に原稿が正しくセットされている

LinkMagic については、「リファレンスガイド」(Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

本機と接続したコンピュータにスキャンデータを送信する場合は、以下の手順で設定します。

スキャンに関する設定は LinkMagic での設定が優先されます。LinkMagic で各種設定を行ってください。詳しくは、「リファレンスガイド」(Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

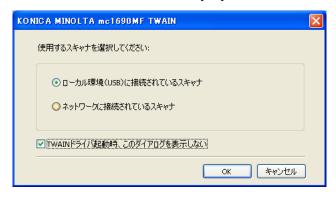
1 メイン（スキャンモード）画面で［▲]、[▼］キーを押して「ｽｷｬﾝ ｿｳｼﾝ ｻｷ」を選択し、[選択］キーを押します。

PDF　　　　ﾒﾓﾘ:100%
ﾐｯｸｽ　　150×150dpi
ｽｷｬﾝ ｿｳｼﾝ ｻｷ
ｰ>ｾﾝﾀｸ

2 ［▲］、［▼］キーを押して「PC ﾍ ｿｳｼﾝ」を選択し、［選択］キーを押します。

スキャンデータは、LinkMagic で指定したフォルダに保存されます。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

10ｷｰ ﾆ ﾖﾙ ｱｲﾃｻｷ ｶﾞ
▶PC ﾍ ｿｳｼﾝ

3 コンピュータに下記の画面が表示された場合は、「ローカル環境（USB）に接続されているスキャナ」を選択し、[OK] をクリックします。

「TWAIN ドライバ起動時、このダイアログを表示しない」をチェックすると、次回からこの画面は表示されません。

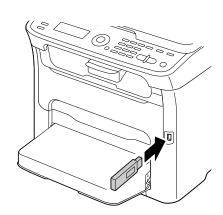
4 コンピュータに下記の画面が表示された場合は、[はい] をクリックします。表示されたフォルダにスキャンしたデータが保存されます。

データの保存先は変更できます。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

USB メモリに保存する（USB メモリ送信）

本機の USB メモリポートに接続した USB メモリにスキャンデータを保存する場合は、以下の手順で設定します。

本機は、4GB 以下の容量の USB メモリに対応しています。

1 本機のUSBメモリポートにUSBメモリを接続します。

2 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ｽｷｬﾝ ｿｳｼﾝ ｻｷ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
 PDF          ﾒﾓﾘ:100%
 ﾐｯｸｽ      150×150dpi
▶ｽｷｬﾝ ｿｳｼﾝ ｻｷ
>USBｽｷｬﾝ=ｽﾀｰﾄ
```

3 ［▲］、［▼］キーを押して「USB ﾒﾓﾘ ﾍ ｽｷｬﾝ」を選択し、［選択］キーを押します。

USB メモリによっては、スキャンデータを転送するのに時間がかかることがあります。

```
 10ｷｰ ﾆ ﾖﾙ ｱｲﾃｻｷ ｶﾞ
▶USBﾒﾓﾘ ﾍ ｽｷｬﾝ
 PC ﾍ ｿｳｼﾝ
```

送信先アドレスの設定（メール /FTP/SMB 送信）

ネットワーク経由で、スキャンデータを指定したアドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）に送信します。アドレスは直接入力するか、本機に登録したアドレスから選択することができます。

ネットワーク経由でスキャンデータを送信するには、「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ」および「ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ」（メールで送信する場合）の設定が必要です。

スキャンデータをメールで送信する場合、データサイズが「ｾｯﾃｲ(UTILITY)-ｽｷｬﾅ ｾｯﾃｲ-ﾌｧｲﾙ ｻｲｽﾞ」の設定値を超えていると自動的に複数のメールに分割されます。詳しくは、「スキャナ設定メニュー」（p.98）をごらんください。

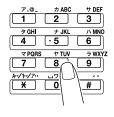
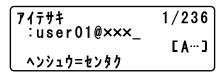
スキャンデータを FTP サーバまたは Windows を搭載するコンピュータの共有フォルダへ保存する場合、短縮ダイアルに FTP アドレスまたは SMB アドレスを登録する必要があります。これらのアドレスは、LSU（Local Setup Utility）または PageScope Web Connection でのみ登録を行うことができます。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

メールアドレスを直接入力する

スキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス）を直接入力します。

直接入力で設定可能なアドレス（直接入力および LDAP 検索で指定したメールアドレスの合計）は最大 16 件です。

1 メイン（スキャンモード）画面で、テンキーを押して送信先アドレス（英数字、記号で最大 64 文字）を入力します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

2 入力が完了したら、[選択]
キーを押します。

3 [▲]、[▼] キーを押して
「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、[選択]
キーを押します。

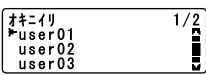
メールアドレスを続けて
追加するには、手順 3 で
「ﾂｲｶ」を選択し、送信先
を指定します。
指定したメールアドレス
を確認するには、手順 3
で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択
します。指定したメール
アドレスを修正するに
は、手順 3 で「ｶｸﾆﾝ /
ｼｭｳｾｲ」を選択し、「指定
した送信先アドレスを編
集する」（p.203）の手順
2 以降を実行します。削
除するには、手順 3 で
「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し
「指定した送信先アドレ
スを削除する」（p.206）
の手順 2 以降を実行します。

アイテサキ
ツイカ
カクニン/シュウセイ
▶シュウリョウ

お気に入りリストから指定する

お気に入りとは、本機に登録されている短縮ダイアルおよびグループダイアルから、特に頻繁に使用する宛先（最大 20 件）をより便利に登録しておく機能です。ここでは、お気に入りリストを使ってスキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を指定します。

お気に入りリストにアドレスを登録する方法については、「お気に入りを登録する」（p.209）をごらんください。

1 メイン（スキャンモード）画面または「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されているときに、[登録宛先] キーを押して「ｵｷﾆｲﾘ」を表示させます。

2 [▲]、[▼] キーを押してアドレスを選択し、[選択] キーを押します。

3 もう一度 [選択] キーを押します。
FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定した場合は、送信先アドレスが設定されます。

4 メールアドレスを指定した場合は、[▲]、[▼] キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、[選択] キーを押します。

メールアドレスを続けて追加するには、手順 4 で「ﾂｲｶ」を選択し、送信先を指定します。FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 4 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択します。削除するには、手順 4 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」(p.206) の手順 2 以降を実行します。

アイテサキ
ツイカ
カクニン/シュウセイ
▶シュウリョウ

短縮ダイアルから指定する

本機には最大 250 件の短縮ダイアルを登録できます。ここでは、短縮ダイアルを使ってスキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を指定します。

短縮ダイアルにアドレスを登録する方法については、「直接入力で短縮ダイアルを登録する」(p.216) および「LDAP 検索を使って短縮ダイアルを登録する」(p.220) をごらんください。

1 メイン（スキャンモード）画面または「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されているときに、[登録宛先] キーを 2 度押して「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」を表示させます。

登録宛先

アイテサキ　1/236
タンシュク ダイアル:_
グループ ダイアル=アテサキ

2 テンキーで目的の短縮ダイアル番号（1 ～ 250）を入力し、［選択］キーを押します。
選択した短縮ダイアルの内容が約 2 秒間表示されます。

```
アイテサキ              1/236
 タンシュク ダイアル:2_

ーセンタク キー ヲ オシテクダサイー
```

3 もう一度［選択］キーを押します。
FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定した場合は、送信先アドレスが設定されます。

4 メールアドレスを指定した場合は、[▲]、[▼] キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、[選択] キーを押します。

メールアドレスを続けて追加するには、手順 4 で「ﾂｲｶ」を選択し、送信先を指定します。FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 4 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択します。削除するには、手順 4 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」(p.206)の手順 2 以降を実行します。

アイテサキ
　ツイカ
　カクニン/シュウセイ
▶シュウリョウ

グループダイアルから指定する

本機には最大 20 件のグループダイアルを登録できます。(グループ 1 件あたり最大 50 件のメールアドレスを登録できます。) ここでは、グループダイアルを使ってスキャンデータの送信先アドレス(メールアドレス)を指定します。

グループダイアルにメールアドレスを登録する方法については、「グループダイアルを登録する」(p.230)をごらんください。

電話番号が含まれているグループダイアルはスキャンモードでは使用できません。

1 メイン（スキャンモード）画面または「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されているときに、[登録宛先] キーを 3 度押して「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」を表示させます。

```
ｱｲﾃｻｷ                1/236
 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ:

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ=ｱﾃｻｷ
```

2 テンキーで目的のグループダイアル番号（1 〜 20）を入力し、[選択] キーを押します。
選択したグループダイアルの内容が約 2 秒間表示されます。

```
ｱｲﾃｻｷ                1/236
 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ:2_

-ｾﾝﾀｸ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ-
```

3 もう一度［選択］キーを押します。

4 ［▲］、［▼］キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。

メールアドレスを続けて追加するには、手順 4 で「ﾂｲｶ」を選択し、送信先を指定します。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 4 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択します。削除するには、手順 4 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.206）の手順 2 以降を実行します。

```
アイテサキ
  ツイカ
  カクニン/シュウセイ
►シュウリョウ
```

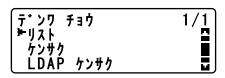
電話帳から指定する

本機に登録した短縮ダイアルとグループダイアルは、電話帳に保存されます。ここでは、電話帳を使ってスキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を指定します。

電話帳に登録されているデータが 1 件もない場合は、この機能は使用できません。

1 メイン（スキャンモード）画面または「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されているときに、［登録宛先］キーを 4 度押して「ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ」を表示させます。

```
デ゛ンワ チョウ          1/1
►リスト
  ケンサク
  LDAP ケンサク
```

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾘｽﾄ」を選択し、［選択］キーを押します。
電話帳の内容が一覧で表示されます。

3 ［▲］、［▼］キーを押してアドレスを選択し、［選択］キーを押します。

4 もう一度［選択］キーを押します。
FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定した場合は、送信先アドレスが設定されます。

5 メールアドレスを指定した場合は、［▲］、［▼］キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
ｱｲﾃｻｷ
 ﾂｲｶ
 ｶｸﾆﾝ/ｼｭｳｾｲ
▶ｼｭｳﾘｮｳ
```

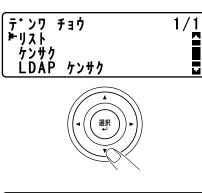
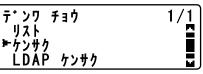
メールアドレスを続けて追加するには、手順 5 で「ﾂｲｶ」を選択し、送信先を指定します。FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 5 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択します。削除するには、手順 5 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.206）の手順 2 以降を実行します。

電話帳から検索する

電話帳の検索機能を使って、スキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を指定します。

電話帳に登録されているデータが名前の 1 件もない場合は、この機能は使用できません。

1 メイン（スキャンモード）画面または「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されているときに、［登録宛先］キーを 4 度押して「ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ」を表示させます。

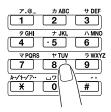
2 ［▲］、［▼］キーを押して「ｹﾝｻｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

3 テンキーで検索キーワード（カタカナ、英数字、記号で最大 10 文字）を入力し、［選択］キーを押します。
検索が開始され、しばらくすると検索結果が表示されます。検索キーワードに適合する情報がない場合は、「ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ ｹﾝｻｸ
 :user01_
[A…]

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

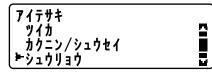
検索対象は名前の 1 番目の文字から最大 10 文字です。検索キーワードが文字の途中に含まれている情報は検索されません。

4 ［▲］、［▼］キーを押してアドレスを選択し、［選択］キーを押します。

検索を絞り込みたい場合は、［戻る］キーを押し、再度手順 3 を行ってください。

ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ ｹﾝｻｸ
▶user01

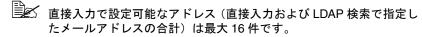
5 もう一度［選択］キーを押します。
FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定した場合は、送信先アドレスが設定されます。

6 メールアドレスを指定した場合は、［▲］、［▼］キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。

メールアドレスを続けて追加するには、手順 6 で「ﾂｲｶ」を選択し、送信先を指定します。FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 6 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択します。削除するには、手順 6 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.206）の手順 2 以降を実行します。

LDAP サーバから検索する

LDAP サーバの情報を使って、スキャンデータの送信先アドレス（メールアドレス）を指定します。

LDAP サーバに接続するには、「LDAP ｾｯﾃｲ」の設定が必要です。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

直接入力で設定可能なアドレス（直接入力および LDAP 検索で指定したメールアドレスの合計）は最大 16 件です。

ﾄｸﾒｲ（匿名）権限で LDAP サーバから情報を検索する場合、正しい検索結果が得られないことがあります。

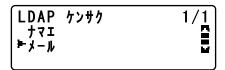
1 メイン（スキャンモード）画面または「ｱﾃｻｷﾁｮｳ ｶﾞ ﾂｶｴﾏｽ」が表示されているときに、［登録宛先］キーを 4 度押して「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ」を表示させます。

```
ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ          1/1
▶ﾘｽﾄ
 ｹﾝｻｸ
 LDAP ｹﾝｻｸ
```

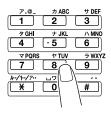
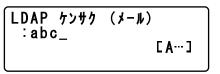
2 ［▲］、［▼］キーを押して「LDAP ｹﾝｻｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
ﾃﾞﾝﾜ ﾁｮｳ          1/1
 ﾘｽﾄ
 ｹﾝｻｸ
▶LDAP ｹﾝｻｸ
```

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾅﾏｴ」または「ﾒｰﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。

登録名で検索する場合は「ﾅﾏｴ」を、メールアドレスで検索する場合は「ﾒｰﾙ」を選択します。

4 テンキーで検索キーワード（英数字、記号で最大 10 文字）を入力し、［選択］キーを押します。
検索が開始され、しばらくすると検索結果が表示されます。検索キーワードに適合する情報がない場合は、「ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

検索対象は 1 番目の文字から最大 10 文字です。検索キーワードが文字の途中に含まれている情報は検索されません。

5 ［▲］、［▼］キーを押してデータを選択し、［選択］キーを押します。

検索された情報の内容を確認するには、［▶］キーを押します。

文字数が64文字を超えているメールアドレスを選択することはできません。選択した場合は「ｱﾃｻｷｶﾞ ﾅｶﾞｽｷﾞﾏｽ」というメッセージが約 2 秒間表示され、送信先アドレスの設定画面に戻ります。

```
LDAP ｹﾝｻｸ (ﾒｰﾙ)
▶abc@×××
 abc01@×××
```

検索を絞り込みたい場合は、［戻る］キーを押し、再度手順 4 を行ってください。

6 もう一度［選択］キーを押します。

7 ［▲］、［▼］キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。

メールアドレスを続けて追加するには、手順 7 で「ﾂｲｶ」を選択し、送信先を指定します。
指定したメールアドレスを確認するには、手順 7 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択します。指定したメールアドレスを修正するには、手順 7 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し、「指定した送信先アドレスを編集する」（p.203）の手順 2 以降を実行します。
指定したメールアドレスを削除するには、手順 7 で「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し「指定した送信先アドレスを削除する」（p.206）の手順 2 以降を実行します。編集することはできません。

アイテサキ
　ツイカ
　カクニン/シュウセイ
▶シュウリョウ

複数の送信先アドレスを指定する

送信先アドレス（メールアドレス）がすでに設定されている状態で、別のメールアドレスを送信先として追加します。

FTP アドレスまたは SMB アドレスに送信する場合は、複数のアドレスを指定することはできません。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のデータ送信先設定を選択し、［選択］キーを押します。

```
 PDF           メモリ:100%
 ミックス      150×150dpi
▶TO:user01@×××
>スキャン=スタート
```

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾂｲｶ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
アイテサキ
▶ツイカ
 カクニン/シュウセイ
 シュウリョウ
```

3 送信先のメールアドレスを指定します。

アドレスを直接入力する場合は、「メールアドレスを直接入力する」（p.185）をごらんください。
お気に入りリストから指定する場合は、「お気に入りリストから指定する」（p.186）をごらんください。
短縮ダイアルから指定する場合は、「短縮ダイアルから指定する」（p.188）をごらんください。
グループダイアルから指定する場合は、「グループダイアルから指定する」（p.190）をごらんください。
電話帳から指定する場合は、「電話帳から指定する」（p.192）をごらんください。
電話帳から検索する場合は、「電話帳から検索する」（p.195）をごらんください。
LDAP サーバから検索する場合は、「LDAP サーバから検索する」（p.197）をごらんください。

指定した送信先アドレスを編集する

設定済みの送信先アドレス（メールアドレス）を編集します。

FTP アドレス、SMB アドレス、短縮ダイアルまたはグループダイアルに登録されているアドレスは、編集できません。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のデータ送信先設定を選択し、［選択］キーを押します。

```
 PDF          メモリ:100%
 ミックス     150×150dpi
▶TO:user01@×××
>スキャン=スタート
```

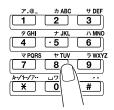
2 ［▲］、［▼］キーを押して「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

アイテサキ
ツイカ
カクニン/シュウセイ
シュウリョウ

3 ［▲］、［▼］キーを押して編集するメールアドレスを選択し、［選択］キーを押します。

アイテサキ 1/1
user01@×××

4 テンキーでメールアドレスを編集し、［選択］キーを押します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

```
アイテサキ
 :user01@×××_
                    [A…]
 ヘンシュウ=センタク
```

5 送信先アドレスの編集を完了するには、［戻る］キーを押します。

6 ［▲］、［▼］キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
アイテサキ
 ツイカ
 カクニン/シュウセイ
▶シュウリョウ
```

指定した送信先アドレスを削除する

設定済みの送信先アドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を削除します。

ここでの削除操作は、元のデータ（短縮ダイアル、グループダイアルなど）には反映されません。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のデータ送信先設定を選択し、［選択］キーを押します。

```
 PDF           メモリ:100%
 ミックス      150×150dpi
▶TO:user01@×××
>スキャン=スタート
```

2 メールアドレスを削除する場合は、［▲］、［▼］キーを押して「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し、［選択］キーを押します。続けて［▲］、［▼］キーを押して削除するダイアル名またはアドレスを選択します。
FTP アドレスまたは SMB アドレスを削除する場合は、そのまま手順 3 に進みます。

```
アイテサキ
 ツイカ
▶カクニン/シュウセイ
 シュウリョウ
```

3 ［ストップ / リセット］キーを押します。

4 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾊｲ」を選択し、［選択］キーを押します。
選択した送信先アドレスが削除されます。

指定されていたアドレスが全て削除された場合は、メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

5 さらに送信先アドレスを削除する場合は、手順 2 以降を繰り返します。

6 送信先アドレスの削除を完了するには、［戻る］キーを押します。

7 ［▲］、［▼］キーを押して
「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］
キーを押します。

アドレスの登録 / 編集

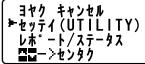
お気に入りリスト、短縮ダイアル、グループダイアルのアドレスを登録 / 編集します。

アドレスの登録 / 編集は、付属の Applications CD-ROM に収録されている LSU（Local Setup Utility）および PageScope Web Connection でも操作できます。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

アドレスの登録 / 編集は、ファクス番号の登録 / 編集と同じ設定メニューを使用します。ファクス番号の登録 / 編集については、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

お気に入りを登録する

お気に入りとは、本機に登録されている短縮ダイアルおよびグループダイアルから、特に頻繁に使用する宛先（最大 20 件）をより便利に登録しておく機能です。ここでは、お気に入りリストに新しいアドレス（メールアドレス、FTP アドレス、SMB アドレス）を登録します。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ｾｯﾃｨ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

セッテイメニュー 2/3
コピー セッテイ
ダイアル トウロク
ソウシン セッテイ

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ｵｷﾆｲﾘ」を選択し、［選択］キーを押します。

お気に入りがすでに登録されている場合は、手順3のあと、手順7に進みます。

ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ 1/1
▶ｵｷﾆｲﾘ
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ

4 ［登録宛先］キーを押して、「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」と「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」を切り替えます。

ｵｷﾆｲﾘ 4/20
ｱｲﾃｻｷ
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ:_
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ=ｱﾃｻｷ

ｵｷﾆｲﾘ 4/20
ｱｲﾃｻｷ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ:_
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ=ｱﾃｻｷ

5 テンキーでお気に入りリストに登録する短縮ダイアル番号（1 ～ 250）またはグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、［選択］キーを押します。
選択した短縮ダイアルまたはグループダイアルの内容が表示されます。

```
オキニイリ                4/20
 アイテサキ
   タンシュク ダイアル:2
-センタク キー ヲ オシテクダサイ-
```

6 もう一度［選択］キーを押します。

7 別のお気に入りを続けて登録するには、[▲]、[▼] キーを押して「ﾂｲｶ」を選択し、[選択] キーを押してから、手順 4 以降を繰り返します。

オキニイリ
►ツイカ
カクニン/シュウセイ
シュウリョウ

8 お気に入りの登録を完了するには、[▲]、[▼] キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、[選択] キーを押します。

オキニイリ
ツイカ
カクニン/シュウセイ
►シュウリョウ

お気に入りを削除する

お気に入りリストからお気に入りを削除します。

ここでの削除操作は、元のデータ（短縮ダイアル、グループダイアル）には反映されません。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ｵｷﾆｲﾘ」を選択し、［選択］キーを押します。

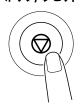
ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ　1/1
▶ｵｷﾆｲﾘ
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ

4 ［▲］、［▼］キーを押して「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

ｵｷﾆｲﾘ
ﾂｲｶ
▶ｶｸﾆﾝ/ｼｭｳｾｲ
ｼｭｳﾘｮｳ

5 ［▲］、［▼］キーを押して削除するお気に入りを選択し、［ストップ / リセット］キーを押します。

```
オキニイリ           2/3
 user01
▶user02
 user03
```

ストップ/リセット

6 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾊｲ」を選択し、［選択］キーを押します。
選択したお気に入りが削除されます。

```
ショウキョ
▶ハイ
 イイエ
```

7 別のお気に入りを続けて削除するには、手順 5 以降を繰り返します。

8 お気に入りの削除を完了するには、［戻る］キーを押します。

9 ［▲］、［▼］キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。

直接入力で短縮ダイアルを登録する

本機の短縮ダイアルにメールアドレスを登録します。短縮ダイアルは最大 250 件まで登録できます。

本機のキー操作では、短縮ダイアルに FTP アドレスおよび SMB アドレスを登録することはできません。これらのアドレスは、LSU（Local Setup Utility）または PageScope Web Connection で登録してください。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

短縮ダイアル番号 221 ～ 250 は、LSU（Local Setup Utility）または PageScope Web Connection で FTP アドレスおよび SMB アドレスを登録するための番号として予約されています。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

```
  ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ
▶ｾｯﾃｲ(UTILITY)
  ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ
  ▲▼ｰ>ｾﾝﾀｸ
```

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ            2/3
  ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ
▶ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ
  ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
```

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。

ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ 1/1
 ｵｷﾆｲﾘ
▶ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ

4 テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ:5_

-ｾﾝﾀｸ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ-

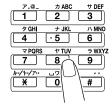
5 ［▲］、［▼］キーを押して「ｼｭﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

LDAP サーバが設定されていない場合は、手順 5 は省略されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ005    1/1
▶ｼｭﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ
 LDAP ｹﾝｻｸ
```

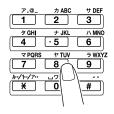
6 テンキーで相手先名を入力し、［選択］キーを押します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

入力可能な文字数はカタカナ、英数字、記号で最大 20 文字です。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ005
 ﾅﾏｴ
 :user05_        [A…]
```

7 テンキーでメールアドレスを入力し、［選択］キーを押します。登録が完了し、「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」メニューに戻ります。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

入力可能な文字数は英数字、記号で最大 64 文字です。

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ005
ｱｲﾃｻｷ
:user05@×××_　　［A…］

LDAP 検索を使って短縮ダイアルを登録する

LDAP サーバの情報を使って、本機の短縮ダイアルにメールアドレスを登録します。短縮ダイアルは最大 250 件まで登録できます。

LDAP サーバに接続するには、「LDAP ｾｯﾃｲ」の設定が必要です。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

本機のキー操作では、短縮ダイアルに FTP アドレスおよび SMB アドレスを登録することはできません。これらのアドレスは、LSU（Local Setup Utility）または PageScope Web Connection で登録してください。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

短縮ダイアル番号 221 ～ 250 は、LSU（Local Setup Utility）または PageScope Web Connection で FTP アドレスおよび SMB アドレスを登録するための番号として予約されています。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

ヨヤク キャンセル
▶セッテイ(UTILITY)
レポート/ステータス
▲▼ー>センタク

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

セッテイメニュー 2/3
コピー セッテイ
▶ダイアル トウロク
ソウシン セッテイ

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。

ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ 1/1
 ｵｷﾆｲﾘ
▶ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ

4 テンキーで短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ:5_

-ｾﾝﾀｸ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ-

5 ［▲］、［▼］キーを押して「LDAP ｹﾝｻｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

LDAP サーバが設定されていない場合は、「LDAP ｹﾝｻｸ」が表示されません。

```
タンシュク ダイアル005     1/1
  シュドウ セッテイ
▶LDAP ケンサク
```

6 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾅﾏｴ」または「ﾒｰﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。

登録名で検索する場合は「ﾅﾏｴ」を、メールアドレスで検索する場合は「ﾒｰﾙ」を選択します。

```
LDAP ケンサク             1/1
  ナマエ
▶メール
```

7 テンキーで検索キーワード（英数字、記号で最大 10 文字）を入力し、［選択］キーを押します。
検索が開始され、しばらくすると検索結果が表示されます。検索キーワードに適合する情報がない場合は、「ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ」というメッセージが約 2 秒間表示されます。

LDAP ｹﾝｻｸ (ﾒｰﾙ)
:abc_
[A…]

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

検索対象は 1 番目の文字から最大 10 文字です。検索キーワードが文字の途中に含まれている情報は検索されません。

8 ［▲］、［▼］キーを押して目的のデータを選択し、［選択］キーを押します。

検索された情報の内容を確認するには、［▶］キーを押します。

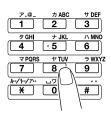
LDAP ｹﾝｻｸ (ﾒｰﾙ)
▶abc@×××
abc01@×××

文字数が64文字を超えているメールアドレスを選択することはできません。選択した場合は「ｱﾃｻｷｶﾞ ﾅｶﾞｽｷﾞﾏｽ」というメッセージが約 2 秒間表示され、送信先アドレスの設定画面に戻ります。

検索を絞り込みたい場合は、［戻る］キーを押し、再度手順 7 を行ってください。

9 必要に応じて、テンキーで登録名を編集し、[選択] キーを押します。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ005
 ﾅﾏｴ
 :user05_          [A…]
```

10 必要に応じて、テンキーでメールアドレスを編集し、[選択] キーを押します。
登録が完了し、「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」メニューに戻ります。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ005
 ｱｲﾃｻｷ
 :user05@×××_    [A…]
```

短縮ダイアルの編集 / 削除

短縮ダイアルに登録されている内容を編集 / 削除します。

本機のキー操作では、短縮ダイアルに登録されている FTP アドレスおよび SMB アドレスを編集 / 削除することはできません。これらのアドレスは、LSU (Local Setup Utility) または PageScope Web Connection で登録してください。詳しくは、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

ヨヤク キャンセル
▶セッテイ(UTILITY)
レポート/ステータス
▲▼ー>センタク

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
ｾｯﾃｲﾒﾆｭｰ          2/3
  ｺﾋﾟｰ ｾｯﾃｲ
▶ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ
  ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ
```

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ        1/1
  ｵｷﾆｲﾘ
▶ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
  ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ
```

4 テンキーで編集/削除する短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。
選択した短縮ダイアルの現在の内容が約 2 秒間表示されます。

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ:2_
-ｾﾝﾀｸ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ-

5 ［▲］、［▼］キーを押して、編集する場合は「ﾍﾝｼｭｳ」を、削除する場合は「ｼｮｳｷｮ」を選択し、［選択］キーを押します。
「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、削除が実行され、「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」メニューに戻ります。

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ002 1/1
ﾍﾝｼｭｳ
ｼｮｳｷｮ

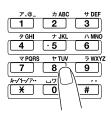
6 テンキーで相手先名を編集し、［選択］キーを押します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

入力可能な文字数はカタカナ、英数字、記号で最大 20 文字です。

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ002
ﾅﾏｴ
:_ser02 [A…]

7 テンキーでメールアドレスを編集し、［選択］キーを押します。編集内容が保存され、「ﾀﾞｲｱﾙﾄｳﾛｸ」メニューに戻ります。

編集した短縮ダイアルが、お気に入りリストやグループダイアルに登録されている場合、手順 7 を実行後、登録を維持するかどうかの確認画面が表示されます。登録を維持する場合は「ﾊｲ」を、破棄する場合は「ｲｲｴ」を選択してください。

ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ002
ｱｲﾃｻｷ
:_ser02@××× [1…]

グループダイアルを登録する

本機のグループダイアルにメールアドレスを登録します。グループダイアルは最大 20 件まで登録できます。（グループ 1 件あたり最大 50 件のメールアドレスを登録できます。）

グループダイアルに登録できるアドレスは、短縮ダイアルまたは別のグループダイアルに登録されているアドレスに限られます。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

セッテイメニュー　　　　2/3
　コピー　セッテイ
▶ダイアル　トウロク
　ソウシン　セッテイ

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。

ダイアル　トウロク　　　　1/1
　オキニイリ
　タンシュク　ダイアル
▶グループ　ダイアル

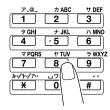
4 テンキーでグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、［選択］キーを押します。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ:5_

-ｾﾝﾀｸ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ-

5 テンキーでグループ名を入力し、［選択］キーを押します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

入力可能な文字数はカタカナ、英数字、記号で最大 20 文字です。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ05
ﾅﾏｴ
:GROUP05_ [A…]

6 テンキーでグループに追加する短縮ダイアル番号（1 ～ 220）を入力し、［選択］キーを押します。
選択した短縮ダイアル番号の内容が表示されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ05  1/50
 ｱｲﾃｻｷ
  ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ:2_
-ｾﾝﾀｸ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ-
```

7 もう一度［選択］キーを押します。

8 グループに短縮ダイアルを続けて登録するには、[▲]、[▼] キーを押して「ﾂｲｶ」を選択し、[選択] キーを押してから、手順 6 以降を繰り返します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ05
►ﾂｲｶ
 ｶｸﾆﾝ/ｼｭｳｾｲ
 ｼｭｳﾘｮｳ
```

9 グループダイアルの登録を完了する場合は、[▲]、[▼] キーを押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、[選択] キーを押します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ05
 ﾂｲｶ
 ｶｸﾆﾝ/ｼｭｳｾｲ
►ｼｭｳﾘｮｳ
```

グループダイアルの編集 / 削除

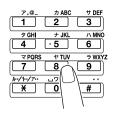
グループダイアルに登録されている内容を編集 / 削除します。

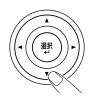
1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ｾｯﾃｲ (UTILITY)」を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」を選択し、［選択］キーを押します。

3 [▲]、[▼] キーを押して「ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ」を選択し、[選択] キーを押します。

```
ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ          1/1
 ｵｷﾆｲﾘ
 ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ
▶ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ
```

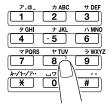
4 テンキーで編集/削除するグループダイアル番号（1 ～ 20）を入力し、[選択] キーを押します。選択したグループダイアルの現在の内容が約 2 秒間表示されます。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ
 ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ:1_

-ｾﾝﾀｸ ｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ-
```

5 ［▲］、［▼］キーを押して、編集する場合は「ﾍﾝｼｭｳ」を、削除する場合は「ｼｮｳｷｮ」を選択し、［選択］キーを押します。
「ｼｮｳｷｮ」を選択した場合は、削除が実行され、「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」メニューに戻ります。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01    1/1
▶ﾍﾝｼｭｳ
 ｼｮｳｷｮ
```

6 必要に応じてテンキーでグループ名を編集し、［選択］キーを押します。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

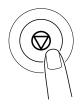
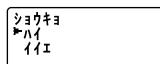
入力可能な文字数はカタカナ、英数字、記号で最大 20 文字です。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
 ﾅﾏｴ
 :_ROUP01        [A…]
```

7 ［▲］、［▼］キーを押して、短縮ダイアルを追加する場合は「ﾂｲｶ」を、削除する場合は「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を、編集を終了する場合は「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、［選択］キーを押します。
「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択した場合は、編集内容が保存され、「ﾀﾞｲｱﾙ ﾄｳﾛｸ」メニューに戻ります。「ﾂｲｶ」を選択した場合は、「グループダイアルを登録する」（p.230）の手順 6 以降を実行してください。「ｶｸﾆﾝ / ｼｭｳｾｲ」を選択した場合は手順 8 に進みます。

8 ［▲］、［▼］キーを押して削除する短縮ダイアルを選択し、［ストップ / リセット］キーを押します。

選択した短縮ダイアルの内容を確認するには、［選択］キーを押します。

```
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01    2/3
 user01
▶user02
 user03
```

ストップ/リセット

9 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾊｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

10 短縮ダイアルの削除が完了したら、［戻る］キーを押します。

11 別の短縮ダイアルを続けて削除するには、手順 8 以降を繰り返します。

12 グループダイアルの編集を完了する場合は、[▲]、[▼] キー押して「ｼｭｳﾘｮｳ」を選択し、[選択] キーを押します。

> 編集したグループダイアルが、お気に入りリストに登録されている場合、手順 12 を実行後、登録を維持するかどうかの確認画面が表示されます。登録を維持する場合は「ﾊｲ」を、破棄する場合は「ｲｲｴ」を選択してください。

ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲｱﾙ01
ﾂｲｶ
ｶｸﾆﾝ/ｼｭｳｾｲ
ｼｭｳﾘｮｳ

データ形式の設定

読み込む画像のデータ形式を設定します。

1 メイン（スキャンモード）画面で [▲]、[▼] キーを押して現在のデータ形式設定を選択し、[選択] キーを押します。

PDF　　　ﾒﾓﾘ:100%
ﾐｯｸｽ　　150×150dpi
ｽｷｬﾝ ｿｳｼﾝ ｻｷ
ｰ>ｾﾝﾀｸ

2 ［▲］、［▼］キーを押して「TIFF」、「PDF」、「JPEG」のいずれかを選択し、［選択］キーを押します。
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

ｼｭﾂﾘｮｸ ﾌｧｲﾙ ｹｲｼｷ 1/1
TIFF
PDF
JPEG

スキャンカラー設定で「ｼﾛｸﾛ」を選択している場合、「JPEG」は表示されません。

PDF ファイルは Adobe Acrobat Reader で開くことができます。PDF 形式は、PDF1.2 に準拠しています。

スキャンカラーの設定を「ｶﾗｰ／ｸﾞﾚｰ」に設定してスキャンした TIFF ファイルは、Windows XP の Windows Picture と FAX Viewer では開くことができません。Adobe PhotoShop、Microsoft Office Document Imaging、ACDsee など、画像処理アプリケーションで開いてください。

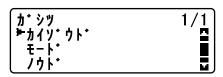
スキャン品質の設定

読み込む画像の内容に合わせて、解像度、スキャンモード、濃度を設定します。

解像度を設定する

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャン品質を選択し、［選択］キーを押します。

```
 PDF         メモリ:100%
▶ミックス      150×150dpi
 スキャン ソウシン サキ
 ▲▼ー>センタク
```

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ｶｲｿﾞｳﾄﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［▲］、［▼］キーを押して「150×150dpi」または「300×300dpi」を選択し、［選択］キーを押します。
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

ｶｲｿﾞｳﾄﾞ 1/1
150×150dpi
300×300dpi

スキャンモードを選択する

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャン品質を選択し、［選択］キーを押します。

```
 PDF        ﾒﾓﾘ:100%
▶ﾐｯｸｽ    150×150dpi
 ｽｷｬﾝ ｿｳｼﾝ ｻｷ
 ▲▼ｰ>ｾﾝﾀｸ
```

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾓｰﾄﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。

```
ｶﾞｼﾂ              1/1
 ｶｲｿﾞｳﾄﾞ
▶ﾓｰﾄﾞ
 ﾉｳﾄﾞ
```

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾐｯｸｽ」、「ﾓｼﾞ」、「ｼｬｼﾝ」のいずれかを選択し、［選択］キーを押します。
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

スキャン濃度を設定する

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャン品質を選択し、［選択］キーを押します。

PDF メモリ:100%
ﾐｯｸｽ 150×150dpi
ｽｷｬﾝ ｿｳｼﾝ ｻｷ
ｰ>ｾﾝﾀｸ

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾉｳﾄﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。

ｶﾞｼﾂ　1/1
　ｶｲｿﾞｳﾄﾞ
　ﾓｰﾄﾞ
▶ﾉｳﾄﾞ

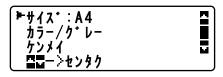
3 ［◀］、［▶］キーを押して濃度を調節し、［選択］キーを押します。
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

［◀］キーを押すと薄くなり、［▶］キーを押すと濃くなります。

ﾉｳﾄﾞ（ﾐｯｸｽ）
◀□□□■□□▶　◀ｾﾝﾀｸ▶

スキャンサイズの設定

スキャンデータのサイズを設定します。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャンサイズ設定を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して目的のサイズを選択し、［選択］キーを押します。
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

スキャン サイズ゛ 1/2
A5
A4
B5

スキャンカラーの設定

スキャンデータのカラー設定を行います。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して現在のスキャンカラー設定を選択し、［選択］キーを押します。

サイズ：A4
▶カラー/グレー
ケンメイ
▲▼ー>センタク

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ｼﾛｸﾛ」または「ｶﾗｰ / ｸﾞﾚｰ」を選択し、［選択］キーを押します。
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

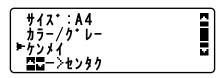
データ形式設定で「JPEG」が設定されている場合、スキャンカラーを「ｼﾛｸﾛ」に設定すると、データ形式設定が自動的に「PDF」に切り替わります。

スタートキー ノ セッテイ 1/1
▶シロクロ
カラー/グレー

「ｼﾛｸﾛ」設定時のみ、設定メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY) / ｽｷｬﾅ ｾｯﾃｲ / ﾌｺﾞｳｶ ﾎｳｼｷ」の設定が有効になります。

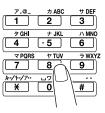
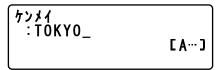
件名の設定

スキャンデータをメール送信する際に使用する件名を設定します。

1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ｹﾝﾒｲ」を選択し、［選択］キーを押します。

2 テンキーで件名を入力し、［選択］キーを押します。
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

文字の入力のしかたについては、「入力のしかた」（p.360）をごらんください。

入力可能な文字数は英数字、記号で最大 20 文字です。

すでに設定されている件名を消去するには、［戻る］キーを押します。

送信待ちジョブの取り消し

送信待ち状態になっているジョブの一覧を表示し、ジョブを取り消します。

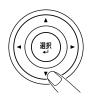
1 メイン（スキャンモード）画面で［▲］、［▼］キーを押して「ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ」を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して取り消すジョブを選択し、［選択］キーを押します。

選択したジョブの内容を確認するには、［▶］キーを押します。

送信待ちジョブが存在しない場合は、「ﾖﾔｸ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」というメッセージが表示されます。

ヨヤク　キャンセル
01　[　　:　　]
スキャン
ABC

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾊｲ」を選択し、［選択］キーを押します。
メイン（スキャンモード）画面に戻ります。

ﾖﾔｸ ｷｬﾝｾﾙ
▶ﾊｲ
ｲｲｴ

消耗品の交換

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されている手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

「ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ」、「I/C ｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ」などのエラーメッセージが表示された場合は、設定リストページを印刷し、消耗品の状態を確認してください。エラーメッセージについて詳しくは、「エラーメッセージ」（p.334）をごらんください。また、設定リストページの印刷について詳しくは、「設定リストページを印刷する」（p.295）をごらんください。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収したトナーカートリッジおよびイメージングカートリッジは再資源化しています。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本機ではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーが本機や手などにこぼれないように注意してください。

トナーカートリッジを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、トナー残量が正しく表示されないことがあります。

トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。トナーが漏れ出した場合、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。

トナーが服や手に付いた場合、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。

トナーが目に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。

トナーを飲み込んだ場合、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んでください。必要に応じて医師の診察を受けてください。

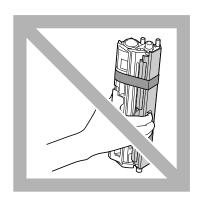
トナーカートリッジは幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。本体およびトナーカートリッジの製品番号は ADF カバーの内側のラベルでご確認ください。

本体製品番号	**トナーカートリッジタイプ**	**トナーカートリッジ製品番号**
MC1690MF	トナーカートリッジ - イエロー（Y）	TCSMC1600Y
	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	TCSMC1600M
	トナーカートリッジ - シアン（C）	TCSMC1600C
	大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	TCHMC1600K
	大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	TCHMC1600Y
	大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	TCHMC1600M
	大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	TCHMC1600C

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下、湿度 85% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。
  トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。

- 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

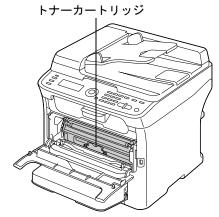
トナーカートリッジの交換手順

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

設定メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY) / ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ (L) / ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ ｾｯﾃｲ」を「ｵﾝ」に設定している場合、トナーがなくなると「ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ / x ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」（x はトナーの色を表します）のメッセージが表示されます。以下の手順にしたがってトナーカートリッジを交換してください。

設定メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY) / ﾏｼﾝｾｯﾃｲ / ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ ｾｯﾃｲ」を「ｵﾌ」に設定している場合、「ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ x」のメッセージが表示された後でも印刷を続行できますが、印字品質は保証外となります。印刷を続け、トナーが完全になくなると、「ﾄﾅｰ ｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ」と表示され印刷を停止します。設定について詳しくは「本体設定メニュー」（p.70）をごらんください。

トナーカートリッジは右図の位置にあります。

1 操作パネルのメッセージウィンドウで、なくなったトナーカートリッジの色を確認します。

トナーがなくなると（「ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ」または「ﾄﾅｰ ｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ」が表示されると）、なくなったトナーカートリッジが交換位置へ自動的に移動します。
強制的にトナーカートリッジを交換したい場合は以下の操作を行ってください。

2 メイン画面で［◀］キーを押して、プリントモードメニューを表示します。

3 ［▼］キーを押して「ﾄﾅｰｺｳｶﾝ」を選択し、［選択］キーを押します。

4 ［選択］キーを押して「ﾄﾅｰｺｳｶﾝ ﾓｰﾄﾞ」を選択します。

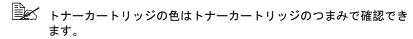
5 ［▲］、［▼］キーを押して、交換するトナーカートリッジの色を選択し、［選択］キーを押します。装置内でトナーカートリッジが回転し、選択した色のトナーカートリッジが交換位置に移動します。

「トナー交換モード」を終了するには、［ストップ / リセット］キーを押します。

6 前カバーを開きます。

トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

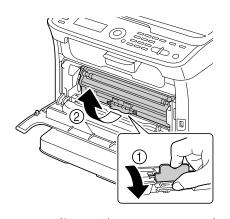
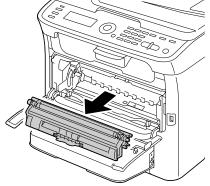
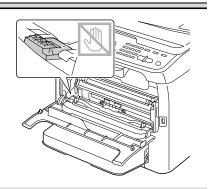
7 交換する色のトナーカートリッジが手前に来ているのを確認します。

トナーカートリッジの色はトナーカートリッジのつまみで確認できます。

8 トナーカートリッジのロックが解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。

ご注意

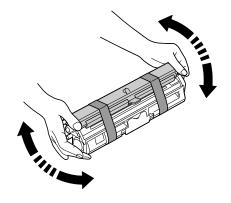
右図の端子には触らないように注意してください。

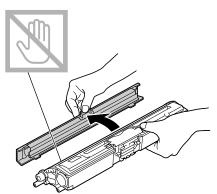
ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

9 新たにセットするトナーカートリッジの色を確認します。

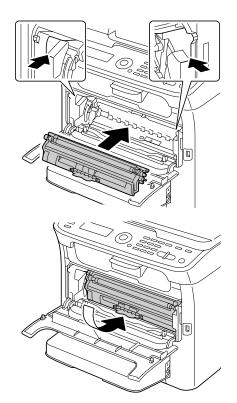
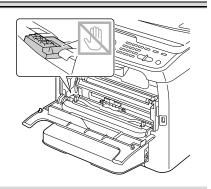
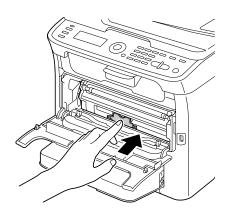
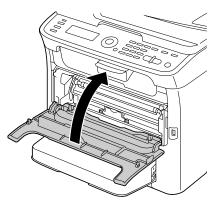
10 トナーカートリッジを袋から取り出します。

11 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

トナーローラーカバーが装着されていることを確認してから振ってください。

12 トナーローラーカバーを取り外します。

トナーローラーには触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。

13 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。

 トナーカートリッジラックのラベルと、取り付けるトナーカートリッジの色が同じであることを確認してからトナーカートリッジを取り付けてください。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

14 トナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。

15 前カバーを閉じます。

16 ［ストップ / リセット］キーを押して、装置の状態をリセットします。

トナーカートリッジ交換後、装置はキャリブレーションを行います。印刷可能な状態になる前にスキャナユニットや前カバーを開けると、キャリブレーションを停止し、スキャナユニットと前カバーを閉めた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

すべてのトナーカートリッジを取り出す方法

ご注意

トナーカートリッジを取り出すときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

「トナー取り出しモード」を使用すると、すべてのトナーカートリッジを取り出すことができます。このモードは消耗品を除く本体をサポートセンターに送り渡す場合などに使用します。

「トナー取り出しモード」の使用方法は、以下のとおりです。

1 メイン画面で［◀］キーを押して、プリントモードメニューを表示します。

2 ［▼］キーを押して「ﾄﾅｰｺｳｶﾝ」を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［▼］キーを押して「ﾄﾅｰﾄﾘﾀﾞｼ ﾓｰﾄﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。

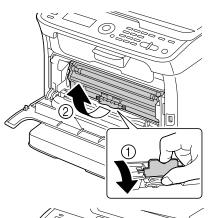
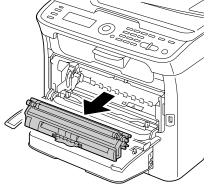
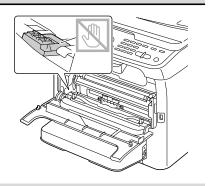
「トナー取り出しモード」を終了するには、［ストップ / リセット］キーを押します。

4 前カバーを開きます。

トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

5 トナーカートリッジのロックが解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

6 前カバーを閉じます。

7 同様の手順で、シアン、ブラック、イエローの順にトナーカートリッジを取り出します。

8 ［ストップ / リセット］キーを押して、装置の状態をリセットします。

イメージングカートリッジの交換手順

イメージングカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のイメージングカートリッジをご使用ください。本体およびイメージングカートリッジの製品番号は ADF カバーの内側のラベルでご確認ください。

本体製品番号	製品名	イメージングカートリッジ製品番号
MC1690MF	イメージングカートリッジ	DCMC1600

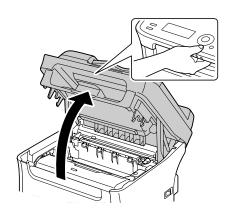
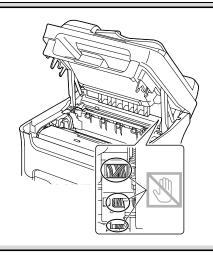
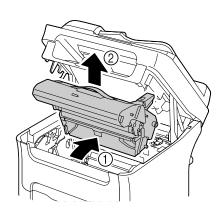
交換にあたっては、上記製品番号のイメージングカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のイメージングカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

「I/C ｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ/I/C ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」というメッセージが表示されたら、以下の手順にしたがってイメージングカートリッジを交換してください。

イメージングカートリッジは右図の位置にあります。

1 スキャナユニットを開けます。

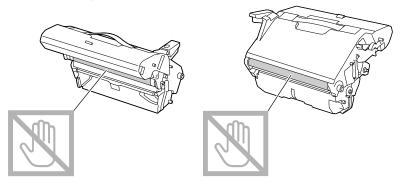
ADF および 排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除いてからスキャナユニットを開けてください。

ご注意

右図の配線部には触らないように注意してください。

2 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

ご注意

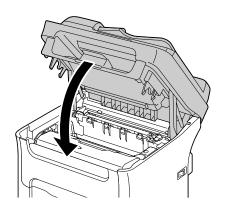
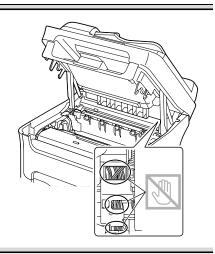
使用済みイメージングカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

3 新しいイメージングカートリッジを用意します。

ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

4 新しいイメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

5 スキャナユニットを静かに閉じます。

ご注意

右図の配線部には触らないように注意してください。

イメージングカートリッジ交換後、装置はキャリブレーションを行います。印刷可能な状態になる前にスキャナユニットや前カバーを開けると、キャリブレーションを停止し、スキャナユニットと前カバーを閉めた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

メンテナンス 8

装置のメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルは装置のカバー内部や装置本体の内部にあります。

装置を長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片が装置内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的に装置の清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

警告

清掃前には、装置の電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
装置内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。装置の損傷や感電のおそれがあります。

注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1時間お待ちください）。

- 装置内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- 装置の上に物を置かないでください。
- 装置の清掃には柔らかい布を使用してください。
- 装置の表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。装置のすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- 装置の清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、装置の目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- 装置の清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- 装置のカバーはゆっくり閉めてください。装置に振動を与えないようにしてください。
- 装置を使用後すぐにカバーなどをかけないでください。電源を切り、装置の温度が下がるまで待ってください。

- 装置のカバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってトナーカートリッジが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中は装置のいずれのカバーも開けないでください。
- 用紙を装置の上部にあててそろえないでください。
- 装置に油をさしたり、分解しないでください。
- 装置を傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。装置の故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- 装置を持ち上げるときは、右の図に示す位置を持ってください。
  トナーがこぼれないよう装置を水平にして運んでください。
- 装置を移動するときは、ダストカバーを外し、トレイ 1 をたたんでから運んでください。
- オプションの給紙ユニット、アタッチメント、両面プリントユニットを装着しているときは、装置から取り外して個別に運んでください。
- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

- 装置の電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

装置の清掃

注意

清掃前には装置の電源を切り、電源ケーブルを外してください。
ただし、プリントヘッドの清掃を行う場合は、装置の電源を入れた状態で行ってください。

装置外側の清掃

■ 操作パネル

■ 排気ダクト

■ 装置の外側

■ 原稿ガラス

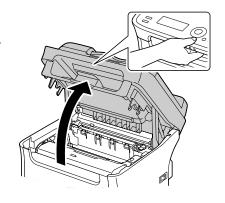
■ 原稿カバーパッド

給紙ローラーの清掃

給紙ローラー部に紙粉やほこりがたまると、給紙トラブルの原因になります。

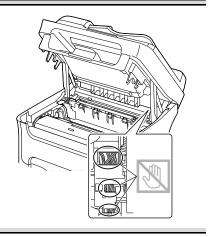
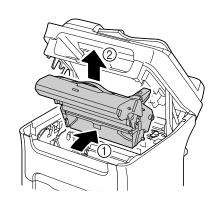
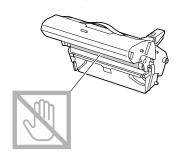
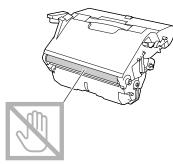
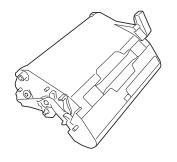
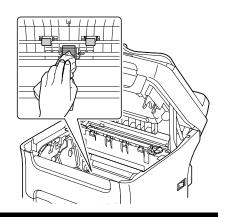
装置内部の給紙ローラーの清掃

1 スキャナユニットを開けます。

ADFおよび 排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除いてからスキャナユニットを開けてください。

ご注意

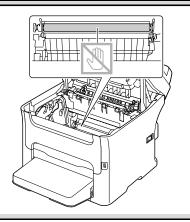
右図の配線部には触らないように注意してください。

2 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

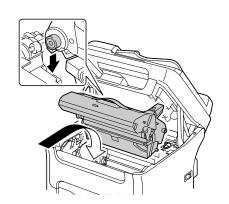
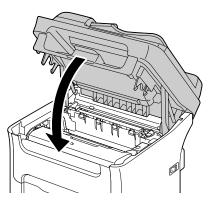
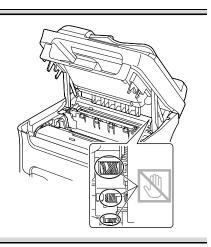
ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

取り外したイメージングカートリッジは右図の向きで置いてください。イメージングカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したイメージングカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。

3 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

注意

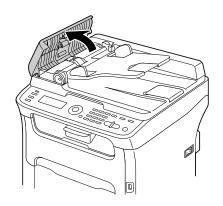
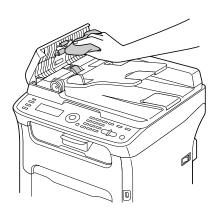
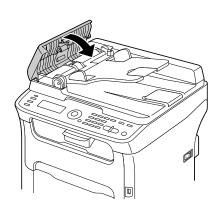
定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

4 イメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

5 スキャナユニットを静かに閉じます。

ご注意

右図の配線部には触らないように注意してください。

ADF の給紙ローラーの清掃

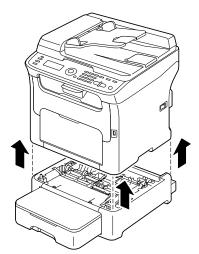
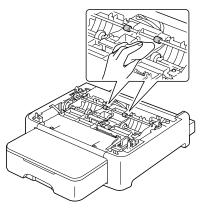
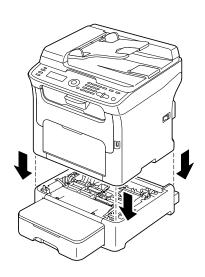
1 ADF カバーを開きます。

2 やわらかい乾いた布で、カバー裏側の給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

3 ADF カバーを閉じます。

トレイ 2 の給紙ローラーの清掃

トレイ 2 の給紙ローラーの清掃は、両面プリントユニットを取り外してから行ってください。

1 両面プリントユニットが装着されている場合は、両面プリントユニットを取り外します。

両面プリントユニットが装着されておらず、トレイ 2 の背面にロックピンが取り付けられている場合は、ロックピンを外します。ロックピンの取り付け口は、トレイ 2 の背面の左右に 1 つずつあります。
ロックピンを外すには、左右のいずれかの方向にロックピンを回し、ロックピンのつまみを垂直の向きにしてから抜いてください。

2 トレイ 1 のダストカバーを外し、トレイ 1 をたたみます。

3 装置本体を持ち上げてトレイ 2 から取り外し、安定した水平な場所に一時的に置きます。

4 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

5 装置を持ち上げてトレイ 2 に取り付けます。

6 トレイ 1 を開けて、ダストカバーを取り付けます。

7 手順 1 で両面プリントユニットを取り外した場合は、両面プリントユニットを取り付けます。

両面プリントユニットの取り付けについて詳しくは、「両面プリントユニットの取り付けかた」（p.352）をごらんください。

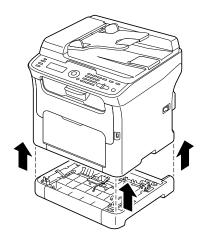
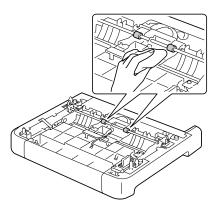
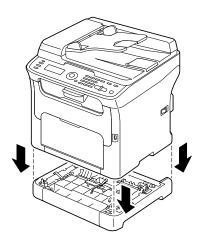
両面プリントユニットを取り付けない場合は、ロックピンを取り付けます。
ロックピンの取り付けについて詳しくは、「トレイ 2 の取り付けかた」（p.346）をごらんください。

アタッチメントの給紙ローラーの清掃

アタッチメントの給紙ローラーの清掃は、両面プリントユニットを取り外してから行ってください。

1 両面プリントユニットが装着されている場合は、両面プリントユニットを取り外します。

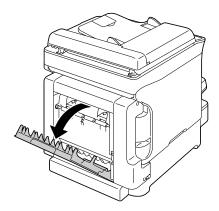
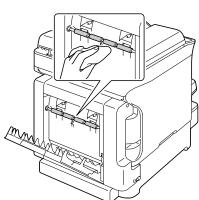
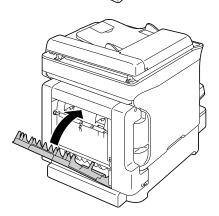
2 トレイ 1 のダストカバーを外し、トレイ 1 をたたみます。

3 装置本体を持ち上げてアタッチメントから取り外し、安定した水平な場所に一時的に置きます。

4 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

5 装置を持ち上げてアタッチメントに取り付けます。

6 トレイ 1 を開けて、ダストカバーを取り付けます。

7 手順 1 で両面プリントユニットを取り外した場合は、両面プリントユニットを取り付けます。

両面プリントユニットの取り付けについて詳しくは、「両面プリントユニットの取り付けかた」（p.352）をごらんください。

両面プリントユニットの搬送ローラーの清掃

1 両面プリントユニットのカバーを開きます。

2 搬送ローラーを柔らかい乾いた布で拭きます。

3 両面プリントユニットのカバーを閉じます。

プリントヘッドの清掃

プリントヘッドが汚れたまま使用すると、印字品質の問題が発生することがあります。

1 メイン画面で［◀］キーを押して、プリントモードメニューを表示します。

2 ［▼］キーを押して「ﾄﾅｰｺｳｶﾝ」を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［▼］キーを押して「P/H ｾｲｿｳ ﾓｰﾄﾞ」を選択し、［選択］キーを押します。

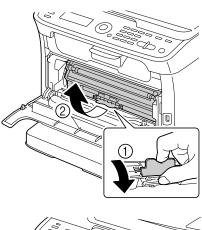
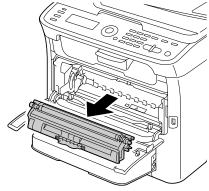
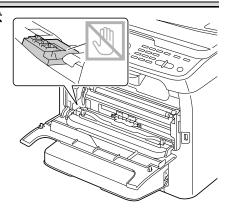
「P/H 清掃モード」は途中で終了できません（［ストップ / リセット］キーを押しても終了しません）。
誤って「P/H 清掃モード」に切り替えた場合は、（手順 8 ～ 10 を除く）手順 4 ～ 7 と 11 ～ 16 を行って、「P/H 清掃モード」を終了してください。

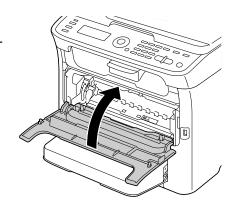
4 前カバーを開きます。

トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

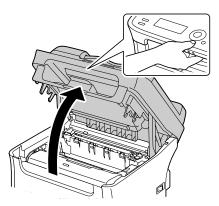
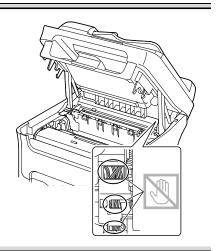
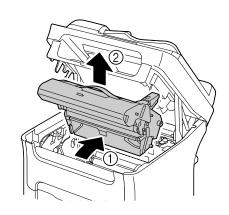
5 トナーの交換位置には、マゼンタのトナーカートリッジが来ています。
トナーカートリッジのロックが解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

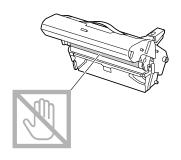
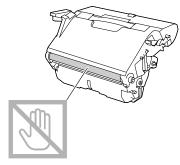
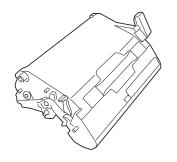
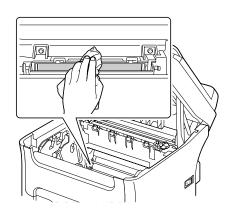
マゼンタのトナーカートリッジを取り外すことで、装置の内部に隙間ができ、プリントヘッドの清掃が行いやすくなります。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

6 前カバーを閉じます。

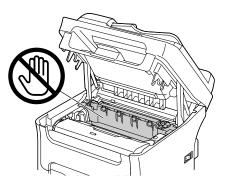
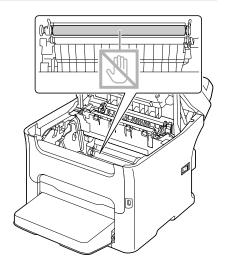
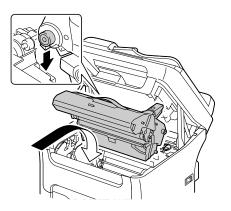
装置の内部でトナーカートリッジが回転します。

7 トナーカートリッジの回転が終了したら、スキャナユニットを開けます。

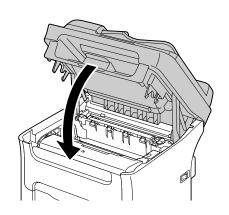
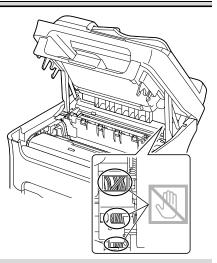
ADF および 排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除いてからスキャナユニットを開けてください。

ご注意

右図の配線部には触らないように注意してください。

8 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

取り外したイメージングカートリッジは右図の向きで置いてください。イメージングカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したイメージングカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。

9 やわらかい乾いた布でプリントヘッドの汚れを拭き取ります。

注意

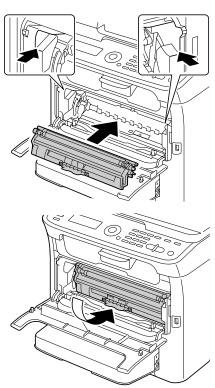
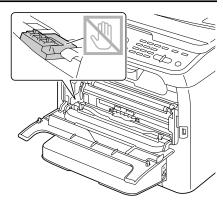
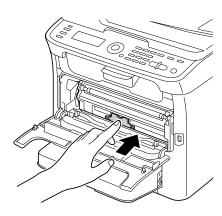
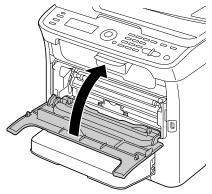
定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

10 イメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

11 スキャナユニットを静かに閉じます。

ご注意

右図の配線部には触らないように注意してください。

12 ［ストップ / リセット］キーを押します。

13 トナーカートリッジの回転が終了したら、前カバーを開けます。

14 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

15 マゼンタのトナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。

16 前カバーを閉じます。

9 トラブルシューティング

はじめに

この章では、本機使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

設定リストページを印刷する

1 メイン画面で［▲］、［▼］キーを押して「ﾚﾎﾟｰﾄ/ｽﾃｰﾀｽ」を選択し、［選択］キーを押します。

2 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾚﾎﾟｰﾄ」を選択し、［選択］キーを押します。

3 ［▲］、［▼］キーを押して「ﾌﾟﾘﾝﾀ ｾｯﾃｲ ﾘｽﾄ」を選択し、［選択］キーを押します。

4 ［スタート（カラー）］キーまたは［スタート（モノクロ）］キーを押します。

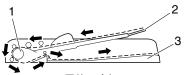
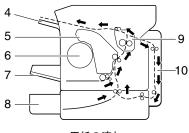
紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙は本機の仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
本機は表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
トレイ 1 に用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、本機の破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイに最大容量（100 枚）を超える印刷用紙を置いたままにしないでください。（紙づまりの原因になります。）

用紙送りの流れ

本機内部での用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

1 ADF 給紙ローラー
2 原稿給紙トレイ
3 原稿排出トレイ
4 排紙トレイ
5 イメージングカートリッジ
6 トナーカートリッジラック
7 トレイ 1（多目的トレイ）
8 トレイ 2（オプション）
9 定着ユニット
10 両面プリントユニット（オプション）

原稿の流れ

用紙の流れ

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。小さくても紙片が本機内に残ると、用紙送りができなくなり、紙づまりが再発する原因になります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、本機内部にトナーをこぼさないでください。

注意

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

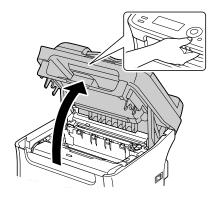
紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、本機のスキャナユニットの開閉を行ってください。

紙づまりのメッセージと処理について

紙づまりメッセージ	参照ページ
ｹﾞﾝｺｳ ｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ ｷｭｳｼｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 312
ｽｲｯﾁ ﾊﾞｯｸﾌﾞ ﾃﾞ ｼﾞｬﾑ ｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 300
ﾃｲﾁｬｸｷ ｼﾞｬﾑ ｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 300
ﾄﾚｲ 2 ﾃﾞ ｼﾞｬﾑ ｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 308
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ (1XX) (ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ)	このメッセージは、次のいずれかの場合に表示されます。 ■ トレイ 1 に用紙がセットされていない場合 ■ トレイ 1 で紙づまりが発生している場合 前者の場合は、トレイ 1 に用紙をセットして［スタート］キーを押してください。 後者の場合は、307 ページをごらんください。
ﾊｲｼﾌﾞ ﾃﾞ ｼﾞｬﾑ ｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 300
ﾘｮｳﾒﾝ ﾕﾆｯﾄ ｼﾞｬﾑ ｶﾊﾞｰ ｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 300 および p. 314
ﾘｮｳﾒﾝ ﾕﾆｯﾄ ｼﾞｬﾑ ﾘｮｳﾒﾝ ｶﾊﾞｰｦ ｱｹﾃｸﾀﾞｻｲ	p. 314

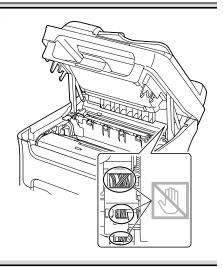
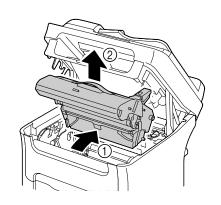
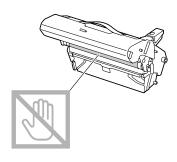
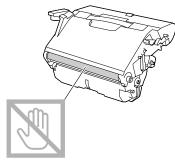
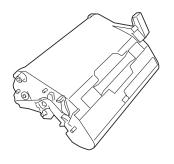
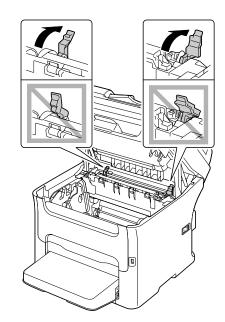
装置内部での紙づまり処理

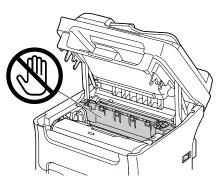
1 スキャナユニットを開けます。

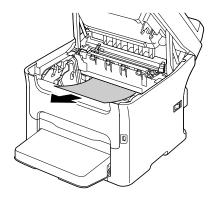
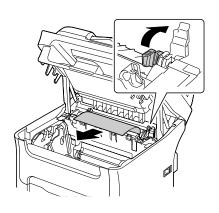
ADFおよび 排紙トレイに用紙がある場合は、用紙を取り除いてからスキャナユニットを開けてください。

ご注意

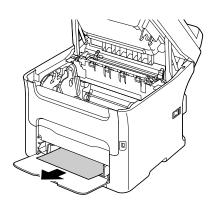
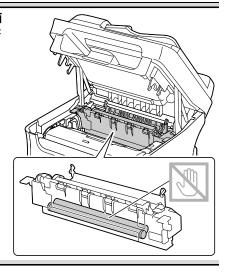
右図の配線部には触らないように注意してください。

2 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

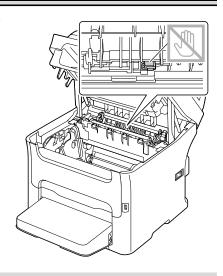
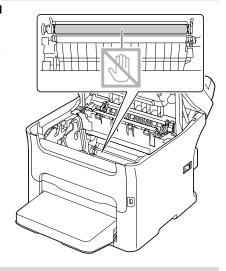
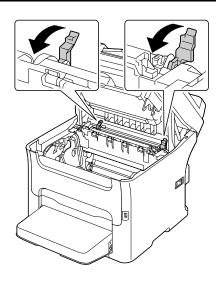
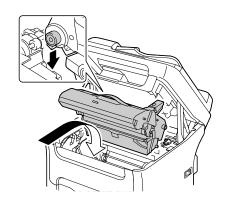
ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

取り外したイメージングカートリッジは右図の向きで置いてください。
イメージングカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したイメージングカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。

3 左右の定着離間レバーをできるだけ押し上げます。

注意

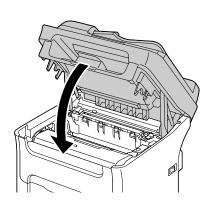
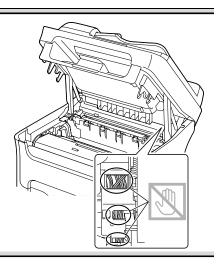
定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

4 つまっている用紙を取り除きます。

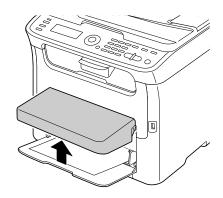
定着ユニット付近で紙づまりが発生している場合、通常は、右のイラストのように定着ユニットの手前方向から用紙を抜き取ってください。

定着ユニットの手前方向から用紙をうまく抜き取れない場合は、定着レバーを持って定着ユニットのカバーを上げ、定着ユニットの奥方向から用紙を抜き取ってください。

トレイ 1 のダストカバーを外して、用紙を抜き取ります。

ご注意

定着ユニットの定着ローラーの表面には触れないように注意してください。

ご注意

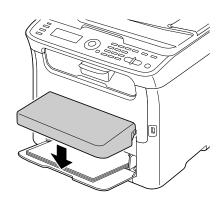
定着ユニットの排紙センサーには触れないように注意してください。

ご注意

転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

5 左右の定着離間レバーを元の位置に戻します。

6 イメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

7 スキャナユニットを静かに閉じます。

ご注意

右図の配線部には触らないように注意してください。

トレイ 1 での紙づまり処理

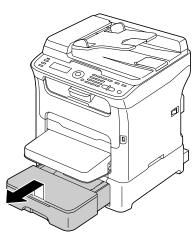
1 ダストカバーを取り外します。

2 つまった用紙をゆっくりと引出します。

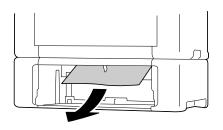
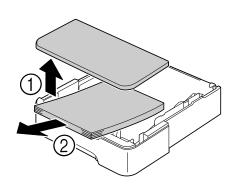
用紙が抜き取れない場合は、無理に引き抜かず、「装置内部での紙づまり処理」（p.300）の手順に従って、用紙を取り除いてください。

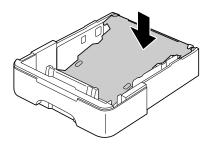
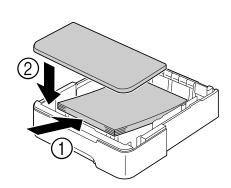
3 ダストカバーを取り付けます。

4 ［スタート］キーを押します。

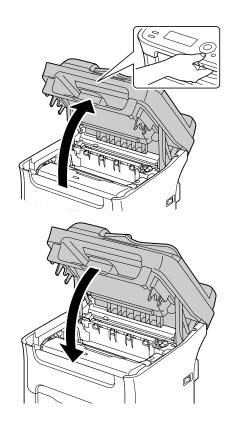
トレイ 2（オプションの給紙ユニット）での紙づまり処理

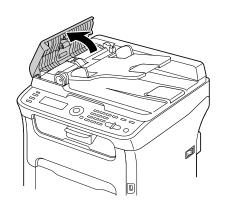
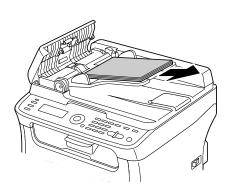
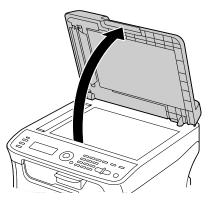
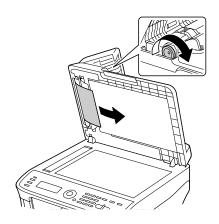
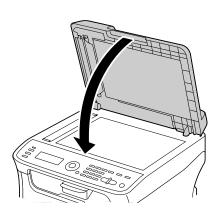
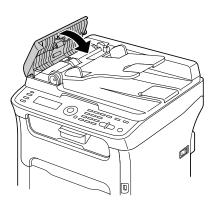
1 トレイ 2 を止まる位置まで引き出します。

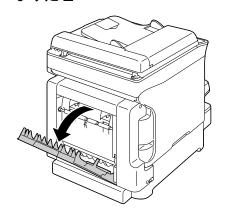
2 上に持ち上げながらトレイ 2 を引き抜きます。

3 つまっている用紙を取り除きます。

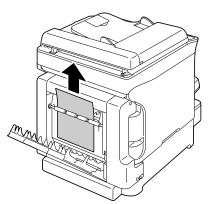
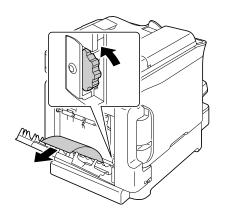
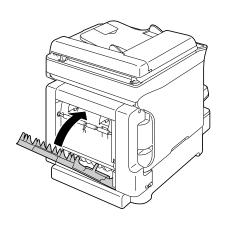
 必要に応じて、ダストカバーを外してトレイ 1 を閉じてください。

4 トレイ２のふたを取り外し、用紙を取り出します。

5 用紙をさばき、端を揃えます。

6 押し上げ板をロックするまで押し下げます。

7 トレイ 2 に用紙をセットし、ふたを取り付けます。

8 トレイ 2 を戻します。

9 スキャナユニットを開閉して、装置の状態をリセットします。

ADF での紙づまり処理

1 ADF カバーを開きます。

2 ADF の原稿給紙トレイから残っている原稿を取り除きます。

3 ADF を開きます。

4 原稿送りダイアルを図の方向に回し、つまっている原稿を取り出します。

5 ADF を閉じます。

6 ADF カバーを閉じます。

両面プリントユニットでの紙づまり処理

1 両面プリントユニットのカバーを開きます。

2 つまっている用紙をゆっくりと引出します。

用紙は、必ず図に示している方向に引出してください。

下側の通紙口に用紙が詰まっている場合で、用紙の端が少ししか出ていないために用紙を引出せない場合は、用紙が引出せるようになるまで、右にあるダイヤルを矢印の方向に回してください。

3 両面プリントユニットのカバーを閉じます。

紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙や原稿を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
ADF で紙づまりが起きている	ガイド板の幅が、原稿サイズに合うように調節されていない。	ADF のガイド板を原稿サイズに合うように調節してください。 詳しくは「原稿をセットする」（p.127）をごらんください。
	原稿の枚数が最大積載量を超えている。	最大積載量を超えている原稿を取り除き、ADF の原稿枚数を減らしてセットしなおしてください。 最大積載量については 、「原稿について」（p.125）をごらんください。
	対応していない原稿を使用している。	本機が対応する原稿を使用してください。原稿の種類については 、「原稿について」（p.125）をごらんください。
紙づまりが起きる	ラベル用紙が、トレイ 1 に逆向きにセットされている。	ラベル用紙の向きを正しい向きにセットしてください。
	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 詳しくは、「給紙ローラーの清掃」（p.273）をごらんください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙」（p.102）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	トレイ 2 に封筒、ラベル用紙、はがき、レターヘッド、厚紙がセットされている。	普通紙以外の用紙はトレイ 1 にセットしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大補給量を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	封筒がトレイ 1 に正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを下側にしてセットしてください。
		フタを本機に向けてセットしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
紙づまりのメッセージが消えない	装置内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
	装置をリセットする必要がある。	スキャナユニットを開閉してリセットしてください。
複数の用紙が重なって給紙される	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	給紙トレイ内で用紙がくっついている。	用紙をよくさばいてからセットしなおしてください。

症状	原因	処置のしかた
両面印刷の紙づまりが起きている	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	厚紙や封筒、ラベル用紙、レターヘッド、はがきを両面印刷に使用しないでください。
		A4 またはレターサイズの普通紙（リサイクル紙）を使用し、プリンタドライバで用紙種類を正しく設定してください。それ以外の用紙は使用しないでください。
		異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については 、「使用できる用紙」（p.102）をごらんください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

その他の問題

症状	原因	処置のしかた
2in1 コピーを実行すると画像が欠ける	封筒に印刷する際、倍率を設定してから 2in1 コピーを設定した。	2in1 コピーが設定されると、本機は倍率を自動的に調整します。封筒など、印刷可能領域が狭い用紙に 2in1 コピーを行う場合は、最初に 2in1 コピーを設定してから、必要に応じて倍率を調整してください。
ADF から 600dpi でスキャンしたら、画像が薄くなり、下地が黒ずんだ	電源を入れた直後などは、ランプ光量が上がっているため、画像が薄くなり、下地が黒ずむ可能性がある。	画像が薄く、黒ずむ場合は、原稿ガラスからスキャンしてください。また電源を入れ、1 時間半以上ランプを点灯させてから、スキャンしてください。
ADF からコピーまたはスキャンしたとき、用紙や画像の後端（5、6mm）に帯が入る	ADF 搬送時に何らかの不具合が発生した可能性がある。	コピーで用紙に帯が入る場合は、コピー濃度を 1 ステップ濃くしてください。 スキャニングで画像に帯が入る場合は、原稿ガラスからスキャンしてください。
ADF を使ってコピーできない	ADF に封筒 DL、封筒洋形 2 号のいずれかがセットされている。	原稿を原稿ガラスにセットしてください。封筒 DL をコピーする場合、原稿の一部が欠けることがあります。
Web ベースのユーティリティで装置にアクセスできない	PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）が正しくない。	4 ～ 8 文字のアドミンパスワード（管理者番号）を入力してください。アドミンパスワード（管理者番号）については管理者に確認してください。 PageScope Web Connection のアドミンパスワード（管理者番号）については「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
異常音がする	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	装置が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	装置内に異物がある。	本機の電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
プリントジョブを送信しても印刷されない	メッセージウィンドウにエラーメッセージが表示されている。	表示されているメッセージにしたがって、エラーを解決してください。
印刷されないページがある	フォームを設定して印刷しようとしたときに、不適切なプリンタドライバで作成されたフォームファイルが選択されている。	フォームを設定する場合は、適切なプリンタドライバで書き出したフォームファイルを使用してください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	別のユーザによりプリントジョブが途中でキャンセルされた。	印刷操作を再度実行し、残りのページを印刷してください。

症状	原因	処置のしかた
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙など）に設定されている。	厚紙などの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで「用紙種類」が普通紙に設定されているか確認してください。
	コピーモードでプリントジョブを転送中にエラーが検出された。	エラー処理および印刷を再開するのに時間を要します。お待ちください。
	仕向け違いまたはコニカミノルタ純正以外のトナーカートリッジがセットされている。 メッセージウィンドウに「ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽX」と表示される。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジをセットしてください。
	装置が節電中（スリープモード）になっている。	本機が節電中（スリープモード）の場合、印刷するまでに少し時間がかかります。 お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
小冊子印刷時に、左綴じ／右綴じの設定通りに印刷されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	小冊子（左とじ／右とじ）印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
設定リストが印刷されない	紙づまりがおきている。	つまっている用紙を取り除いてください。
	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
スキャンした画像にノイズが入る	スキャンモードが「ﾐｯｸｽ」または「ﾓｼﾞ」に設定されている状態で、解像度が「150×150dpi」に設定されている。	スキャンモードを「ｼｬｼﾝ」に設定してください。
スキャンした画像の一部が欠ける	Macintosh 版の Acrobat 8 を使用している。	Acrobat のスキャン設定で、OCR 機能とフィルタ機能を無効にしてください。
装置の電源が入らない	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数が装置の仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.356）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
トレイ 1 の用紙種類または用紙サイズを変更すると、「ﾌｧｸｽ ﾓｰﾄﾞ ｶｸﾆﾝ」が表示される	ファクスを受信したとき、設定されている用紙種類または用紙サイズでは印刷できない。 しかし、コピー、印刷はできる。	［ファクス］キーを押してエラー内容を確認してください。 受信されたファクスを印刷するには、用紙種類を、「ﾌﾂｳｼ」に、用紙サイズを「A4」、「ﾚﾀｰ」または「ﾘｰｶﾞﾙ」に変更してください。

症状	原因	処置のしかた
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで「用紙種類」が、本機にセットされている用紙と合っているか確認してください。
頻繁に装置がリセットされたり電源が切れたりする	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
ページ割付設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で部単位印刷の設定がされている。	ページ割付設定で 2 部以上の印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
用紙にしわができる	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている可能性がある。	転写ローラーおよび定着ユニットに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる用紙」（p.102）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに「ﾄﾅｰﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ X」が表示される	多量のトナーを使用する画像を印刷している。	付録「技術仕様」（p.356）をごらんください。
	トナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。 両面印刷では A4 またはレターサイズの普通紙を使用してください。その他のサイズの普通紙や、厚紙、封筒、ラベル用紙、はがき、レターヘッドでは両面印刷しないでください。 トレイに異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		プリンタドライバの「レイアウト」タブの「印刷面」で「短辺綴じ」（メモ帳のように縦にめくる）または「長辺綴じ」（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		ページ割付設定で両面印刷を行う場合、部単位印刷の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。
		両面コピーの設定を正しく行ってください。 詳しくは、「両面コピーの設定」（p.151）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
USB メモリにスキャンデータを転送するのに時間がかかりすぎる	USB メモリによっては応答時間が遅いものがある。	転送が完了するまでお待ちください。
スキャンモードあるいはファクスモードに切り替えることができない	コピーモードでエラーが発生している。	エラーを解除してからモードを切り替えてください。
操作パネルで表示される文字やメッセージが日本語ではない	操作パネルの言語設定が間違っている。	操作パネルの言語設定を「JAPANESE（ﾆﾎﾝｺﾞ）」に設定してください。詳しくは「ｹﾞﾝｺﾞ (LANGUAGE)」（p.71）をごらんください。
印刷時に天地が逆で印刷されてしまう	縦書き封筒を使う場合、天地が逆になることがある。	プリンタドライバの［レイアウト］タブより「180 度回転」をチェックし、印刷してください。

印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
印刷が薄い Printer	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	コピーの濃度設定が薄すぎる。	コピーの濃度を濃く設定してください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	封筒、ラベル用紙、はがき、レターヘッド、厚紙に印刷する場合は、プリンタドライバで「用紙種類」を指定してください。
	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
印刷が濃い Printer Printer Printer Printer	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	原稿が原稿ガラスから浮き上がっている	原稿が原稿ガラスに密着するようにセットしてください。 詳しくは、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p.127）をごらんください。
	コピーの濃度設定が濃すぎる。	コピーの濃度を薄く設定してください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが正しく装着されていない。	イメージングカートリッジを取り出し、再度装着してください。
	階調補正が正しく行われていない。	操作パネルでｾｯﾃｨ（UTILITY）/ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｨ（L）/ ｶｲﾁｮｳ ﾎｾｲを「ｵﾝ」に設定し、AIDC カラーキャリブレーションを実行してください。詳しくは、「本体設定メニュー」（p.70）をごらんください。
	キャリブレーション中にスキャナユニットまたは前カバーを開けた。	
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける Printer Printer Printer Printer	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある Printer Printer Printer Printer	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	原稿カバーパッドが汚れている。	原稿カバーパッドを清掃してください。 詳しくは「装置外側の清掃」（p.272）をごらんください
	原稿ガラスが汚れている。	原稿ガラスを清掃してください。 詳しくは「装置外側の清掃」（p.272）をごらんください。

症状	原因	処置のしかた
画像にムラがある、または一部分が欠ける Pri... Printer ...er Printer	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙」（p.102）をごらんください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
しみやカスの汚れがある Printer	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう Printer	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙」（p.102）をごらんください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	封筒、ラベル用紙、はがき、レターヘッド、厚紙に印刷する場合は、プリンタドライバで「用紙種類」を指定してください。

症状	原因	処置のしかた
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
何も印刷されない	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際に装置にセットされている用紙が合っていない。	本機に正しい用紙をセットしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。

症状	原因	処置のしかた
濃度が均一でない	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	装置が水平に置かれていない。	装置を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
まっ黒または一面カラーで印刷される	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく）	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。
		給紙ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。

症状	原因	処置のしかた
横方向に線や帯が現れる	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	装置が水平に置かれていない。	本機を平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
横方向に等間隔で白薄い横線が現れる	トナーの付着が不均一である。	「ｾｯﾃｲ（UTILITY）/ ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ（L）/ ｶﾞｿﾞｳ ﾘﾌﾚｯｼｭ」を実行してください。 症状が改善されない場合は、販売店もしくは弊社に連絡してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「製品サポートとサービスのご案内」をごらんください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。本機の情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

ステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
（表示なし）	節電機能（スリープモード）がはたらいています。節電中は本機の消費電力が減少します。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
PC ｽｷｬﾝ ｷｬﾝｾﾙ	ドライバからスキャンジョブがキャンセルされました。	
ｳｫｰﾑｱｯﾌﾟ ﾁｭｳ	ウォームアップ中、AIDC 実行中に表示されます。	
ｳｹﾂｹﾏｼﾀ	設定が確定されました。	
ｹﾝｻｸﾁｭｳ	データを検索中です。	
ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ !	AIDC カラーキャリブレーションを実行中です。 本機は次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。 • 電源オン時 • 節電（スリープ）モード復帰時 • 設定変更後の再起動時 • トナーカートリッジ交換時 この処理は、本機の印刷品質を最適に保つために行われます。	
ｽｷｬﾝﾁｭｳ	原稿を読み込み中です。	
ﾃﾞｰﾀ ｼﾞｭｼﾝ ﾁｭｳ	データを受信中です。	
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾀｲｷ ﾁｭｳ	印刷待ち状態です。	
ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ	印刷中です。	
ﾖﾔｸ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ	予約されているジョブがありません。	

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾘﾌﾚｯｼｭﾁｭｳ	トナーの付着を調整しています。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。

エラーメッセージ

ファクスのエラーメッセージについては、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

メッセージ	意味	処置のしかた
10 ｷｰ ﾆ ﾖﾙ ｱｲﾃｻｷ ｶﾞ 16 ｹﾝ ｦ ｺｴﾏｼﾀ	直接入力でメールアドレス（直接入力および LDAP 検索で指定したメールアドレスの合計）が 16 件を超えました。	メールアドレスの数を 16 件以内に設定してください。
IP ｱﾄﾞﾚｽ ｼｭﾄｸﾃﾞｷﾏｾﾝ xxx ｻｰﾊﾞ	DNS サーバから表示されているサーバのアドレスを取得できません。	「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ」と関連設定を確認し、再度送信してください。
I/C ｶﾞ ｼｭｳﾘｮｳｼﾏｼﾀ	イメージングカートリッジが寿命です。	イメージングカートリッジを交換してください。 印刷は継続できますが、印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると「I/C ｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ / I/C ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」を表示し、印刷が停止します。
I/C ｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ I/C ｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	イメージングカートリッジが寿命です。	イメージングカートリッジを交換してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
I/C ｶﾞ ﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ	イメージングカートリッジの残りが少なくなりました。	イメージングカートリッジを用意してください。 印刷は継続出来ますが、印刷結果は保証されませんので、新しいイメージングカートリッジへの交換を推奨致します。
PC ｾﾂｿﾞｸ ｼｯﾊﾟｲ	スキャンしたデータを送信中に、コンピュータとの接続が切断されました。	コンピュータとの接続およびスキャナドライバの状態を確認し、再度送信してください。
TCP/IP ｶﾞ ﾑｺｳ ﾃﾞｽ	TCP/IP の設定が無効になっています。	TCP/IP の設定を有効にしてください。
T/C ﾒﾓﾘｰ ｴﾗｰ	トナーカートリッジのメモリーエラーが発生しました。	トナーカートリッジを取り外して、セットし直してください。
USB ﾊﾌﾞﾊ ｻﾎﾟｰﾄｶﾞｲﾃﾞｽ	USB ポートにハブが接続されました。	USB ハブは接続できません。
USB ﾒﾓﾘ ｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	本機に接続した USB メモリに空きスペースがありません。	USB メモリのデータを削除して空きスペースを確保するか、別の USB メモリを使用してください。
Video I/F ｴﾗｰ	装置内でビデオインターフェースエラーが発生しました。	本機の電源をオフにして、数秒後にオンにしてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
xxx ｶﾊﾞｰ ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ xxx ｶﾊﾞｰ ｦ ｼﾒﾃｸﾀﾞｻｲ	表示されているカバーが開いています。	表示されているカバーを閉じてください。
	イメージングカートリッジが装着されていません。	イメージングカートリッジを装着してください。
	仕向け違いまたはコニカミノルタ純正以外のイメージングカートリッジがセットされている。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのイメージングカートリッジをセットしてください。
xxx ｻｰﾊﾞ ｴﾗｰ	表示されているサーバにファイルを保存することができません。	表示されているサーバの状態を確認してください。
xxxxx ｻﾎﾟｰﾄ ｼﾃｲﾏｾﾝ!	設定した用紙サイズへのリピートコピーは実行できません。	リピートコピーが実行可能な最大用紙サイズは A4 サイズです。 A4 サイズ以下の用紙サイズを設定してください。
xxxx ｦ ﾕｳｺｳ ﾆ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	FTP、SMTP、または SMB の設定が無効になっています。	FTP、SMTP、または SMB の設定を有効にしてください。
ｱﾃｻｷｶﾞ ﾅｶﾞｽｷﾞﾏｽ	LDAP サーバから取得した、メールアドレスの文字数が 64 文字を超えています。	本機が扱えるアドレスの文字数は 64 文字までです。文字数の少ない別のアドレスを使用してください。
ｹﾞﾝｺｳ xx ﾏｲ ｦ ADF ﾆ ﾓﾄﾞｼﾃ ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF の紙づまりを処理した後に、ADF に戻す原稿の枚数が表示されています。	xx に表示された枚数の原稿を ADF に戻して、［スタート］キーを押してください。
ｹﾞﾝｺｳｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	原稿ガラスからのスキャンが必要な機能で、原稿が ADF にセットされています。	原稿を原稿ガラスにセットしてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｹﾝｻｸ ｶﾉｳｽｳ ｦ ｺｴﾏｽ xxx	LDAP 検索の結果が、「LDAP ｾｯﾃｲ」の「ｻｲﾀﾞｲ ｹﾝｻｸ ｽｳ」で設定した上限値を超えています。	上限値の設定を変更するか、検索方法を変更して（キーワードの文字数を増やすなど）、LDAP 検索を再度実行してください。
ｹﾝｻｸ ｼﾞｶﾝｷﾞﾚ	LDAP サーバとの通信時間がタイムアウトしました。	LDAP サーバに再接続してください。
ｻｰﾊﾞ ﾒﾓﾘﾌﾞｿｸ SMTP ｻｰﾊﾞ	SMTP サーバのメモリがいっぱいになっています。	ネットワーク管理者に連絡し、ディスクの空きスペースを確保してください。
ｻｲﾃｷﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ (xxx)	印刷対象に対して適切な用紙がトレイにセットされていません。	適切な用紙をトレイにセットし、操作パネルでセットした用紙サイズを再設定してください。
ｻｲﾃｷﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾘｮｳﾒﾝ ｾｯﾃｲ ｦ ｶｸﾆﾝ	両面印刷が設定されていますが、両面印刷に対応していない用紙種類または用紙サイズが選択されています。	A4 またはレターサイズの普通紙を選択するか片面印刷に切り替えて、プリントジョブを再度実行してください。
ｻﾎﾟｰﾄｶﾞｲﾉ USB ﾃﾞﾊﾞｲｽ	本機にサポートされていないデバイスが接続されました。	サポートされていないデバイスは接続できません。
ｼﾞｮﾌﾞ ｦ ｷｬﾝｾﾙｼﾏｼﾀ	原稿ガラスでスキャンを実行している時に、最初の原稿の読み込みが完了してから 1 分以上、原稿の読み込み、またはデータ送信が行われなかった場合、スキャンしたジョブは自動的にキャンセルされます。	本機の電源をオフにして、数秒後にオンにしてください。 複数ページの原稿（本など）を原稿ガラスでスキャンする場合は、最初のページをスキャンしてから 1 分以内に次ページをスキャンしてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｾﾂﾀﾞﾝ ｻﾚﾏｼﾀ USB ﾒﾓﾘ	USB メモリとの接続が切断されました。	USB メモリの接続を確認し、再度送信してください。
ｾﾂﾀﾞﾝ ｻﾚﾏｼﾀ xxx ｻｰﾊﾞ	表示されているサーバとの接続が切断されました。	「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ」と関連設定を確認し、再度接続してください。
ｾﾂｿﾞｸ ﾃﾞｷﾏｾﾝ xxx ｻｰﾊﾞ	表示されているサーバに接続できません。	「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ」と関連設定を確認し、再度接続してください。
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ USB ﾒﾓﾘ	スキャンしたデータを送信中に、USB メモリとの接続が切断されました。	USB メモリの接続を確認し、再度送信してください。
ﾂｳｼﾝ ｴﾗｰ xxx ｻｰﾊﾞ	スキャンしたデータを送信中に、表示されているサーバとの接続が切断されました。	「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ」と関連設定を確認し、再度送信してください。
ﾄｳﾛｸｶﾉｳｹﾝｽｳｦ ｺｴﾏｼﾀ	スキャンデータの送信先が上限の 236 件に達しています。	いったん送信してから再度スキャンを行うか、不要な送信先を削除してから送信先を追加してください。
ﾄｳﾛｸ ｻﾚﾃｲﾏｾﾝ	短縮ダイアルとグループダイアルが 1 つも登録されていません。 または、指定した番号の短縮ダイアルまたはグループダイアルには宛先が登録されていません。	スキャンデータの送信先を直接入力するか、短縮ダイアルまたはグループダイアルを登録してから送信先を再度設定してください。
ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ x	トナーカートリッジがコニカミノルタの純正品ではありません。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを装着してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾄﾅｰ ｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ x ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	表示されているトナーカートリッジのトナーが寿命です。	表示されているトナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ x	表示されているトナーカートリッジのトナーが寿命です。 （このメッセージは「ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ (L)」の「ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ ｾｯﾃｲ」が「ｵﾌ」に設定されている場合に表示されます。）	表示されているトナーカートリッジを交換してください。 印刷は継続できますが、印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると「ﾄﾅｰ ｶﾞ ｼﾞｭﾐｮｳﾃﾞｽ / x ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」を表示し、印刷が停止します。
ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ x ﾄﾅｰｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	表示されているトナーカートリッジのトナーが寿命です。 （このメッセージは「ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ (L) 」の「ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ ｾｯﾃｲ」が「ｵﾝ」に設定されている場合に表示されます。）	表示されているトナーカートリッジを交換してください。 「ﾏｼﾝ ｾｯﾃｲ (L)」の「ﾄﾅｰｴﾝﾌﾟﾃｨ ｾｯﾃｲ」を「ｵﾌ」に設定すると、印刷を継続できますが、印刷結果は保証されません。
ﾄﾅｰ ｶﾞ ﾊｲｯﾃｲﾏｾﾝ x ｶｸﾆﾝ	表示されているトナーカートリッジが装着されていません。	表示されているトナーカートリッジを装着してください。
ﾄﾅｰﾉｺﾘﾜｽﾞｶﾃﾞｽ x	表示されているトナーカートリッジの残りが少なくなりました。	表示されているトナーカートリッジを用意してください。
ﾄﾚｲ 2 ｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ ﾄﾚｲ 2 ｦ ﾄｼﾞﾃｸﾀﾞｻｲ	トレイ 2 が開いています。	トレイ 2 を閉じてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾄﾚｲﾉ ﾖｳｼｦ ｶｸﾆﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ (1xx) (ｽﾀｰﾄｷｰ ｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ)	トレイ 1 の用紙が切れています。	トレイ 1 に用紙を補充し、[スタート] キーを押してください。
	トレイ 1 で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除いて、[スタート] キーを押してください。
ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ネットワークの設定が完了していません。	スキャンデータをネットワーク経由で送信するには、あらかじめ「ﾈｯﾄﾜｰｸ ｾｯﾃｲ」、「ﾒｰﾙ ｾｯﾃｲ」でネットワークに関する設定を行ってください。
ﾊｲｼ ﾄﾚｲ ｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ ﾖｳｼ ｦ ﾄﾘﾉｿﾞｲﾃｸﾀﾞｻｲ	排紙トレイがいっぱいになりました。	排紙トレイから用紙を取り除いてください。
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ xxx ｻｰﾊﾞ	パスワードが間違っているため、表示されているサーバにアクセスできません。	パスワードを確認し、設定しなおしてください。
ﾌｧｲﾙ ﾌﾙ	イメージデータファイルの合計数が上限に達しています。	本機の電源をオフにして、数秒後にオンにしてください。 解像度を低く設定するなど、データ容量を少なくしてから再度スキャンしてください。
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾓｰﾄﾞ ｶｸﾆﾝ	印刷中になんらかのエラーが発生しました。	[◀] キーを押して、エラーの状態を確認してください。
ﾌﾟﾛｾｽ ｴﾗｰ (IDC)	装置内でプロセスエラーが発生しました。	スキャナユニットを開閉して、装置をリセットしてください。
ﾌﾟﾛｾｽ ｴﾗｰ (xxx) ｶﾊﾞｰ ｦ ｿｳｻ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ		

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ ﾃﾞﾊ ｱﾘﾏｾﾝ	スキャンデータ送信先アドレスを設定する際に、ファクス番号が登録されているお気に入り、短縮ダイアル、グループダイアルを設定しようとしました。	スキャンデータの送信先を直接入力するか、メールアドレスが登録されているお気に入り、短縮ダイアル、グループダイアルを設定してください。
	スキャンデータの送信先にメールアドレスを指定している状態で、FTP アドレスまたは SMB アドレスを追加しようとしました。	スキャンデータの送信先に FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定する場合は、1 つのアドレスしか指定できません。 メールアドレスをすべて削除してから、FTP アドレスまたは SMB アドレスを指定してください。または、メールアドレスへのスキャンデータの送信と、FTP アドレスまたは SMB アドレスへのスキャンデータの送信を別々に実行してください。
ﾒﾓﾘﾌﾞｿｸ ﾃﾞｽ	受信データの合計サイズが、メモリの容量を超えています。	本機の電源をオフにして、数秒後にオンにしてください。 解像度を低く設定するなど、データ容量を少なくしてから再度スキャンしてください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾖｳｼ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ ﾖｳｼ ｦ ﾎｷｭｳ (²xx)	トレイ 2 の用紙が切れています。	トレイ 2 に用紙を補充してください。
ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ ｴﾗｰ ﾖｳｼ ｦ ｶｸﾆﾝ (xxx)	プリンタドライバで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷されました。	［スタート］キーを押して、エラー状態を解除してください。 プリンタドライバで設定したサイズの用紙に印刷したい場合は、正しいサイズの用紙をトレイにセットして、プリントジョブを再度実行してください。

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。このメッセージが表示された場合は、本機を再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店または弊社に連絡してください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾏｼﾝ ﾄﾗﾌﾞﾙ ｻｰﾋﾞｽﾏﾝ ﾆ ﾚﾝﾗｸ (xxxx)	サービスメッセージ内に表示されている“xxxx”のエラーが検出されました。	本機を再起動してください。多くの場合、これによりサービスメッセージが消え、本機は復旧します。 それでもメッセージが消えない場合には、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。

10 オプションの取り付け

はじめに

ご注意

本機は、純正品／推奨品以外のオプションの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。

オプション名	説明
トレイ 2	500 枚給紙トレイ
両面プリントユニット	自動で用紙の両面に印刷することができます。 両面プリントユニットを装着するには、本機にトレイ 2 が装着されている必要があります。
両面プリントユニットおよびアタッチメント	自動で用紙の両面に印刷することができます。 アタッチメントは、装置に両面プリントユニットを装着するためのインターフェースユニットです。 取り付けの順番は、最初にアタッチメントを取り付け、次に両面プリントユニットを取り付けます。

ご注意

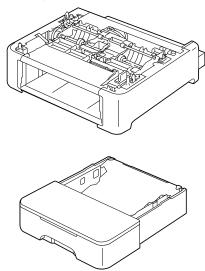
オプションを取り付ける際は、必ず本機の電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

オプションについて詳しくは、http://printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

給紙ユニット（トレイ 2）の取り付け

給紙ユニット（トレイ 2）を取り付けることができます。給紙ユニットには用紙を 500 枚までセットできます。

給紙ユニットの構成

■ 給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）

トレイ 2 の取り付けかた

ご注意

本機には消耗品が取り付けられているため、本機を動かすときは、トナーがこぼれないよう本機を水平にして運んでください。

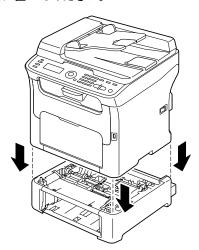
---

1 本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

2 トレイ 1 のダストカバーを取り外します。
トレイ 1 と排紙トレイををたたみます。

3 給紙ユニットを用意します。

給紙ユニットは必ず平らな場所に置いてください。

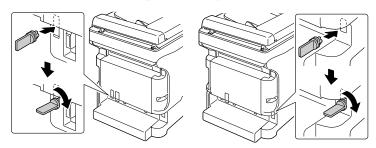
4 本機を持ち上げ、給紙ユニットの位置決めピンを本機の底の受け穴にあわせて正しくセットします。

本機の重量は消耗品を含めて約 20.8 kg です。

5 トレイ 1 を開けて、ダストカバーを取り付けます。

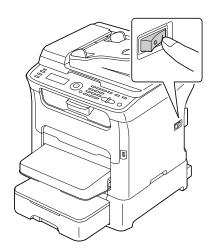
6 トレイ 2 に用紙をセットします。
用紙のセット方法は、「用紙のセット」の「トレイ 2」（p.118）をごらんください。

7 トレイ 2 を本機に差し込みます。

8 両面プリントユニットを取り付けない場合は、ロックピンを取り付けます。ロックピンは、給紙ユニット背面の左右の取り付け口に 1 つずつ取り付けます。
ロックピンのつまみを垂直の向きで持ち、給紙ユニット背面の左または右の取り付け口に差し込みます。ロックピンを押し込んで、左右のいずれかの方向に回し、つまみの向きが水平になったところで手をはなします。
左右の取り付け口にロックピンを取り付けると、装置本体と給紙ユニットの装着にロックがかかって外れなくなります。

両面プリントユニットを取り付ける場合は、この手順は不要です。

本機から給紙ユニットを取り外す場合は、給紙ユニット背面の左右のロックピンを外してから、給紙ユニットを取り外してください。
ロックピンを外すには、左右のいずれかの方向にロックピンを回し、ロックピンのつまみを垂直の向きにしてから抜いてください。

9 インターフェースケーブルを接続します。

10 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

両面プリントユニットの取り付け

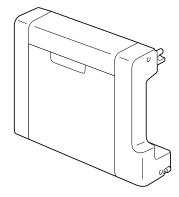
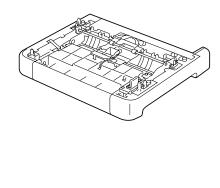
両面プリントユニットを装着すると、両面印刷を行うことが可能です。

詳しくは、「両面印刷」（p.121）をごらんください。

両面プリントユニットを取り付けるには、次のいずれかが本機に装着されている必要があります。

- 給紙ユニット（トレイ 2）
- アタッチメント

両面プリントユニットの構成

両面プリントユニット

給紙ユニット（トレイ 2）を装着している場合は、アタッチメントを取り付ける必要はありません。この場合は、「アタッチメントの取り付けかた」をとばして、「両面プリントユニットの取り付けかた」（p.352）に進んでください。

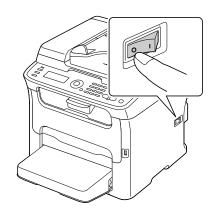
アタッチメントの取り付けかた

アタッチメントを取り付けると、両面プリントユニットを装着できるようになります。

（アタッチメントは単体では使用せず、両面プリントユニットと一緒に使用します）

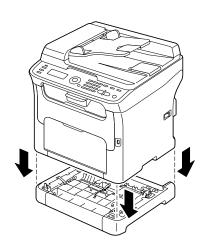
ご注意

本機には消耗品が取り付けられているため、本機を動かすときは、トナーがこぼれないよう本機を水平にして運んでください。

1 本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

2 トレイ 1 のダストカバーを取り外します。
トレイ 1 と排紙トレイををたたみます。

3 アタッチメントを用意します。

アタッチメントは必ず平らな場所に置いてください。

4 本機を持ち上げ、アタッチメントの位置決めピンを本機の底の受け穴にあわせて正しくセットします。

警告

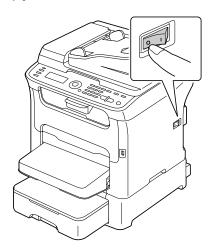
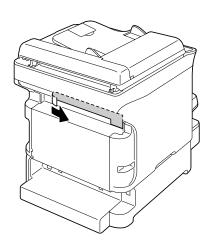
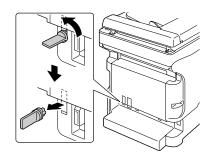
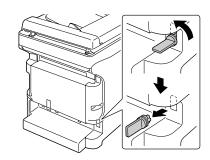
本機の重量は消耗品を含めて約 20.8 kg です。

5 トレイ 1 を開けて、ダストカバーを取り付けます。

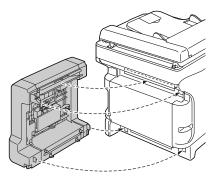
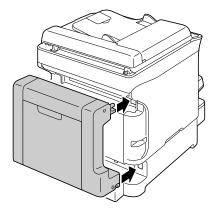
引き続き、両面プリントユニットを取り付けてください。

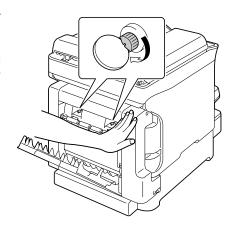
両面プリントユニットの取り付けかた

以下の取り付け手順のイラストは、本機に給紙ユニット（トレイ 2）を装着した状態のイラストですが、アタッチメントを装着している場合も取り付けの手順は同じです。

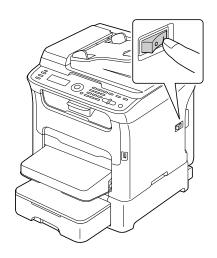
1 本機の電源を切り、すべてのケーブルを取り外します。

2 本機の背面にはられているテープをはがします。

3 給紙ユニットの背面の左右にロックピンが取り付けられている場合は、ロックピンを外します。
ロックピンを外すには、左右のいずれかの方向にロックピンを回し、ロックピンのつまみを垂直の向きにしてから抜き取ります。

4 両面プリントユニットを用意します。

5 両面プリントユニットを取り付けます。
両面プリントユニットを装着位置に合わせ、両面プリントユニットの下側をカチっと音がするまで押し込みます。

ご注意

両面プリントユニットの取り付けは、最初にユニット下部の 2 つの爪を取り付け口に差し込んでください。装着位置が合っていないと、両面プリントユニットが破損するおそれがあります。

6 両面プリントユニットのカバーを開けます。
両面プリントユニットを押さえながら、カバー内部のネジを回して、両面プリントユニットの取り付けを完了します。

7 インターフェースケーブルを接続します。

8 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れます。

付録
A

技術仕様

本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンタ（AIO）
印刷方式	半導体レーザー + 回転ミラー
現像方式	電子写真方式
定着方式	熱ローラー方式
解像度	コピー読み取り： 600 dpi × 600 dpi, 600 dpi × 300 dpi, 300 dpi × 300 dpi （モノクロコピーで ADF 使用時のみ） コピー出力： 600 dpi × 600 dpi スキャン読み取り： 300 dpi × 300 dpi, 150 dpi × 150 dpi プリント出力： 1200 dpi × 1200 dpi, 600 dpi × 600 dpi
ファーストプリント時間（普通紙）	片面 モノクロ： 14 秒（普通紙で A4/ レターの場合） フルカラー： 23 秒（普通紙で A4/ レターの場合）
ファーストコピー時間（普通紙、コピー原稿：ﾐｯｸｽ）	片面 モノクロ： 23 秒以下（普通紙で A4/ レターの場合） 600 dpi × 300 dpi フルカラー： 52 秒以下（普通紙で A4/ レターの場合） 600 dpi × 300 dpi

プリント速度	片面 モノクロ： 20 枚／分（普通紙で A4 の場合） フルカラー： 5 枚／分（普通紙で A4 の場合）
コピー速度	片面 モノクロ： 20* 枚／分（普通紙で A4 の場合） 600 dpi × 300 dpi *ADF の場合、 20 枚／分（300 × 300 dpi） 10 枚／分（600 × 300 dpi） フルカラー： 5* 枚／分（普通紙で A4 の場合） 600 dpi × 300 dpi *ADF の場合、 3.3 枚／分 （300 × 300 dpi, 600 × 300 dpi）
ウォームアップ時間	平均 35 秒（室温 23 ℃で電源オンから印刷可になるまでに要する時間）
用紙サイズ	トレイ 1（多目的トレイ） 幅：92 ～ 216 mm 長さ： 普通紙：195 ～ 356 mm 厚紙 1/2：184 ～ 297 mm トレイ 2 A4
用紙種類	• 普通紙（60 ～ 90 g/ ㎡） • レターヘッド • 封筒 • ラベル用紙 • 厚紙 1（91 ～ 163 g/ ㎡） • 厚紙 2（164 ～ 209 g/ ㎡） • はがき

給紙容量	トレイ 1（多目的トレイ） 普通紙、リサイクル：200 枚 封筒：10 枚 レターヘッド、ラベル用紙、厚紙 1/2、はがき：50 枚 トレイ 2（オプション） 普通紙、リサイクル：500 枚
排紙容量	排紙トレイ：100 枚
動作時の温度	10 〜 35 ℃
動作時の湿度	15 〜 85%
電源	100 V、50 〜 60 Hz
消費電力	最大消費電力：990 W 以下 印刷時（平均）: モノクロ：560 W 以下 カラー：410 W 以下 スタンバイ時：170 W 以下 節電（スリープ）モード時：14 W 以下 電源オフ時：0 W
消費電流	9.9 A 以下
ノイズレベル	スタンバイ時：38 dB 以下 印刷時：49 dB 以下 コピー時：52 dB 以下
外形寸法	高さ：432 mm 幅：405 mm 奥行：427 mm
質量	17.6 kg（消耗品：非装着時） 20.8 kg（消耗品：装着時）
インターフェース	USB 2.0（High Speed）準拠、10Base-T/100Base-TX イーサネット、USB メモリポート（スキャンデータ保存用）
メモリ	128 MB
機械寿命	50,000 ページまたは 5 年のいずれか早い方

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ： 約 1000 ページ（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ： 約 1,500 ページ（Y、M、C）（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ（大容量）： 約 2,500 ページ（Y、M、C、K）（連続印刷）
イメージングカートリッジ	約 45,000 ページ（モノクロ連続印刷） 約 10,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 11,250 ページ（カラー連続印刷） 約 7,500 ページ（カラー間欠印刷）

上記の数値は印字率が 5% で、A4 ／レターサイズの普通紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

カラープリンタでは、モノクロ印刷・カラー印刷に関わらず、本体の電源のオン／オフに伴う初期化動作やプリント品質保持のための自動調整動作時に、すべてのトナーが微量に消費されます。
モノクロ印刷でご使用になられた場合でも、カラートナーは消耗し交換が必要になります。

定期交換部品の寿命の目安

本製品には定期交換部品の設定はございません。従いまして該当いたしません。

本機のご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末を除く午前 9：00 ～ 12：00、
午後 1：00 ～ 5：00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

入力のしかた

入力できる文字

テンキーを使って、数字、アルファベット、記号、カタカナを入力します。
入力可能な文字は以下のとおりです。

ファクス番号入力時

テンキー	[1...]	[1...] *	[A...] *
1	1	1	-1
2	2	2	2
3	3	3	3
4	4	4	4
5	5	5	5
6	6	6	6
7	7	7	7
8	8	8	8
9	9	9	9
0	0	0	(space)0
＊	*		
#	#		+

ファクス番号を表示するには、設定メニューの「ｾｯﾃｲ (UTILITY) ／ ｶﾝﾘｼｬｾｯﾃｲ ／ ﾕｰｻﾞｰ ｾｯﾃｲ ／ ﾌｧｸｽ ﾊﾞﾝｺﾞｳ」を選択します。詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

アドレス入力時

<table>
<tr><th>テンキー</th><th>［1...］</th><th>［A...］</th></tr>
<tr><td>1</td><td>1</td><td>.@_-1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>ABC2abc</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td>DEF3def</td></tr>
<tr><td>4</td><td>4</td><td>GHI4ghi</td></tr>
<tr><td>5</td><td>5</td><td>JKL5jkl</td></tr>
<tr><td>6</td><td>6</td><td>MNO6mno</td></tr>
<tr><td>7</td><td>7</td><td>PQRS7pqrs</td></tr>
<tr><td>8</td><td>8</td><td>TUV8tuv</td></tr>
<tr><td>9</td><td>9</td><td>WXYZ9wxyz</td></tr>
<tr><td>0</td><td>0</td><td>(space)0</td></tr>
<tr><td>＊</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>#</td><td>#</td><td>+&/*=!?()%[]^` ´ {}|$, :</td></tr>
</table>

その他

テンキー	［1...］	［A...］	［ア ...］
1	1	. , ' ? ! " 1 - ( ) @ / : ; _	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ
2	2	ABC2abc	ｶｷｸｹｺ
3	3	DEF3def	ｻｼｽｾｿ
4	4	GHI4ghi	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ
5	5	JKL5jkl	ﾅﾆﾇﾈﾉ
6	6	MNO6mno	ﾊﾋﾌﾍﾎ
7	7	PQRS7pqrs	ﾏﾐﾑﾒﾓ
8	8	TUV8tuv	ﾔﾕﾖｬｭｮ
9	9	WXYZ9wxyz	ﾗﾘﾙﾚﾛ
0		（スペース）0	ﾜｦﾝ（スペース）
#	#	*+=#%&<>[] {} |^`	ﾞﾟ

入力モードを変更する

［＊］キーを押すごとに、入力モードが数字、アルファベット、カタカナに切り替わります。

[1…]：数字入力モード

[A…]：アルファベット入力モード

[ｱ…]：カタカナ入力モード

入力例

入力手順は以下のとおりです。

例：

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙｰﾌﾟ [ｱ…]
```

1 ［＊］キーを押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :_                  [ｱ…]
```

2 ［1］キーを 4 回押します。
「ｴ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴ                  [ｱ…]
```

3 ［▶］を押します。
カーソルが右へ移動します。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴ_                 [ｱ…]
```

4 ［1］キーを 2 回押します。
「ｲ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲ                 [ｱ…]
```

5 ［2］キーを 2 回押します。
「ｷ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷ                [ｱ…]
```

6 ［#］キーを 1 回押します。
「ﾞ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞ               [ｱ…]
```

7 ［8］キーを 6 回押します。
「ｮ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮ              [ｱ…]
```

8 ［1］キーを 3 回押します。
「ｳ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ             [ｱ…]
```

9 ［0］キーを4回押します。
スペースが入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ_        [ｱ…]
```

10 ［2］キーを3回押します。
「ｸ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸ       [ｱ…]
```

11 ［#］キーを1回押します。
「ﾞ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞ      [ｱ…]
```

12 ［9］キーを3回押します。
「ﾙ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ     [ｱ…]
```

13 ［*］キーを2回押します。
入力モードがアルファベットに切り替わります。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ_    [A…]
```

14 ［1］キーを8回押します。
「-」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ-    [A…]
```

15 ［*］キーを押します。
入力モードがカタカナに切り替わります。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ-_   [ｱ…]
```

16 ［6］キーを3回押します。
「ﾌ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ-ﾌ   [ｱ…]
```

17 ［#］キーを2回押します。
「ﾟ」が入力されます。

```
ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲｱﾙ001
 ﾅﾏｴ
 :ｴｲｷﾞｮｳ ｸﾞﾙ-ﾌﾟ  [ｱ…]
```

文字修正のしかたと入力時の注意

- 入力した文字をすべて削除するには、［戻る］キーを長押しします。
- 入力した文字の 1 部を削除するには、［ ◀ ］または［ ▶ ］キーを押して、カーソル（_）を削除したい文字に移動させ、［戻る］キーを押します。
- 続けて同じキーを使って入力する場合は、最初の文字を入力した後、［ ▶ ］キーを押してから次の文字を入力します。（上記の入力例を参照してください。）
- スペースを入力する場合は、カタカナ入力モードでは［0］キーを 4 回、アルファベット入力モードでは［0］キーを 1 回押してください。
- 濁点または半濁点はカタカナ入力モードで［#］キーを押します。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号　第 06 117 039 号

magicolor 1690MF は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

索引

Numerics

I

L

T

W

あ

い

え

お

ら

り

れ